

柳川市のまちづくりに関するアンケート 調査結果報告書

【第1部 市 民 アンケート編】

【第2部 中 学 生 アンケート編】

【第3部 専修・専門学校生アンケート編】

【第4部 市 職 員 アンケート編】

平成17年9月

柳川市 総務部 企画課



目次

第1部 市民アンケート編

I. 市民アンケート調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の対象	1
3. 抽出方法	1
4. 調査方法	1
5. 調査時期	1
6. 回収状況	1
7. 回答者のプロフィール.....	2

II. 市民アンケート調査の結果

1. 柳川市への定住意向	4
2. 柳川市に対する愛着度	7
3. 柳川市の大切にしたい、残したい、誇れるもの	9
4. 合併後の柳川市に求める将来像	12
5. 新市建設計画の基本方針で特に望むこと.....	15
6. 行政サービスと受益者負担についての考え方	18
7. 行政効率化、財政健全化に重要なこと	20
8. 地域社会(コミュニティ)活動への参加状況	22
9. ボランティア活動やコミュニティ活動への参加意向	27
10. ボランティア活動や地域社会活動への行政の役割.....	31
11. 市政情報との接触度	33
12. 少子化対策について	34
13. 高齢化対策について	36
14. 今後の合併の必要性について	38
15. 市の花・木・市民憲章の必要性について	41

第2部 中学生アンケート編

I. 中学生アンケート調査の概要

1. 調査の目的	43
2. 調査の対象	43
3. 抽出方法	43
4. 調査方法	43
5. 調査時期	43
6. 回収状況	43
7. 回答者のプロフィール	44

II. 中学生アンケート調査の結果

1. 柳川市への住みたい感	45
2. 柳川市の大切にしたい、残したい、誇れるもの	48
3. 地域の暮らしやすさ	51
4. これからの柳川市に求める将来像	53
5. 柳川市が重視すべき産業振興策	56
6. 環境保全への行動	58
7. ボランティア活動への関心度	60

第3部 専修・専門学校生アンケート編

I. 専修・専門学校生アンケート調査の概要

1. 調査の目的	65
2. 調査の対象	65
3. 抽出方法	65
4. 調査方法	65
5. 調査時期	65
6. 回収状況	65
7. 回答者のプロフィール	66

II. 専修・専門学校生アンケート調査の結果

1. 柳川市の大切にしたい、残したい、誇れるもの	67
2. 柳川市の住みやすさ	69
3. 地域の暮らしやすさ	71
4. これからの柳川市に求める将来像	73
5. 地域社会(コミュニティ)活動への参加状況	75
6. ボランティア活動やコミュニティ活動への参加意向	79

第4部 職員アンケート編

I. 職員アンケート調査の概要

1. 調査の目的	83
2. 調査の対象	83
3. 抽出方法	83
4. 調査方法	83
5. 調査時期	83
6. 回収状況	83
7. 回答者のプロフィール	84

II. 職員アンケート調査の結果

1. 総合計画の活用度	85
2. 柳川市の住みやすさ	87
3. 柳川市の施策として重視すべき分野	89
4. 柳川市に求める将来像	92
5. 行政サービスと受益者負担についての考え方	95
6. 行政効率化、財政健全化に重要なこと	97
7. 地域社会(コミュニティ)活動への参加状況	99
8. ボランティア活動やコミュニティ活動への参加意向	104
9. ボランティア活動や地域社会活動への行政の役割	108
10. 行政サービス提供のあり方	110
11. 柳川市の大切にしたい、残したい、誇れるもの	113

第1部 市民アンケート編





1. 市民アンケート調査の概要

1. 調査の目的

旧柳川市、旧大和町、旧三橋町は平成17年3月21日に合併し、新柳川市として新しいスタートを切りました。新しい柳川市としてのまちづくりを進めていくための「第1次柳川市総合計画」策定に向けて、市民の皆様が市政に対してどのような意見、要望を持っているのかを尋ね、計画策定の参考資料とするために本調査を実施しました。

2. 調査の対象

柳川市に居住する20歳以上の住民4,000人。

3. 抽出方法

無作為抽出法による。

4. 調査方法

郵送法（封書による郵送・回収。）

5. 調査時期

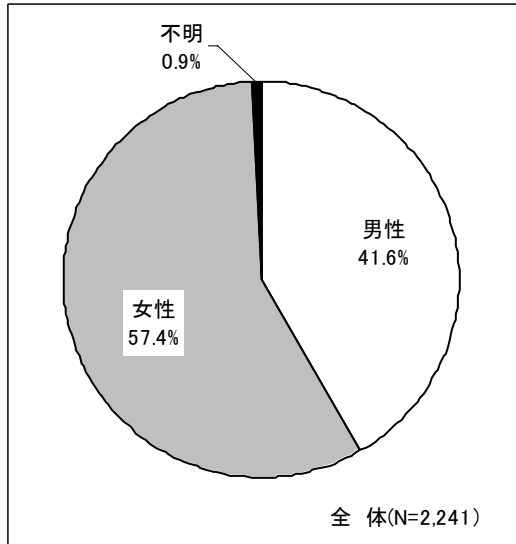
平成17年6月24日～7月13日

6. 回収状況

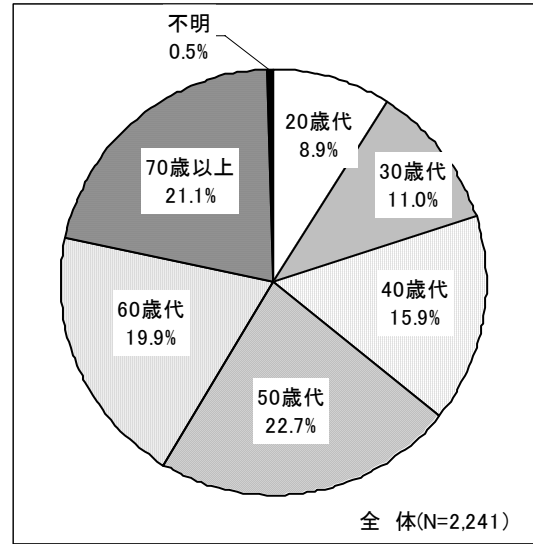
有効回収数2,241通（有効回答率56.0%）

7. 回答者のプロフィール

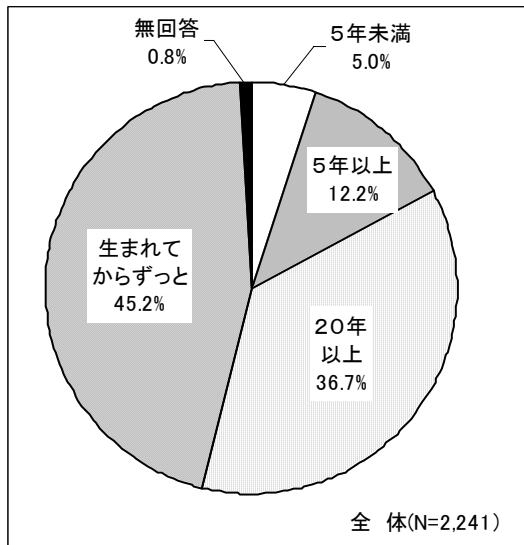
【性別】



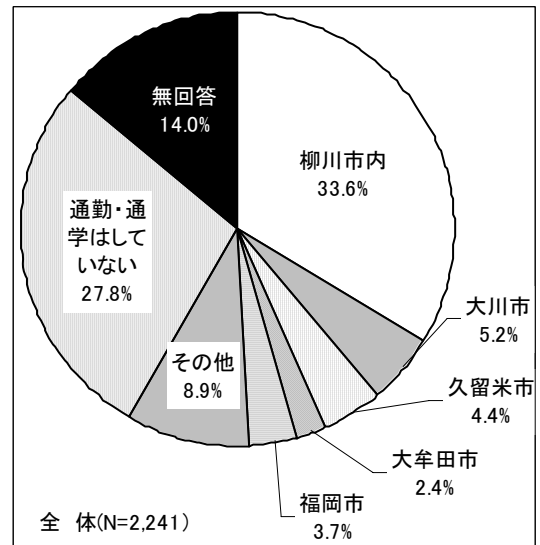
【年代別】



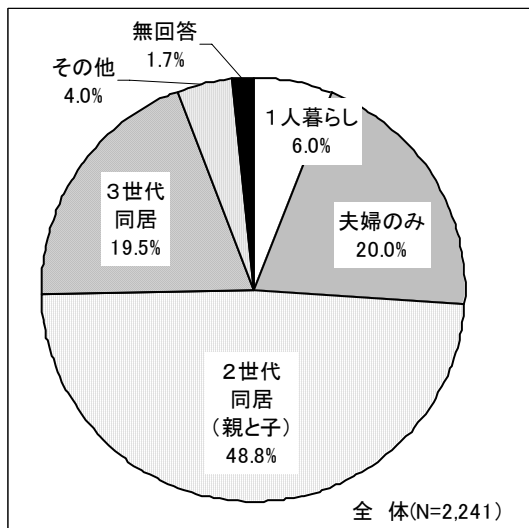
【居住歴】



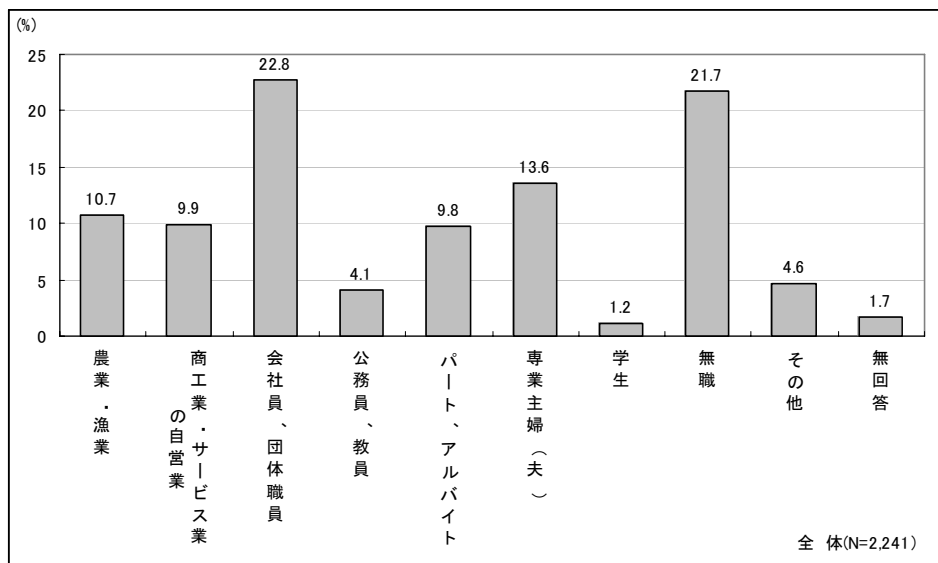
【通勤・通学先】



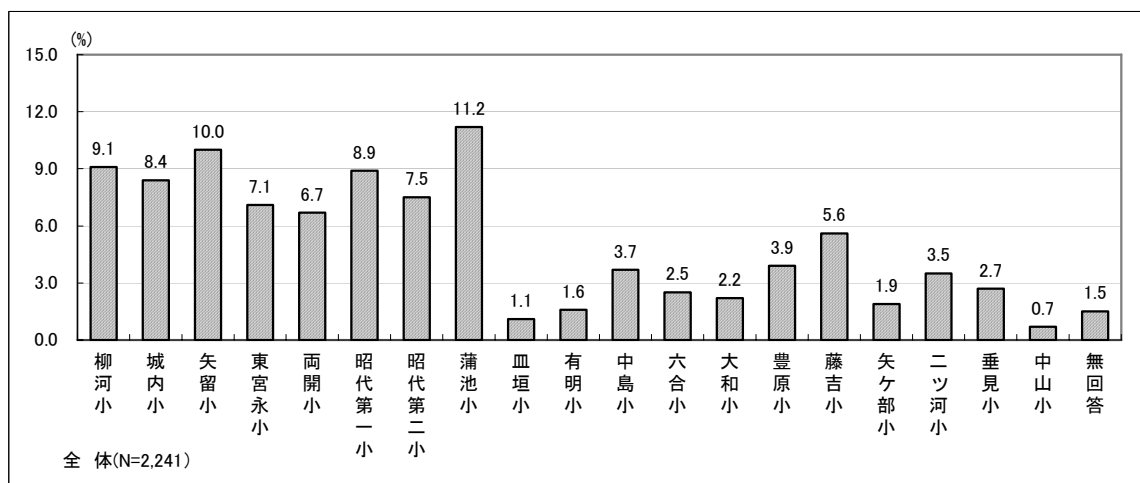
【世帯構成】



【職業別】



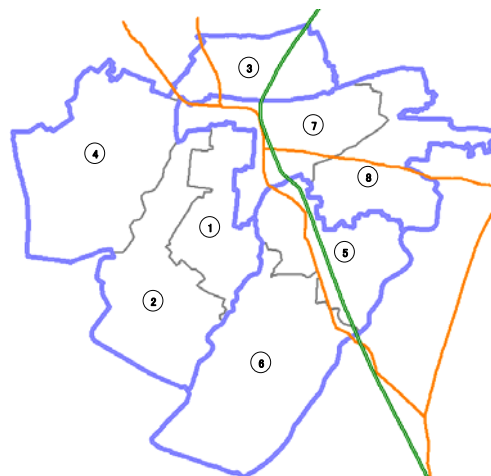
【小学校区別】



【クロス項目として用いたブロックの区分】

上記の小学校区別を、次のようなブロック区分として集約し、クロス項目の「地域ブロック別」として用いた。

地図NO.	地域ブロック名	含まれる小学校区
1	柳城ブロック	柳河・城内・東宮永
2	柳南ブロック	矢留・両開
3	蒲池ブロック	蒲池
4	昭代ブロック	昭代第1・昭代第2
5	大和北ブロック	豊原・六合・大和
6	大和南ブロック	血垣・有明・中島
7	三橋西ブロック	藤吉・矢ヶ部
8	三橋東ブロック	二ツ河・垂見・中山





II. 市民アンケート調査の結果

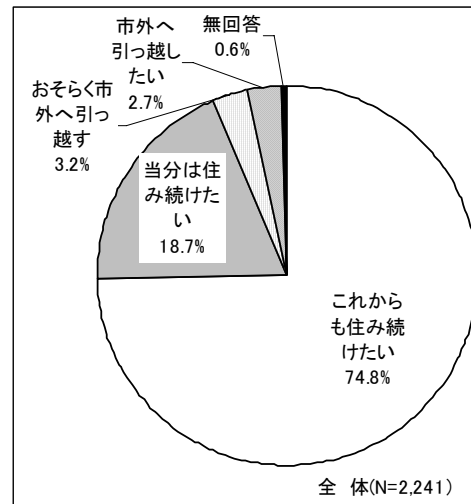
1. 柳川市への定住意向

1. 柳川市への定住意向

柳川市に「これからも住み続けたい」という強い定住意向を持っている人は、全体の7割超です。

「当分は住み続けたい」人を含めると、程度の違いこそあれ、柳川市に定住意向を持っている人は全体の9割を超えています。

図表 1 柳川市への定住意向(全体)



階層別特性

◆性別

性別による違いはほとんどありません。

◆年齢別

定住意向は年代とともに強まっており、40歳以上では7割を超える人が柳川市への定住意向を持っています。

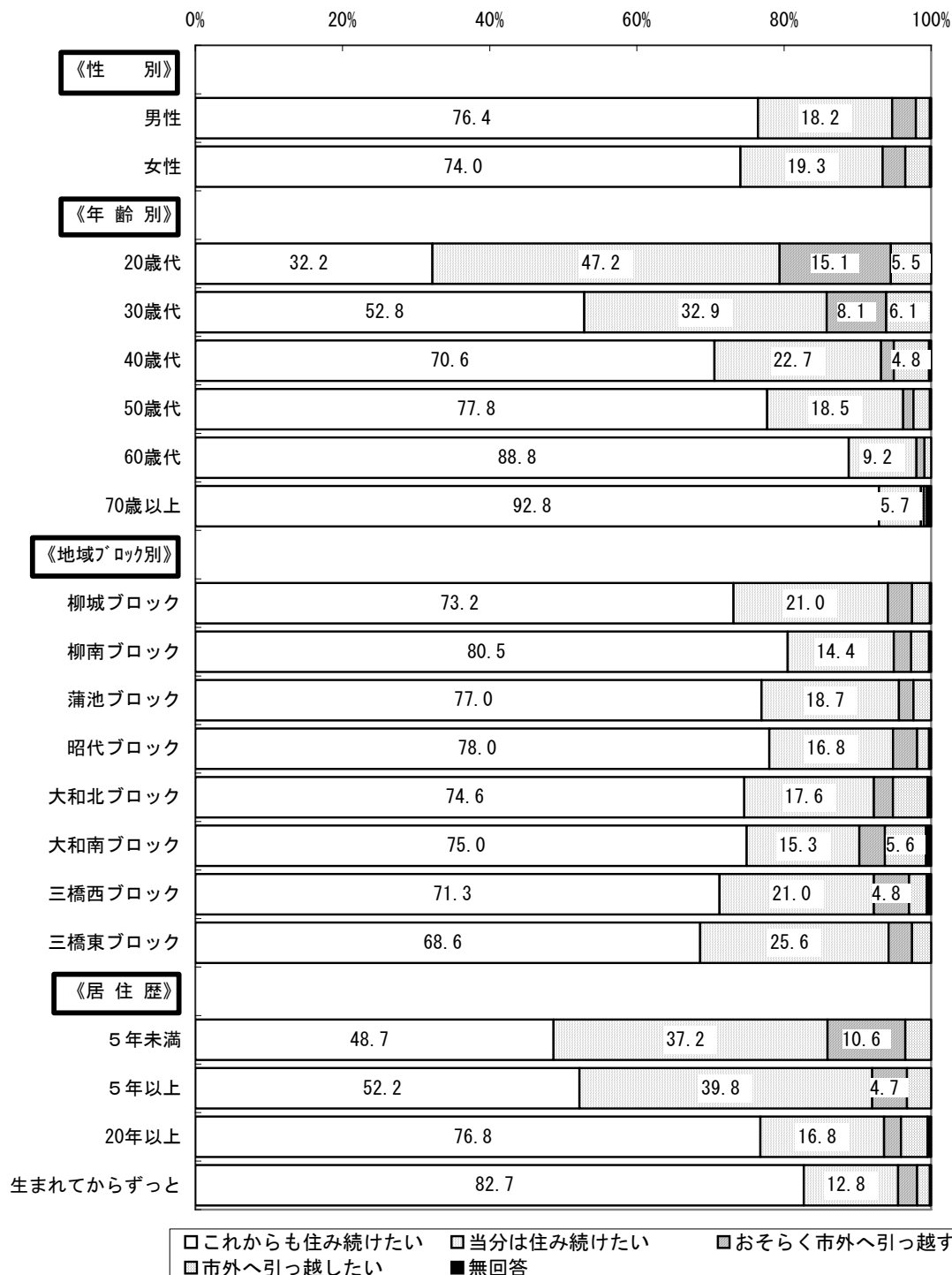
◆地域ブロック別

最も定住意向が強いのは柳南ブロック(80.5%)で、最も低い三橋東ブロック(68.6%)を12ポイントも上回っています。

◆居住歴

居住歴が長い人ほど定住意向も強くなっています。

図表 2 柳川市への定住意向(階層別)



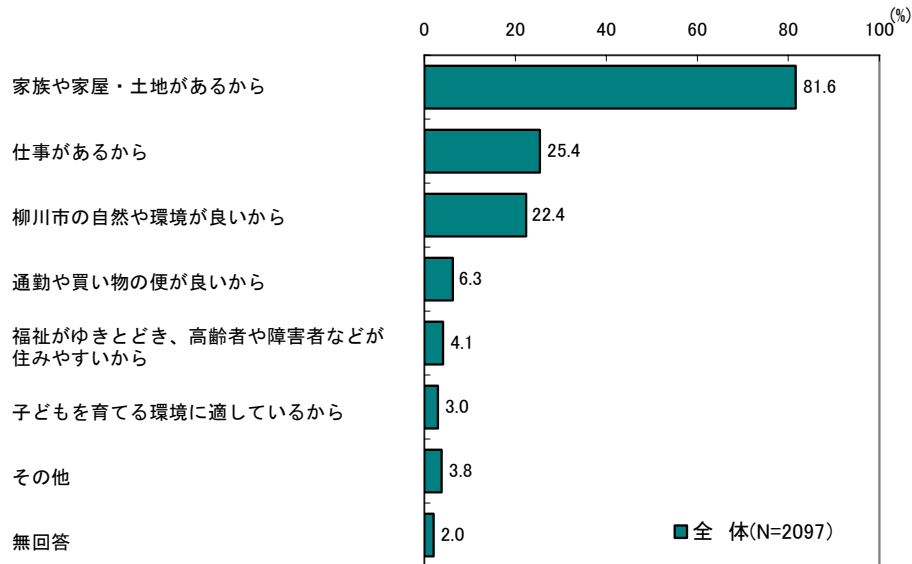
2. 住みたい理由、引っ越したい理由

これからも柳川市に住みたい人、市外へ引っ越したい人それぞれに、そう思う理由を尋ねたところ、住みたい理由では「家族や家屋・土地があるから」(81.6%)に回答が集中しています。

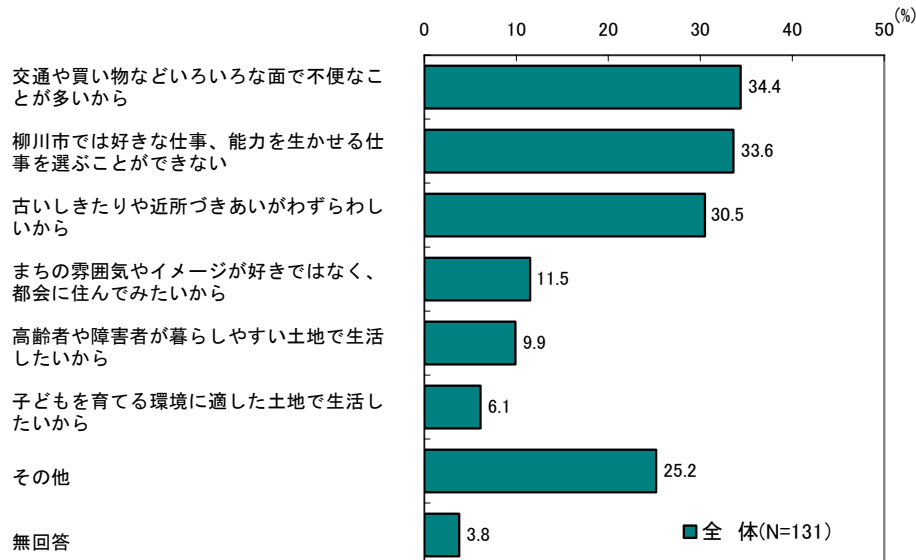
引っ越したい理由については回答が分散しており、「交通や買い物などいろいろな面で不便なことが多いから」(34.4%)、「柳川市では好きな仕事、能力を生かせる仕事を選ぶことができない」(33.6%)、「古いきたりや近所づきあいがわずらわしいから」(30.5%)が 30%台で続くなど、生活利便性、雇用、地域とのかかわりの3つが市を離れたい主な理由となっています。

図表 3 住みたい理由、引っ越したい理由(全体)

問8-1. (これからも、当分は住みたい人に)その理由は何ですか。
次の中からあてはまるものを2つ以内で選んでください。



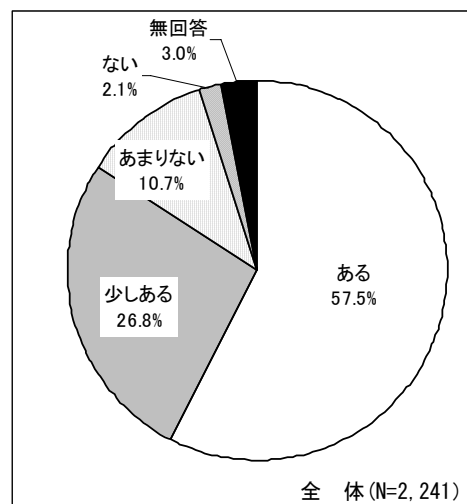
問8-2. (おそらく引っ越す、市外へ引っ越したい人に)その理由は何ですか。
次の中からあてはまるものを2つ以内で選んでください。



2. 柳川市に対する愛着度

全体の6割近くが柳川市に「自分のまちとしての愛着」を感じており、少しだけ愛着を感じている人まで含めると、全体の84%が柳川市に自分の「まち」としての愛着を感じています。

図表 4 自分のまちとしての愛着度(全体)



階層別特性

◆性別

性別でみると、**自分のまちとしての愛着度**は、男性（61.8%）が女性（54.2%）を大きく上回っており、女性は男性より、「少しだけ愛着を感じている」人の割合が高くなっています。

◆年齢別

自分のまちとしての愛着度は、30歳代でやや低下していますが、年代とともに上昇しており、60歳以上では7割が柳川市に自分のまちとして愛着を感じています。

◆地域ブロック別

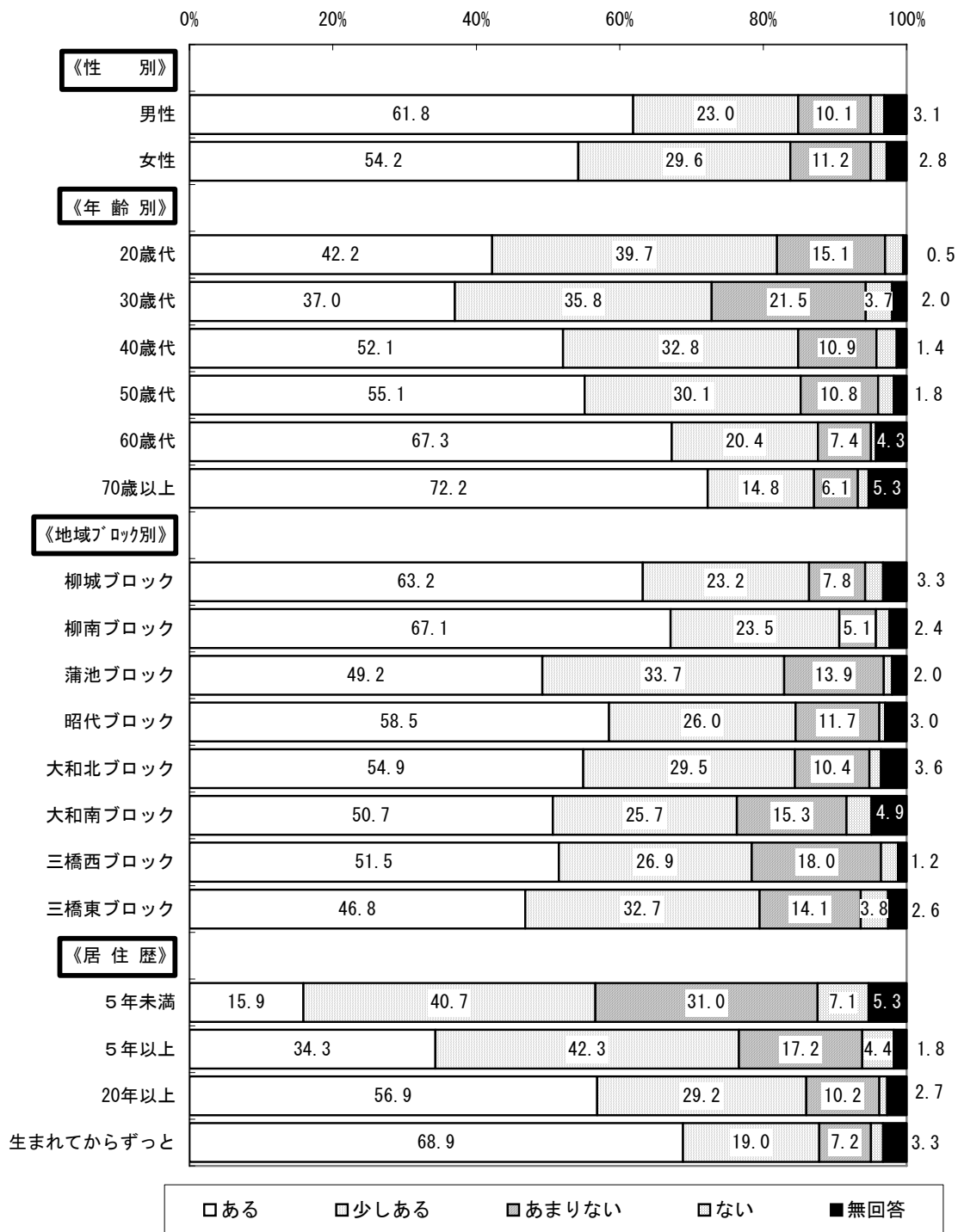
愛着度が高かったのは柳南ブロック、柳城ブロック（67.1%、63.2%）で、ともに愛着を感じている人が6割を大きく超えています。ですが、三橋東ブロック（46.8%）、蒲池ブロック（49.2%）での愛着度は5割を下回っており、**自分のまちとしての愛着度**には、地域による違いがみられるようです。

◆居住歴

居住歴が長ければ長いほど**自分のまちとしての愛着度**も強くなっています。



図表 5 自分のまちとしての愛着度(階層別)



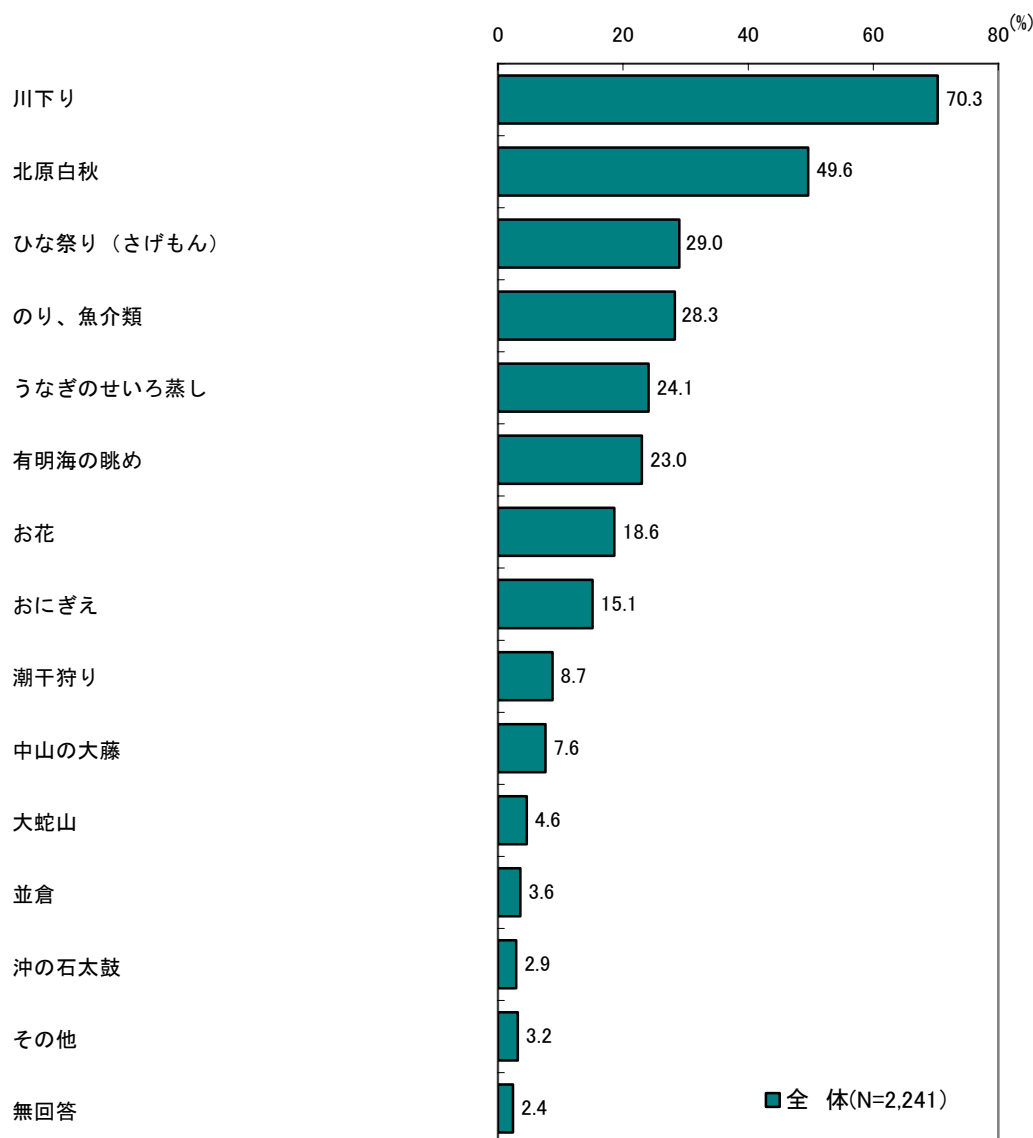
3. 柳川市の大切にしたい、残したい、誇れるもの

柳川市の大切にしたいもの、残しておきたいもの、誇りを感じるものでは、「川下り」(70.3%)が1位になっており、「北原白秋」(49.6%)についてもほぼ半数の人があげています。

以下、大きく比率を下げて「ひな祭り(さげもん)」(29.0%)、「のり、魚介類」(28.3%)、「うなぎのせいろ蒸し」(24.1%)、「有明海の眺め」(23.0%)などが続いています。

図表 6 大切にしたい、残したい、誇れるもの(全体)

問10. 柳川市内であなたが大切にしたいもの、残しておきたいもの、誇れるものは何ですか。次の中からあてはまるものを3つ選んでください。



階層別特性

◆性別

男女間でやや回答内容がばらついていますが、女性の支持が高いのは「ひな祭り（さげもん）」（男性：19.7%、女性36.0%）で、男性の支持が高いのは、「のり、魚介類」（男性31.7%、女性25.7%）、「有明海の眺め」（男性26.4%、女性20.8%）、「潮干狩り」（男性11.9%、女性6.4%）の3項目です。

◆年齢別

年齢との関係がはっきりみられたのは「川下り」「うなぎのせいろ蒸し」「北原白秋」で、「川下り」「うなぎのせいろ蒸し」は若い年代ほど、「北原白秋」は年配になるほど高い支持を受けています。

特定の年代に支持が高いのは、20歳代の「ひな祭り（さげもん）」、40歳代の「のり、魚介類」、40歳代、50歳代の「有明海の眺め」などです。

◆地域ブロック別

地域によって支持する項目にはやや違いがみられ、そのブロックの支持率が市全体を大きく上回っている項目は以下のようになっています。

柳城ブロック：「川下り」「北原白秋」「うなぎのせいろ蒸し」

柳南ブロック：「北原白秋」「のり、魚介類」「有明海の眺め」

蒲池ブロック：「北原白秋」「ひな祭り（さげもん）」「うなぎのせいろ蒸し」「お花」

昭代ブロック：「有明海の眺め」

大和北ブロック：「のり、魚介類」

大和南ブロック：「のり、魚介類」「大蛇山」「潮干狩り」「有明海の眺め」

三橋西ブロック：「中山の大藤」

三橋東ブロック：「川下り」「中山の大藤」

図表 7 大切にしたい、残したい、誇れるもの(階層別)

(%)

		サンプル数	川下り	北原白秋	ひな祭り(さげもん)	のり、魚介類	うなぎのせいろう蒸し	有明海の眺め	お花
全 体		2,241	70.3	49.6	29.0	28.3	24.1	23.0	18.6
性別	男性	933	68.9	49.6	19.7	31.7	22.7	26.4	18.0
	女性	1,287	71.7	49.9	36.0	25.7	25.1	20.8	18.8
年齢別	20歳代	199	77.4	37.2	35.7	27.1	47.2	19.1	17.1
	30歳代	246	74.0	46.3	30.9	25.2	34.6	21.1	15.0
	40歳代	357	70.6	47.3	28.0	37.0	22.1	28.3	19.6
	50歳代	508	70.1	50.6	27.0	28.7	22.8	26.4	18.7
	60歳代	447	69.1	53.9	31.8	31.3	16.3	21.7	17.4
	70歳以上	472	67.4	53.8	26.1	20.3	19.1	19.5	21.0
ブロック別	柳城ブロック	552	75.2	54.3	26.6	22.1	28.4	18.8	20.3
	柳南ブロック	374	64.2	56.1	29.4	36.4	17.9	31.6	18.4
	蒲池ブロック	252	71.8	57.5	34.9	17.9	28.2	17.9	22.6
	昭代ブロック	369	71.8	51.2	32.5	28.5	23.3	29.3	21.1
	大和北ブロック	193	71.0	38.3	24.4	42.5	27.5	22.8	10.4
	大和南ブロック	144	54.2	30.6	20.1	52.1	18.1	34.7	9.7
	三橋西ブロック	167	70.7	44.3	31.1	21.6	22.2	15.6	18.6
	三橋東ブロック	156	75.0	40.4	26.9	17.9	21.8	12.2	14.7

注) 全体の高い順に並べ替えている。

※複数回答

(%)

		おにぎえ	潮干狩り	中山の大藤	大蛇山	並倉	沖の石太鼓	その他	無回答
全 体		15.1	8.7	7.6	4.6	3.6	2.9	3.2	2.4
性別	男性	16.4	11.9	5.6	4.9	3.1	2.6	4.7	3.1
	女性	13.9	6.4	9.2	4.2	4.0	3.2	2.1	1.6
年齢別	20歳代	11.1	7.5	8.5	4.5	2.0	3.5	3.5	1.0
	30歳代	11.8	7.3	9.8	5.7	3.7	6.1	3.3	1.6
	40歳代	14.3	5.6	3.4	6.2	2.5	2.5	3.6	1.7
	50歳代	14.0	7.7	6.9	4.3	3.7	1.8	3.5	2.2
	60歳代	17.0	11.9	8.5	3.6	4.5	3.6	3.4	1.1
	70歳以上	18.2	10.4	9.3	3.8	4.2	2.1	2.1	4.7
ブロック別	柳城ブロック	19.9	5.3	2.4	0.9	6.3	2.4	3.8	2.7
	柳南ブロック	12.6	12.3	2.7	0.5	3.2	2.9	2.9	1.6
	蒲池ブロック	20.6	5.6	5.6	0.8	2.0	2.4	2.4	1.6
	昭代ブロック	10.0	9.2	4.6	1.9	2.7	1.4	4.1	1.6
	大和北ブロック	9.3	13.5	9.8	16.1	3.1	2.1	2.6	2.1
	大和南ブロック	2.8	17.4	8.3	33.3	2.1	-	1.4	4.2
	三橋西ブロック	21.0	7.2	16.2	2.4	4.8	9.0	4.2	1.8
	三橋東ブロック	19.9	5.8	35.9	1.3	1.3	7.1	2.6	3.2

注) 全体の高い順に並べ替えている。

※複数回答



4. 合併後の柳川市に求める将来像

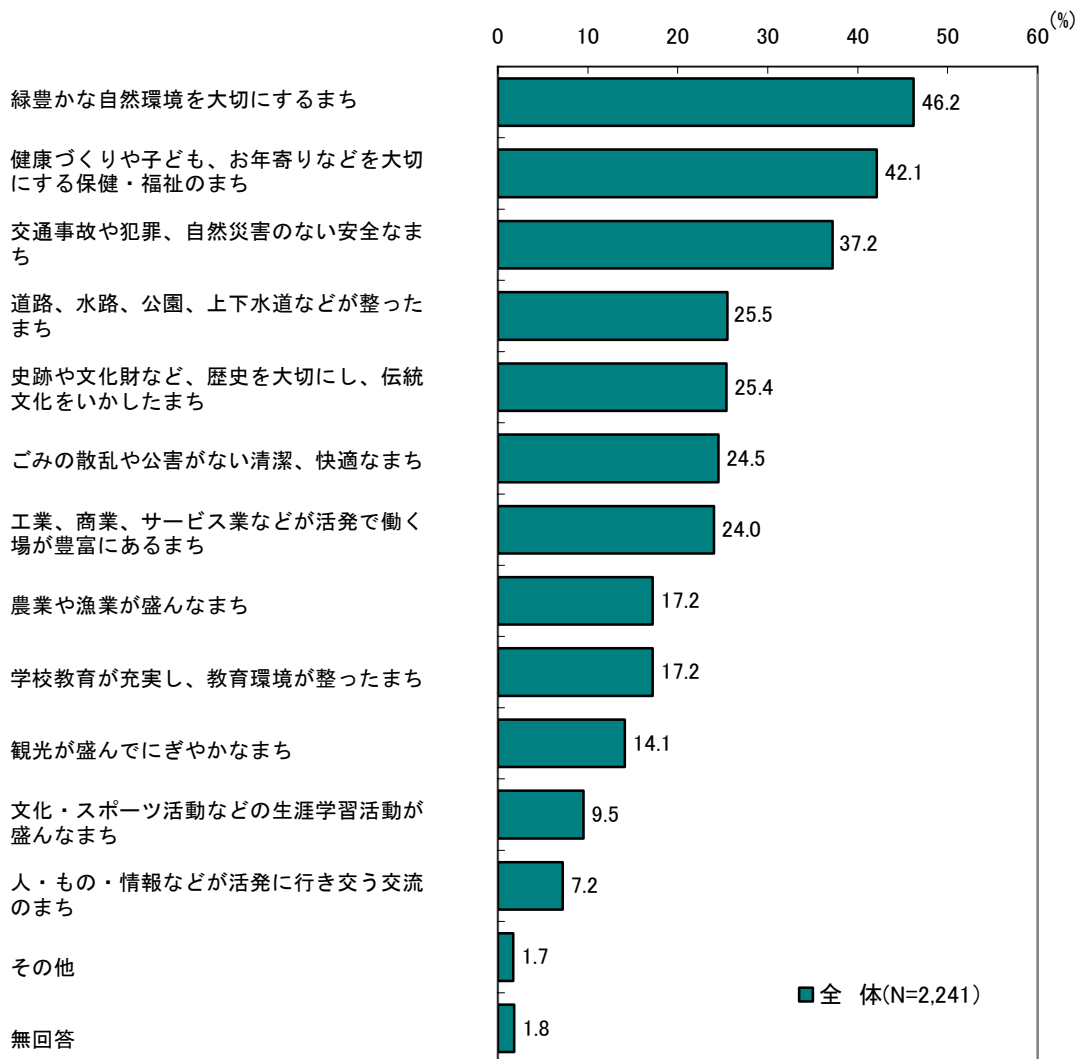
柳川市の将来像として、最も望ましいとされたのは「緑豊かな自然環境を大切にするまち」(46.2%)です。

次に「健康づくりや子ども、お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち」(42.1%)、「交通事故や犯罪、自然災害のない安全なまち」(37.2%)が続き、「道路、水路、公園、上下水道などが整ったまち」(25.5%)、「史跡や文化財など、歴史を大切にし、伝統文化をいかしたまち」(25.4%)、「ごみの散乱や公害がない清潔、快適なまち」(24.5%)、「工業、商業、サービス業などが活発で働く場が豊富にあるまち」(24.0%)がほぼ同率で並んでいます。

図表 8 合併後の柳川市に求める将来像(全体)

問11. あなたは合併後の柳川市がどんなまちになればいいとお考えですか。

次の中からあてはまるものを3つ選んでください。



階層別特性

◆性別

女性は男性よりも数多くの項目に回答しており、求める将来像は多様化しています。特に女性では「保健・福祉のまち」（男性 37.1%、女性 45.6%）、「安全なまち」（男性 33.5%、女性 39.7%）」を望む声が男性よりもかなり多くなっています。

◆年齢別

年齢との関係がはっきりみられたのは「観光が盛んでにぎやかなまち」「交流のまち」で、ともに若い年代ほど高い支持を受けています。その他の項目は年代によってかなりバラついていますが、特に 30 歳代では、「安全なまち」（44.3%）が「自然環境を大切にするまち」（37.0%）を大きく上回り、最も多い回答となっているのが目立ちます

また 60 歳以上では「保健・福祉のまち」が最も多い回答に、30 歳代、40 歳代の子育て世代では「教育環境が整ったまち」が他の年代よりかなり高い回答率となるなど、年代特有の傾向も表れています。

◆地域ブロック別

地域によって支持する項目にはやや違いがみられ、そのブロックの支持率が市全体を大きく上回っている項目は以下のようになっています。

柳城ブロック：「伝統文化をいかしたまち」

柳南ブロック：「農業や漁業が盛んなまち」

蒲池ブロック：「安全なまち」「清潔、快適なまち」

昭代ブロック：「働く場が豊富にあるまち」「にぎやかなまち」

大和北ブロック：「生涯学習活動が盛んなまち」

大和南ブロック：「安全なまち」「働く場が豊富にあるまち」「農業や漁業が盛んなまち」

三橋西ブロック：「安全なまち」「都市基盤が整ったまち」

三橋東ブロック：「自然環境を大切にするまち」「保健・福祉のまち」「安全なまち」

◆居住歴

長く住んでいる人ほど「自然環境を大切にするまち」「伝統文化をいかしたまち」「働く場が豊富にあるまち」への支持が高く、反対に「都市基盤が整ったまち」「教育環境が整ったまち」「観光が盛んでにぎやかなまち」「交流地域のまち」は居住歴が短い人ほど支持が高い項目となっています。



図表 9 合併後の柳川市に求める将来像(階層別)

		サンプル数	ち 緑豊かな自然環境を大切にすま	健康づくりや子ども、お年寄りなどを大切にす保健康・福祉のまち	交通安全事故や犯罪、自然災害のない安全なまち	道路、水路、公園 上下水道などが整ったまち	史跡や文化財など、歴史を大切にし、伝統文化をいかしたまち	ごみの散乱や公害がない清潔、快適なまち	工業、商業、サービス業などが活発で働く場が豊富にあるまち
全 体		2,241	46.2	42.1	37.2	25.5	25.4	24.5	24.0
性別	男性	933	47.2	37.1	33.5	27.5	26.6	23.3	25.3
	女性	1,287	45.7	45.6	39.7	24.2	24.6	25.6	23.2
年齢別	20歳代	199	44.7	41.7	33.2	23.6	30.7	33.2	15.1
	30歳代	246	37.0	37.0	44.3	25.6	21.1	22.4	26.4
	40歳代	357	46.8	30.8	40.9	21.3	28.0	30.0	24.4
	50歳代	508	46.7	34.8	35.4	26.6	29.5	26.8	31.1
	60歳代	447	45.9	49.2	36.9	28.9	20.6	21.7	28.4
	70歳以上	472	51.5	53.8	34.5	25.4	23.7	18.0	14.6
ブロック別	柳城ブロック	552	49.1	40.2	37.9	26.8	31.2	25.0	21.2
	柳南ブロック	374	45.2	43.0	33.2	22.5	23.8	24.3	24.6
	蒲池ブロック	252	47.6	40.9	45.2	28.6	24.6	27.0	24.2
	昭代ブロック	369	43.6	42.3	32.0	25.5	25.5	24.4	26.3
	大和北ブロック	193	47.7	40.4	33.2	25.9	22.8	20.7	23.8
	大和南ブロック	144	38.9	43.8	42.4	27.8	16.0	19.4	27.1
	三橋西ブロック	167	39.5	42.5	40.7	29.9	27.5	28.1	27.5
三橋東ブロック	156	54.5	46.8	42.3	16.7	18.6	26.9	20.5	
居住歴	5年未満	113	28.3	38.1	39.8	34.5	31.0	26.5	15.9
	5年以上	274	44.2	43.4	37.6	24.8	27.0	27.0	20.1
	20年以上	823	45.9	47.8	37.4	26.9	23.9	24.3	24.4
	生まれてからずっと	1,012	49.0	37.4	36.7	23.7	25.9	23.8	25.6

注) 全体の高い順に並べ替えている。

※複数回答

		農業や漁業が盛んなまち	学校教育が充実し、教育環境が整ったまち	親光が盛んでにぎやかなまち	文化・スポーツ活動などの生涯学習活動が盛んなまち	人・もの・情報などが活発に行き交う交流のまち	その他	無回答
全 体		17.2	17.2	14.1	9.5	7.2	1.7	1.8
性別	男性	17.8	16.3	14.0	10.4	8.5	2.7	2.3
	女性	16.3	18.0	13.9	8.9	6.4	1.0	1.4
年齢別	20歳代	15.1	12.6	22.1	11.6	11.6	2.0	1.0
	30歳代	9.8	25.2	16.7	10.6	11.0	4.1	2.0
	40歳代	17.9	20.4	13.7	12.6	7.3	2.2	1.1
	50歳代	17.7	11.8	12.6	10.0	8.9	2.0	0.8
	60歳代	18.1	18.3	13.2	6.9	6.3	0.4	0.9
	70歳以上	19.9	17.8	12.1	7.6	2.5	0.8	4.2
ブロック別	柳城ブロック	9.4	18.1	12.3	10.5	6.9	1.8	1.8
	柳南ブロック	28.1	16.6	16.8	7.5	7.8	1.3	0.8
	蒲池ブロック	11.5	15.5	15.1	9.1	6.0	2.0	0.8
	昭代ブロック	18.2	19.0	17.6	8.7	7.3	1.6	1.6
	大和北ブロック	23.3	15.5	10.4	14.0	7.3	3.1	2.6
	大和南ブロック	31.9	14.6	9.0	4.9	6.3	0.7	4.9
	三橋西ブロック	9.6	19.2	15.0	10.8	8.4	0.6	0.6
三橋東ブロック	12.8	19.2	10.9	11.5	7.7	1.9	2.6	
居住歴	5年未満	8.0	22.1	20.4	6.2	13.3	2.7	2.7
	5年以上	7.3	19.3	16.8	9.9	8.4	1.5	2.6
	20年以上	14.5	16.4	13.5	10.9	7.3	1.6	1.1
	生まれてからずっと	23.1	17.0	13.0	8.6	6.2	1.8	2.0

注) 全体の高い順に並べ替えている。

※複数回答

5. 新市建設計画の基本方針で特に望むこと

新市建設計画にかかげた基本方針の柱の中で、最も要望が高いのは「安全で安心、うるおいのある生活環境づくり(生活環境対策)」(53.3%)で、過半数の人が特に望むこととしてあげています。

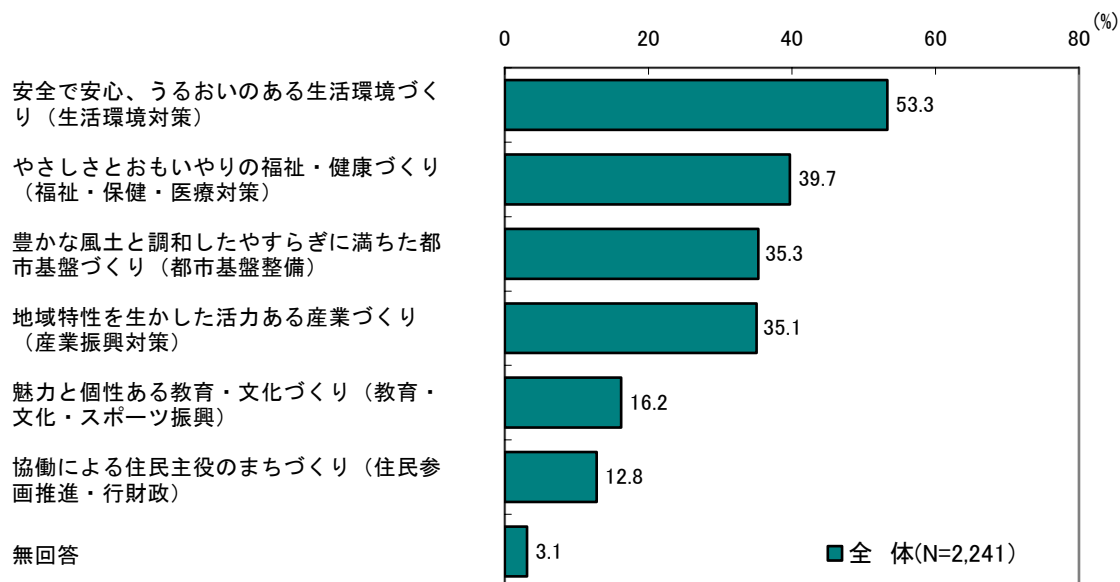
次が「やさしさとおもいやりの福祉・健康づくり(福祉・保健・医療対策)」(39.7%)で、以下、「豊かな風土と調和したやすらぎに満ちた都市基盤づくり(都市基盤整備)」(35.3%)、「地域特性を生かした活力ある産業づくり(産業振興対策)」(35.1%)がほぼ同率で続いています。

図表 10 特に望む基本方針(全体)

問 1 2. 合併時の新市の建設計画においては、まちづくりの基本理念と将来像は次のようになっています。

基本理念 第1 水・人・歴史を育み、未来を拓くまちづくり
 第2 創造と活力にあふれ、賑わいのあるまちづくり
将来像 生きがいと活力に満ち 自然と共生する住みよいまち

下記の新市建設計画の基本方針の柱の中で、あなたが、これからの柳川市に対して、特に望まれることは何ですか。次の中からあてはまるものを2つ選んでください。



階層別特性

◆性別

相対的にみて、女性の要望が高いのは「安全で安心、うるおいのある生活環境づくり（生活環境対策）」（男性：49.2%、女性 56.3%）、「やさしさとおもいやりの福祉・健康づくり（福祉・保健・医療対策）」（男性：33.0%、女性 44.4%）です。

男性からの要望が高いのは、「地域特性を生かした活力ある産業づくり（産業振興対策）」（男性 37.9%、女性 33.2%）、「協働による住民主役のまちづくり（住民参画推進・行財政）」（男性 15.4%、女性 10.7%）です。

◆年齢別

年齢との関係がはっきりみられたのは「魅力と個性ある教育・文化づくり（教育・文化・スポーツ振興）」で、若い年代ほど要望が高くなっています。

特定の年代に支持が高いのは、40 歳代の「安全で安心、うるおいのある生活環境づくり（生活環境対策）」、50 歳代の「地域特性を生かした活力ある産業づくり（産業振興対策）」、60 歳代、70 歳代の「やさしさとおもいやりの福祉・健康づくり（福祉・保健・医療対策）」などです。

◆地域ブロック別

地域によって支持する項目にはやや違いがみられ、そのブロックの要望度が市全体を大きく上回っている項目は以下のようになっています。

柳城ブロック：「豊かな風土と調和したやすらぎに満ちた都市基盤づくり（都市基盤整備）」

柳南ブロック：「地域特性を生かした活力ある産業づくり（産業振興対策）」

蒲池ブロック：「やさしさとおもいやりの福祉・健康づくり（福祉・保健・医療対策）」

昭代ブロック：「魅力と個性ある教育・文化づくり（教育・文化・スポーツ振興）」

大和北ブロック：「豊かな風土と調和したやすらぎに満ちた都市基盤づくり（都市基盤整備）」

大和南ブロック：「地域特性を生かした活力ある産業づくり（産業振興対策）」

三橋西ブロック：「安全で安心、うるおいのある生活環境づくり（生活環境対策）」

三橋東ブロック：「安全で安心、うるおいのある生活環境づくり（生活環境対策）」

◆居住歴

居住歴が長いほど支持が高いのは「地域特性を生かした活力ある産業づくり（産業振興対策）」で、長く住んでいる人ほど産業振興に期待を持っています。

図表 11 特に望む基本方針(階層別)

(%)

		サンプル数	安全で安心、うるおいのある生活環境づくり (生活環境対策)	やさしさとおもいやりの福祉・健康づくり (福祉・保健・医療対策)	豊かな風土と調和したやすらぎに満ちた都市基盤づくり (都市基盤整備)	地域特性を生かした活力ある産業づくり (産業振興対策)	魅力と個性ある教育・文化づくり (教育・文化・スポーツ振興)	協働による住民主役のまちづくり (住民参画推進・行財政)	無回答
全 体		2,241	53.3	39.7	35.3	35.1	16.2	12.8	3.1
性別	男性	933	49.2	33.0	37.4	37.9	18.3	15.4	3.6
	女性	1,287	56.3	44.4	34.0	33.2	14.9	10.7	2.6
年齢別	20歳代	199	52.3	35.7	38.2	30.2	23.1	13.1	2.5
	30歳代	246	54.9	39.0	37.4	31.3	22.4	11.4	2.0
	40歳代	357	57.1	30.8	32.2	38.1	21.8	13.2	2.5
	50歳代	508	55.7	33.7	38.4	40.4	13.8	13.6	1.6
	60歳代	447	56.6	45.4	32.7	35.6	11.9	12.1	2.5
	70歳以上	472	44.7	49.8	34.7	30.9	12.7	13.1	6.4
ブロック別	柳城ブロック	552	54.9	38.6	38.9	32.1	16.3	12.7	2.9
	柳南ブロック	374	50.3	38.8	32.4	39.0	16.3	15.2	2.9
	蒲池ブロック	252	52.0	44.0	34.9	33.7	16.3	10.3	2.8
	昭代ブロック	369	51.5	39.8	34.1	36.0	19.2	13.6	2.2
	大和北ブロック	193	53.9	36.3	38.9	34.7	15.5	14.0	3.1
	大和南ブロック	144	54.9	40.3	32.6	38.9	9.7	11.1	6.3
	三橋西ブロック	167	57.5	41.9	31.1	35.3	16.8	13.2	1.8
	三橋東ブロック	156	57.1	41.0	35.9	34.0	15.4	10.9	3.2
居住歴	5年未満	113	47.8	42.5	37.2	31.0	17.7	8.8	6.2
	5年以上	274	55.1	41.6	31.0	32.5	21.2	10.2	3.6
	20年以上	823	55.0	43.6	34.9	32.7	14.1	14.1	2.4
	生まれてからずっと	1,012	52.2	35.9	37.1	38.1	16.5	12.7	3.0

注) 全体の高い順に並べ替えしている。

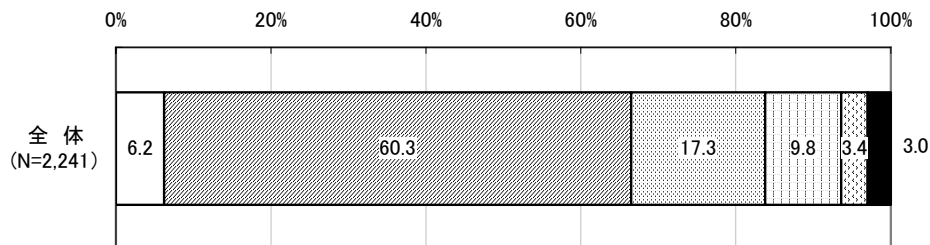
※複数回答

6. 行政サービスと受益者負担についての考え方

行政サービスの水準と市民の負担については、全体の6割が「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人が一部費用を負担し、税など市民全体の負担は増やすべきはでない」(60.3%)と回答しており、サービス内容によっては、公平な税負担よりも受益者負担を求めるべきだという考えが中心となっています。

図表 12 行政サービスと受益者負担についての考え方(全体)

問13. 行財政改革を進めていく上での、行政サービスの水準と市民の負担とのバランスについて、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。



- 行政サービスの維持・充実を優先すべきで、税など市民全体の負担が増えることもやむをえない
- 行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人が一部費用を負担し、税など市民全体の負担は増やすべきはでない
- 行政サービス低下はやむをえず、税など市民の負担は増やすべきではない
- わからない
- その他
- 無回答

階層別特性

◆性別

受益者負担という考え方は女性よりも男性のほうがやや強いようです。

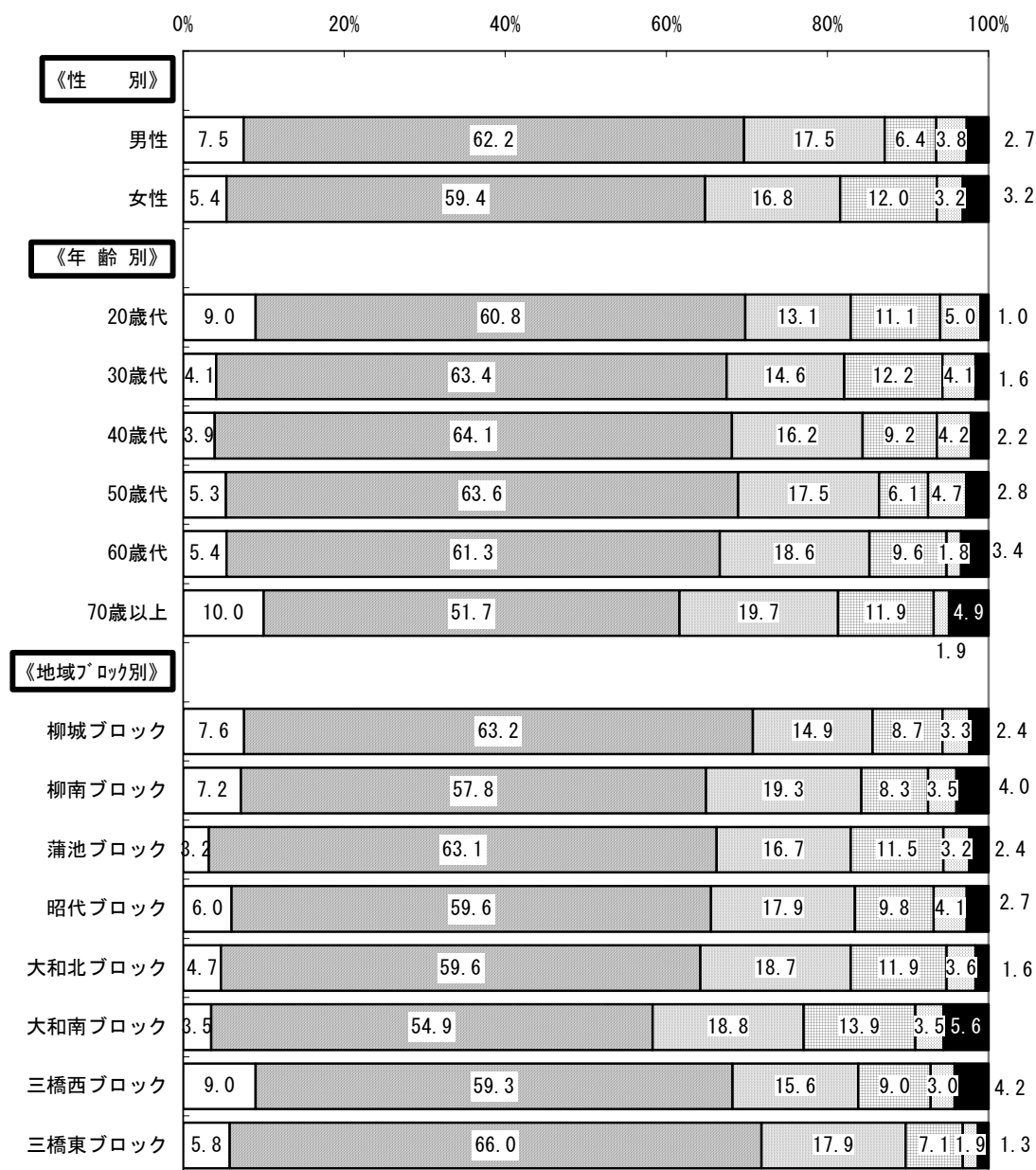
◆年齢別

受益者負担という考え方は40歳代に強く、反対に70歳以上はサービス重視で、税負担増は容認するという人の割合が高くなっています。

◆地域ブロック別

受益者負担という考え方は三橋東ブロック(66.0%)、柳城ブロック(63.2%)、蒲池ブロック(63.1%)に強く、相対的にみてサービス重視・税負担増容認派は三橋西ブロック(9.0%)に高い割合となっています。

図表 13 行政サービスと受益者負担についての考え方(階層別)



- 行政サービスの維持・充実を優先すべきで、税など市民全体の負担が増えることもやむをえない
- 行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人が一部費用を負担し、税など市民全体の負担は増やすべきはでない
- 行政サービス低下はやむをえず、税など市民の負担は増やすべきではない
- わからない
- その他
- 無回答

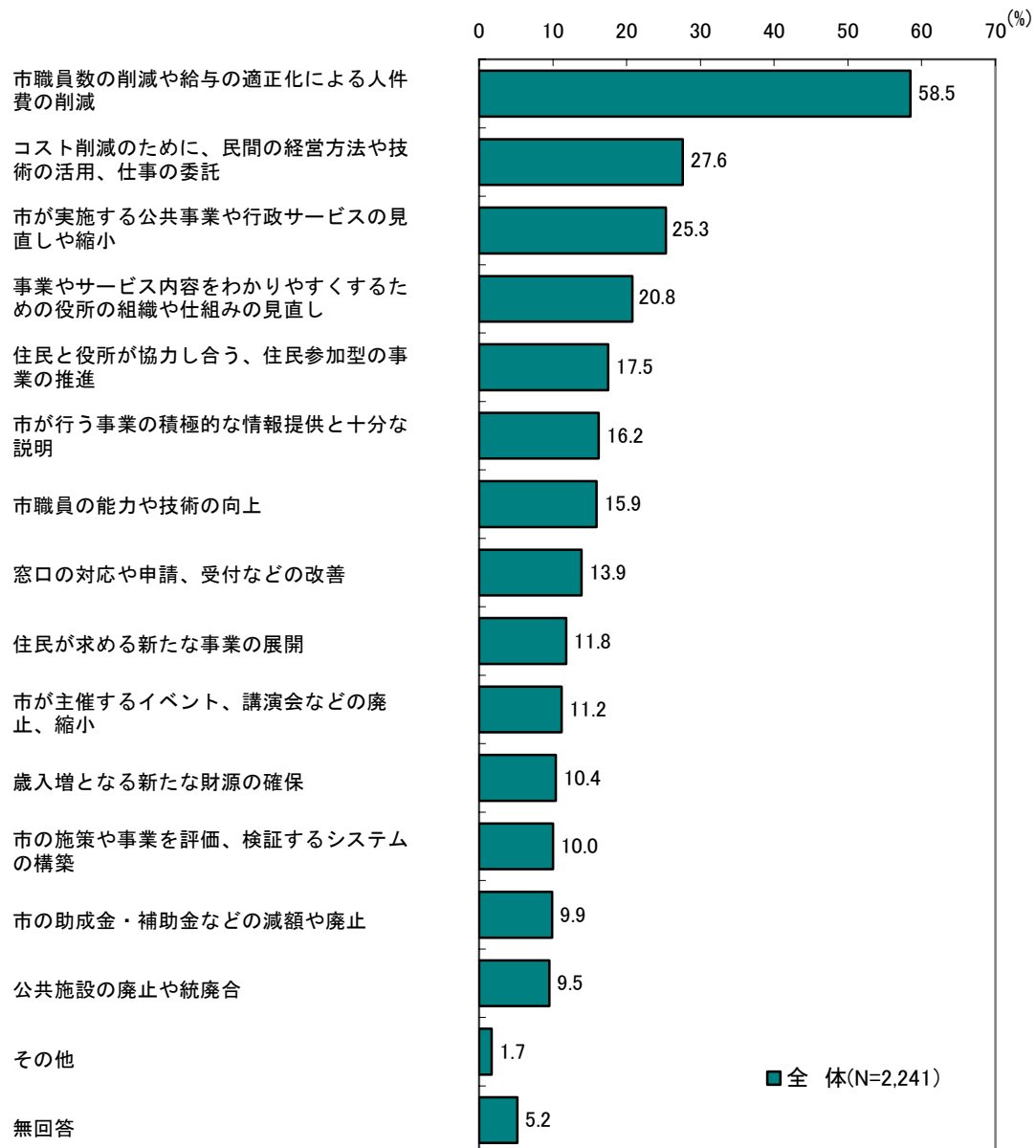
7. 行政効率化、財政健全化に重要なこと

行政の効率化、財政の健全化に向けて最も重要だと考えられているのは「市職員数の削減や給与の適正化による人件費の削減」(58.5%)で、他の項目を大きく引き離しています。

以下、「コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託」(27.6%)、「市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小」(25.3%)、「事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し」(20.8%)などが続き、行政との連携、情報提供、職員の資質の向上、窓口対応の改善などはさほど重要視されていないようです。

図表 14 行政効率化、財政健全化に重要なこと(全体)

問 14. あなたは、行政の効率化や財政の健全化のために、次のどれが重要だとお考えですか。次の中からあてはまるもの3つ以内で選んでください。



階層別特性

図表 15 行政効率化、財政健全化に重要なこと(上位5位まで)(階層別)

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	市職員数の削減や給与の適正化による人件費の削減 60.8	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 33.0	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 24.8	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 18.6	住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進 18.2
女性	市職員数の削減や給与の適正化による人件費の削減 56.8	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 26.0	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 24.0	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 22.5	住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進 17.2
20歳代	市職員数の削減や給与の適正化による人件費の削減 57.3	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 35.7	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 24.6	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 22.1	市が行う事業の積極的な情報提供と十分な説明 20.1
30歳代	市職員数の削減や給与の適正化による人件費の削減 56.1	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 29.3	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 27.2	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 21.5	住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進 21.1
40歳代	市職員数の削減や給与の適正化による人件費の削減 60.2	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 31.4	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 27.5	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 19.6	住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進 17.9
50歳代	市職員数の削減や給与の適正化による人件費の削減 64.0	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 32.7	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 28.9	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 20.3	住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進 16.1
60歳代	市職員数の削減や給与の適正化による人件費の削減 59.3	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 24.6	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 23.0	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 19.5	市職員の能力や技術の向上 17.7
70歳以上	市職員数の削減や給与の適正化による人件費の削減 52.8	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 22.5	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 20.3	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 19.5	住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進 18.4
柳城ブロック	市職員数の削減や給与の適正化による人件費の削減 57.8	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 29.3	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 27.7	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 21.7	市職員の能力や技術の向上 17.6
柳南ブロック	市職員数の削減や給与の適正化による人件費の削減 55.6	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 25.9	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 25.7	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 24.6	住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進 20.6
蒲池ブロック	市職員数の削減や給与の適正化による人件費の削減 59.9	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 26.2	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 23.8	住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進 17.9	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 16.3
昭代ブロック	市職員数の削減や給与の適正化による人件費の削減 62.1	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 27.4	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 24.7	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 20.3	市が行う事業の積極的な情報提供と十分な説明 17.9
大和北ブロック	市職員数の削減や給与の適正化による人件費の削減 58.0	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 24.4	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 23.8	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 22.3	市が主催するイベント、講演会などの廃止、縮小 18.1
大和南ブロック	市職員数の削減や給与の適正化による人件費の削減 52.8	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 29.2	市が行う事業の積極的な情報提供と十分な説明 19.4	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 18.8	住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進 16.7
三橋西ブロック	市職員数の削減や給与の適正化による人件費の削減 62.9	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 29.9	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 26.3	市が行う事業の積極的な情報提供と十分な説明 19.8	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 19.2
三橋東ブロック	市職員数の削減や給与の適正化による人件費の削減 60.9	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 34.0	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 29.5	住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進 22.4	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 16.7

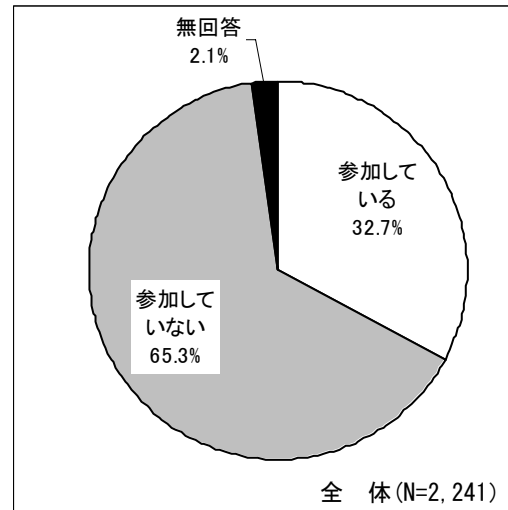
※複数回答

8. 地域社会(コミュニティ)活動への参加状況

1. 地域社会(コミュニティ)活動への参加率

現在、地域社会(コミュニティ)活動に参加している人は全体の3割強です。

図表 16 地域社会活動への参加状況(全体)



階層別特性

◆性別

相対的にみて、女性よりも男性の方がコミュニティ活動に積極的に参加しており、男性の参加率は女性を6ポイントほど上回っています。

◆年齢別

最もコミュニティ活動への参加率が高いのは40歳代(42.9%)で、他の年代の参加率を大きく上回っています。次に参加率が高いのは60歳代(37.8%)で、30歳代と50歳代がほぼ同程度の参加率となっています。

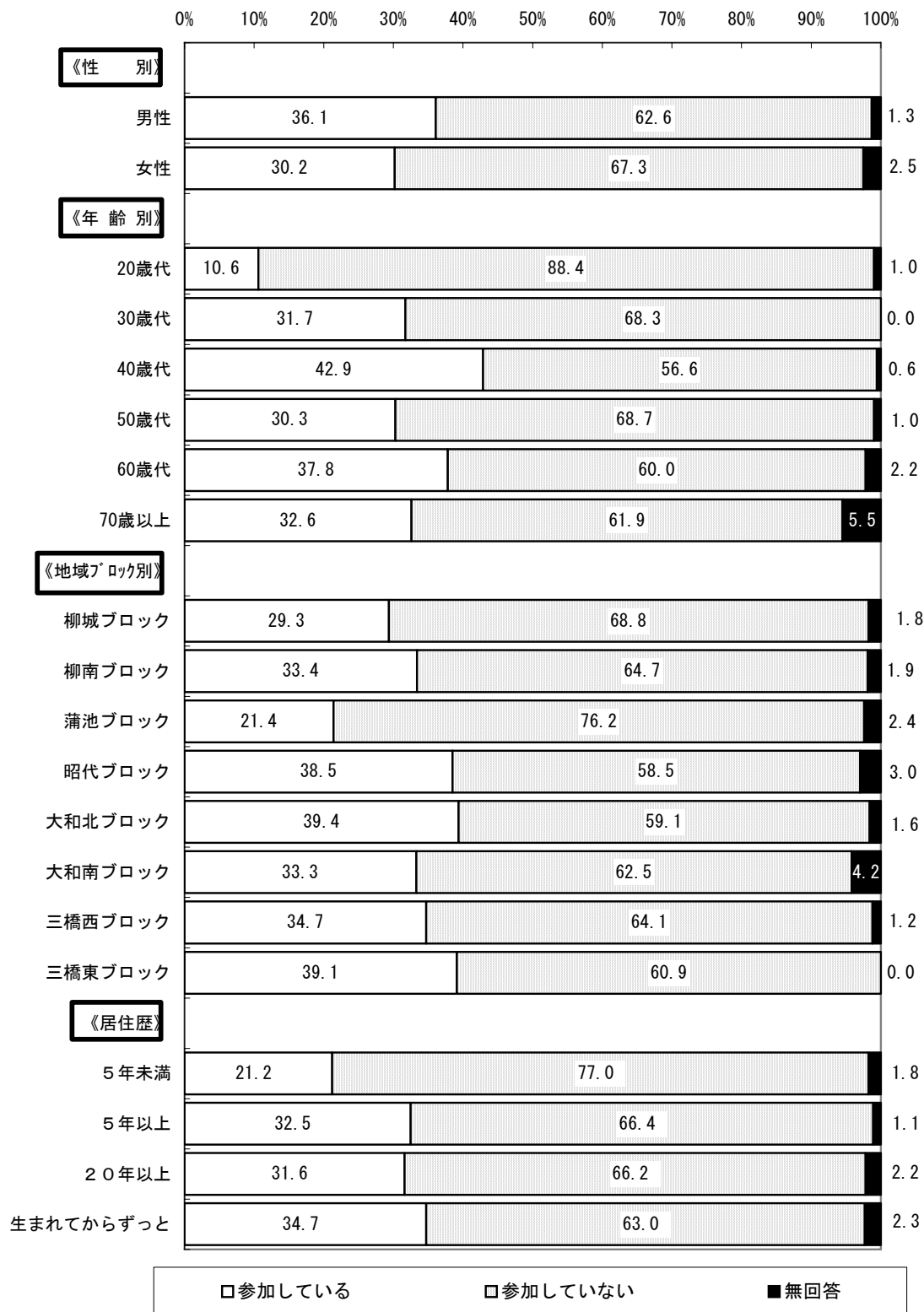
◆地域ブロック別

コミュニティ活動への参加率が高いのは、大和北ブロック(39.4%)、三橋東ブロック(39.1%)、昭代ブロック(38.5%)で、三橋西ブロック、柳南ブロック、大和南ブロックが33%前後、柳城ブロックが30%程度の参加率となっています。最も参加に消極的な蒲池ブロック(21.4%)では2割程度の参加率にとどまっており、かなり地域格差があるようです。

◆居住歴

居住歴が長いほど、コミュニティ活動への参加率が高くなっています。

図表 17 地域社会活動への参加状況(階層別)



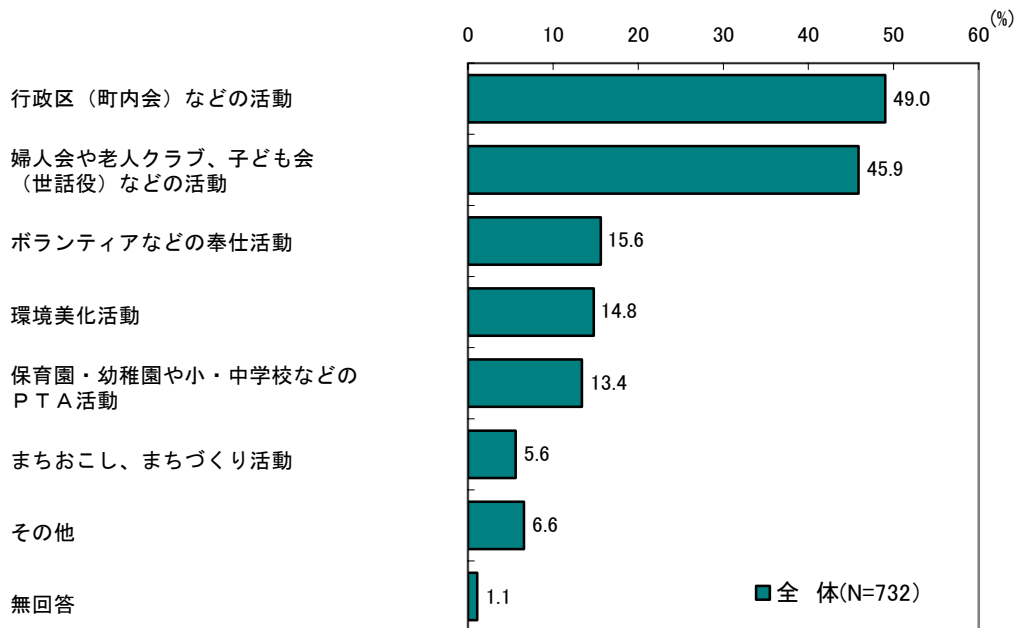
2. 参加している活動・団体

何らかの地域社会活動に参加している 732 人のうち、ほぼ半数が参加しているのは「行政区（町内会）などの活動」(49.0%)で、次に「婦人会や老人クラブ、子ども会（世話役）などの活動」(45.9%)が続いています。

以下、大きく参加率を下げて、「ボランティアなどの奉仕活動」(15.6%)、「環境美化活動」(14.8%)、「保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動」(13.4%)などが続いており、「まちおこし、まちづくり活動」は 5.6%にとどまっています。

図表 18 参加している活動・団体(全体)

問15-2. (参加している人に)あなたの参加している活動・団体は何ですか。
次の中からあてはまるものすべてを選んでください。



階層別特性

図表 19 参加している活動・団体(上位5位まで)(階層別)

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	行政区(町内会)などの活動 60.8	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 27.6	環境美化活動 20.8	ボランティアなどの奉仕活動 20.8	保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動 11.6
女性	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 62.2	行政区(町内会)などの活動 39.3	保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動 14.9	ボランティアなどの奉仕活動 11.3	環境美化活動 9.3
20歳代	行政区(町内会)などの活動 23.8	ボランティアなどの奉仕活動 23.8	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 14.3	まちおこし、まちづくり活動 14.3	環境美化活動 14.3
30歳代	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 43.6	行政区(町内会)などの活動 41.0	保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動 39.7	ボランティアなどの奉仕活動 15.4	まちおこし、まちづくり活動 5.1
40歳代	行政区(町内会)などの活動 56.2	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 45.8	保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動 35.9	環境美化活動 14.4	ボランティアなどの奉仕活動 10.5
50歳代	行政区(町内会)などの活動 58.4	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 40.3	環境美化活動 14.3	ボランティアなどの奉仕活動 11.0	まちおこし、まちづくり活動 4.5
60歳代	行政区(町内会)などの活動 55.6	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 37.9	ボランティアなどの奉仕活動 22.5	環境美化活動 16.6	まちおこし、まちづくり活動 7.1
70歳以上	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 66.2	行政区(町内会)などの活動 33.8	環境美化活動 18.2	ボランティアなどの奉仕活動 16.9	まちおこし、まちづくり活動 5.2
柳城ブロック	行政区(町内会)などの活動 50.0	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 30.9	環境美化活動 17.9	ボランティアなどの奉仕活動 16.0	保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動 14.8
柳南ブロック	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 52.0	行政区(町内会)などの活動 51.2	ボランティアなどの奉仕活動 14.4	環境美化活動 12.8	保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動 9.6
蒲池ブロック	行政区(町内会)などの活動 53.7	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 33.3	ボランティアなどの奉仕活動 14.8	保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動 9.3	環境美化活動 9.3
昭代ブロック	行政区(町内会)などの活動 54.2	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 50.0	ボランティアなどの奉仕活動 14.8	環境美化活動 13.4	保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動 11.3
大和北ブロック	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 50.0	行政区(町内会)などの活動 43.4	保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動 18.4	環境美化活動 17.1	ボランティアなどの奉仕活動 15.8
大和南ブロック	行政区(町内会)などの活動 56.3	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 50.0	保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動 12.5	環境美化活動 10.4	ボランティアなどの奉仕活動 8.3
三橋西ブロック	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 51.7	行政区(町内会)などの活動 41.4	ボランティアなどの奉仕活動 20.7	環境美化活動 15.5	保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動 13.8
三橋東ブロック	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 62.3	行政区(町内会)などの活動 36.1	保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動 19.7	ボランティアなどの奉仕活動 19.7	環境美化活動 18.0

※複数回答

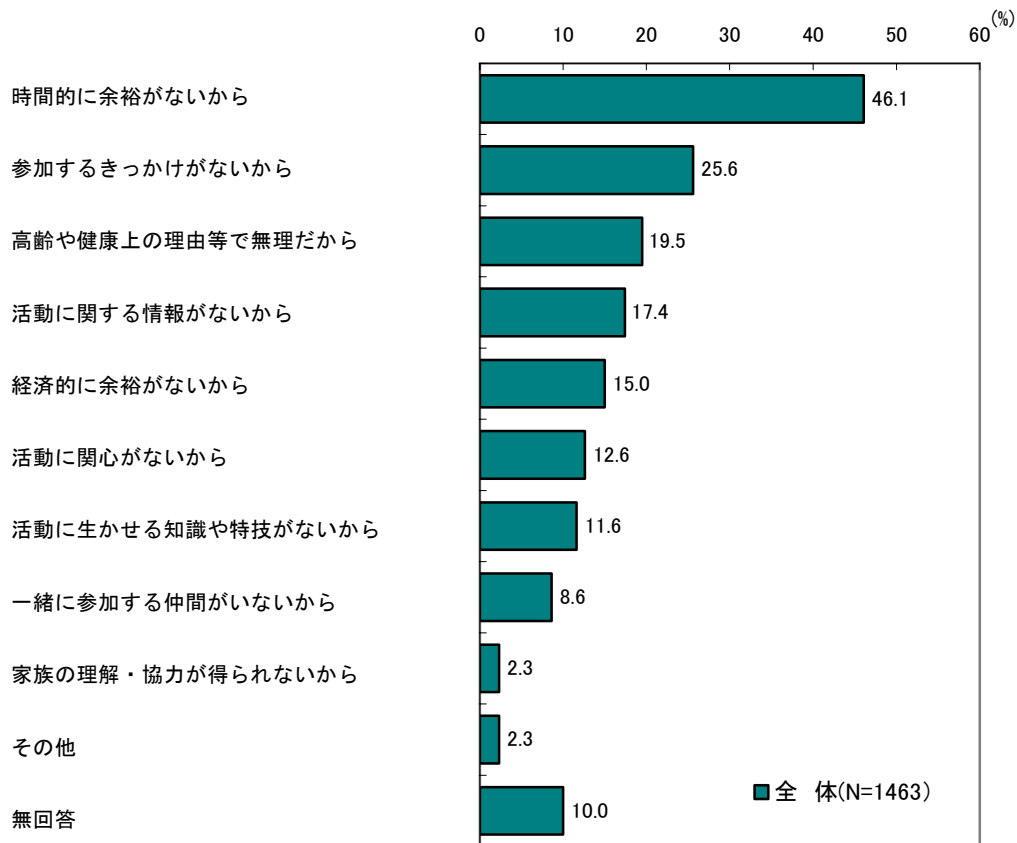
3. 地域社会活動に参加していない理由

地域社会活動には参加していない 1,463 人の参加していない理由では、「時間的に余裕がないから」(46.1%)が最も多くあげられています。4人に1人は「参加するきっかけがないから」(25.6%)をあげており、地域とのかかわりが薄い人でも、参加のきっかけさえあれば、地域社会活動への参加機会が増えるかもしれません。

以下、大きく比率を下げて「高齢や健康上の理由等で無理だから」(19.5%)、「活動に関する情報がないから」(17.4%)、「経済的に余裕がないから」(15.0%)、「活動に関心がないから」(12.6%)、「活動に生かせる知識や特技がないから」(11.6%)などが続いています。

図表 20 地域社会活動に参加していない理由(全体)

問15-2. (参加していない人に) 地域社会活動に参加していないのはなぜですか。
次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

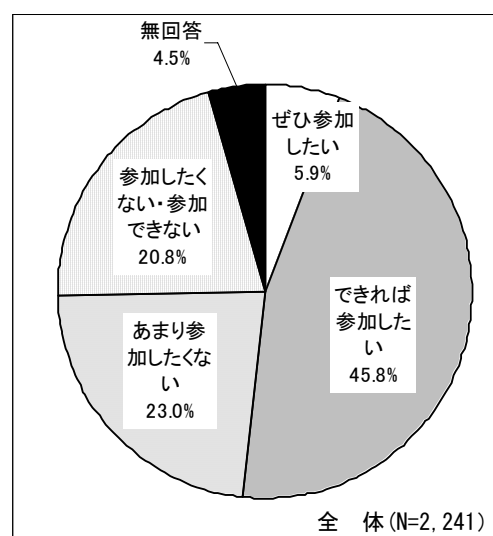


9. ボランティア活動やコミュニティ活動への参加意向

1. ボランティア活動やコミュニティ活動への参加意向

ボランティア活動や地域社会（コミュニティ）活動に、ぜひ参加してみたいと思う人は 5.9%、できれば参加したい人が 45.8%と、全体のほぼ半数が地域での活動に前向きな姿勢を見せています。

図表 21 ボランティア活動やコミュニティ活動への参加意向



階層別特性

◆性別

相対的にみて、女性よりも男性の方がボランティア活動やコミュニティ活動への参加意向が高く、男性の参加意向率（ぜひ＋できれば参加したい人の割合）は女性を6ポイント上回っています。

◆年齢別

最もボランティア活動やコミュニティ活動への参加意向率が高いのは60歳代（60.4%）で、他の年代の参加意向率を大きく上回っています。次に参加率が高いのは40歳代（55.8%）で、20歳代、30歳代、50歳代がほぼ同率となっています。

◆地域ブロック別

コミュニティ活動への参加意向率が高いのは、昭代ブロック（57.4%）、三橋東ブロック（56.4%）で、柳城ブロック（53.1%）、三橋西ブロック（52.1%）、柳南ブロック（50.8%）の3ブロックでは参加意向率が5割を超えています。

2. 参加してみたい活動内容

ボランティア活動や地域社会活動に参加してみたいという気持ちを持っている人が、どのような分野の活動に関心を持っているかを尋ねました。

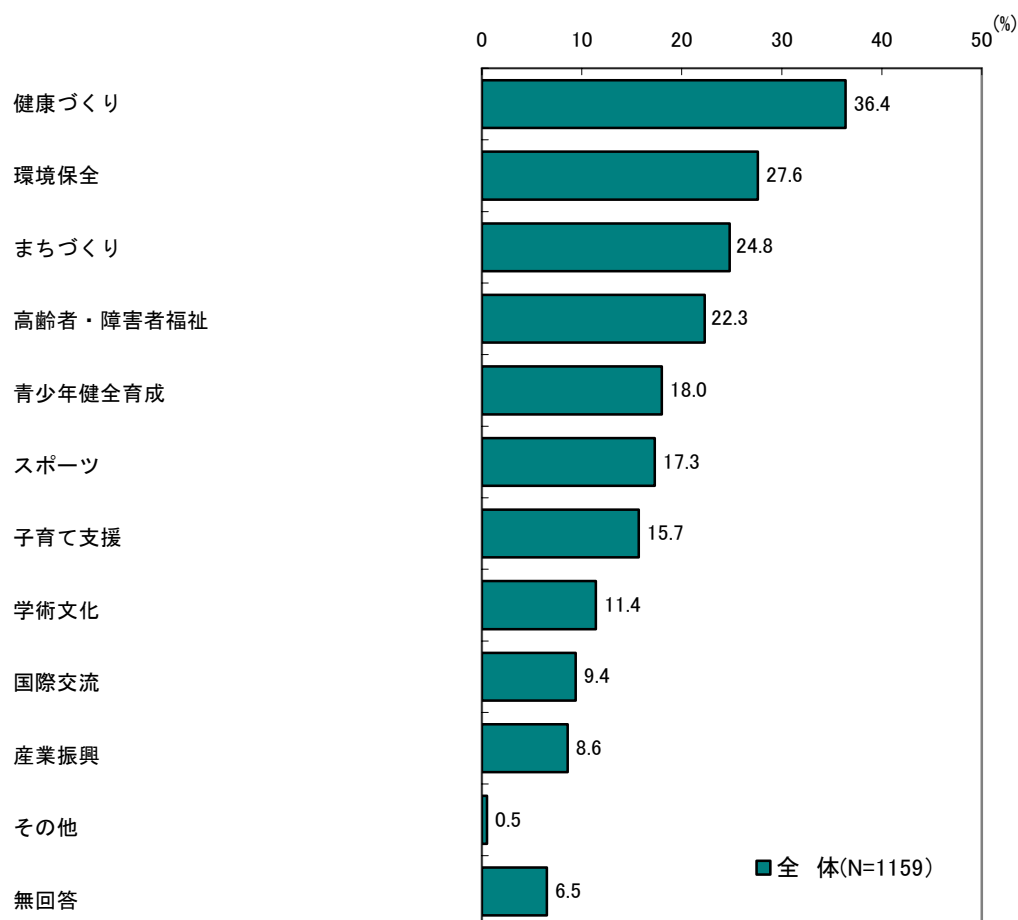
かなり多様化しているものの、「健康づくり」(36.4%)が最も多くの関心を集めており、地域とかわるきっかけとしては、公民館などを利用した健康教室などが効果的であるといえます。

次に「環境保全」(27.6%)、「まちづくり」(24.8%)、「高齢者・障害者福祉」(22.3%)が続き、1割を超える回答があったのは「青少年健全育成」(18.0%)、「スポーツ」(17.3%)、「子育て支援」(15.7%)、「学術文化」(11.4%)です。

また、現在の地域社会活動における「まちおこし、まちづくり活動」(参加率 5.6%)への参加状況に比べると、これから「まちづくり」に参加してみたいという人はずいぶん増えています。

図表 23 参加してみたい活動内容(全体)

問16-2. (ぜひ、できれば参加したい人に)どのような分野の活動に参加したいと思いますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。



階層別特性

図表 24 参加してみたい活動内容(上位5位まで)(階層別)

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	環境保全 35.5	まちづくり 31.2	健康づくり 29.1	青少年健全育成 25.6	スポーツ 20.5
女性	健康づくり 42.4	高齢者・障害者福祉 24.8	環境保全 21.3	子育て支援 20.7	まちづくり 19.4
20歳代	スポーツ 41.5	環境保全 31.1	国際交流 27.4	高齢者・障害者福祉 25.5	まちづくり 22.6
30歳代	子育て支援 35.7	スポーツ 34.9	健康づくり 24.6	青少年健全育成 23.8	環境保全 21.4
40歳代	環境保全 33.7	健康づくり 31.7	まちづくり 29.1	子育て支援 27.1	スポーツ 24.6
50歳代	環境保全 35.8	健康づくり 32.5	まちづくり 26.3	青少年健全育成 19.3	高齢者・障害者福祉 18.6
60歳代	健康づくり 49.6	高齢者・障害者福祉 27.0	まちづくり 26.7	環境保全 23.0	青少年健全育成 15.9
70歳以上	健康づくり 44.4	高齢者・障害者福祉 27.2	まちづくり 18.9	環境保全 18.3	青少年健全育成 13.3
柳城ブロック	健康づくり 37.5	環境保全 30.7	まちづくり 28.0	高齢者・障害者福祉 19.5	子育て支援 18.4
柳南ブロック	健康づくり 38.4	環境保全 25.8	高齢者・障害者福祉 24.2	まちづくり 22.1	青少年健全育成 18.4
蒲池ブロック	健康づくり 34.7	環境保全 27.3	高齢者・障害者福祉 24.8	まちづくり 20.7	青少年健全育成 18.2
昭代ブロック	健康づくり 35.8	環境保全 28.8	高齢者・障害者福祉 25.0	青少年健全育成 24.1	まちづくり 22.2
大和北ブロック	健康づくり 34.0	まちづくり 28.9	環境保全 23.7	高齢者・障害者福祉 19.6	スポーツ 17.5
大和南ブロック	健康づくり 30.5	環境保全 20.3	まちづくり 20.3	子育て支援 16.9	青少年健全育成、高齢者・障害者福祉 15.3
三橋西ブロック	健康づくり 35.6	環境保全 33.3	まちづくり 32.2	子育て支援 24.1	高齢者・障害者福祉 20.7
三橋東ブロック	健康づくり 36.4	高齢者・障害者福祉 27.3	まちづくり 25.0	環境保全 22.7	学術文化 15.9

※複数回答

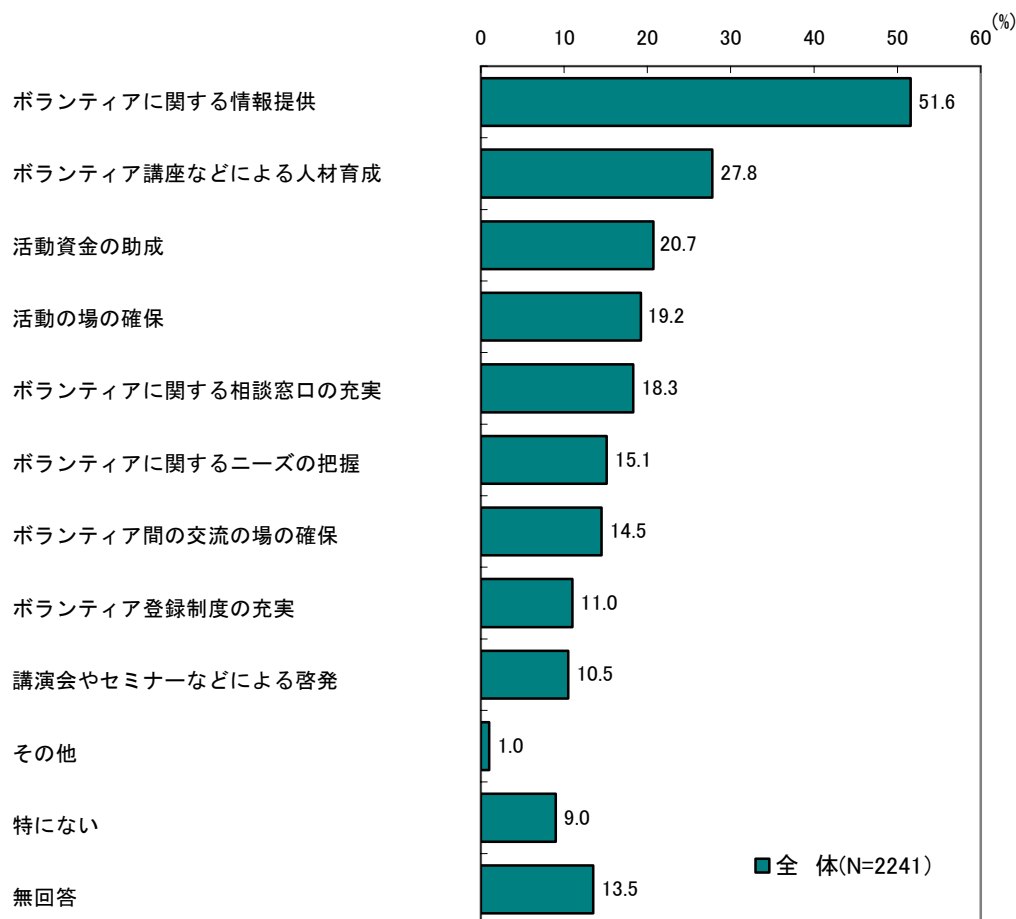
10. ボランティア活動や地域社会活動への行政の役割

ボランティア活動や地域社会活動の活性化に向けて市が担うべき役割として、過半数の人が「ボランティアに関する情報提供」(51.6%)をあげています。

以下、大きく比率を下げて、「ボランティア講座などによる人材育成」(27.8%)、「活動資金の助成」(20.7%)、「活動の場の確保」(19.2%)、「ボランティアに関する相談窓口の充実」(18.3%)などが続いており、ボランティア活動や地域社会活動の活性化において、市民が行政に求めているのは、「情報」「人」「資金面での支援」の3つとなっています。

図表 25 ボランティア活動や地域社会活動の活性化に市がすべきこと(全体)

問17. 柳川市のボランティア活動や地域社会活動をより一層活性化するためには、市はどのようなことを行う必要があると思いますか。次の中からあてはまるものを3つ以内で選んでください。



階層別特性

図表 26 ボランティア活動や地域社会活動の活性化に市がすべきこと(上位5位まで)(階層別)

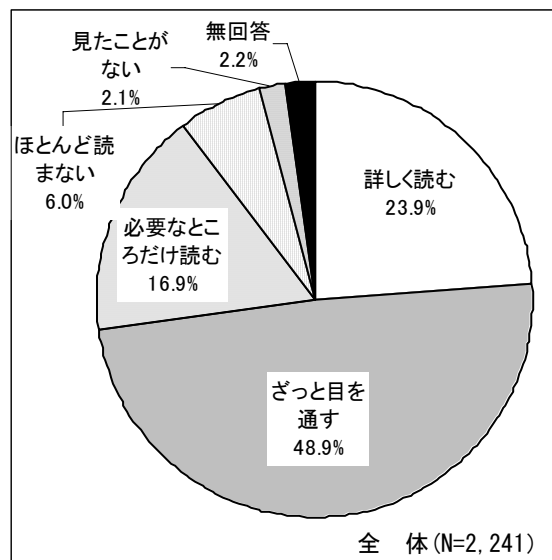
	1位	2位	3位	4位	5位
男性	ボランティアに関する情報提供 52.9	ボランティア講座などによる人材育成 28.7	活動資金の助成 24.1	活動の場の確保 19.9	ボランティアに関する相談窓口の充実 18.5
女性	ボランティアに関する情報提供 51.0	ボランティア講座などによる人材育成 27.4	活動の場の確保 18.6	活動資金の助成 18.4	ボランティアに関する相談窓口の充実 18.2
20歳代	ボランティアに関する情報提供 62.8	ボランティア講座などによる人材育成 24.6	活動の場の確保 24.1	ボランティアに関するニーズの把握 21.6	活動資金の助成 19.1
30歳代	ボランティアに関する情報提供 56.9	ボランティア講座などによる人材育成 32.1	ボランティアに関するニーズの把握 22.8	活動資金の助成 22.0	活動の場の確保 21.1
40歳代	ボランティアに関する情報提供 57.1	ボランティア講座などによる人材育成 28.0	活動資金の助成 25.2	活動の場の確保 24.6	ボランティアに関する相談窓口の充実 19.6
50歳代	ボランティアに関する情報提供 54.1	ボランティア講座などによる人材育成 27.6	ボランティアに関する相談窓口の充実 22.0	活動資金の助成 21.3	活動の場の確保 18.9
60歳代	ボランティアに関する情報提供 48.5	ボランティア講座などによる人材育成 31.3	活動資金の助成 20.6	活動の場の確保 18.8	ボランティアに関する相談窓口の充実 18.6
70歳以上	ボランティアに関する情報提供 40.3	ボランティア講座などによる人材育成 23.9	活動資金の助成 16.9	ボランティアに関する相談窓口の充実 16.1	活動の場の確保 12.1
柳城ブロック	ボランティアに関する情報提供 55.3	ボランティア講座などによる人材育成 28.4	活動資金の助成 19.4	ボランティアに関する相談窓口の充実 19.4	活動の場の確保 19.4
柳南ブロック	ボランティアに関する情報提供 47.1	ボランティア講座などによる人材育成 27.0	活動資金の助成 19.3	ボランティアに関する相談窓口の充実 16.8	活動の場の確保 15.8
蒲池ブロック	ボランティアに関する情報提供 52.8	ボランティア講座などによる人材育成 27.0	活動の場の確保 23.0	活動資金の助成 21.4	ボランティアに関する相談窓口の充実 17.5
昭代ブロック	ボランティアに関する情報提供 51.8	ボランティア講座などによる人材育成 24.9	活動資金の助成 22.8	ボランティアに関する相談窓口の充実 19.2	活動の場の確保 19.0
大和北ブロック	ボランティアに関する情報提供 44.0	ボランティア講座などによる人材育成 25.9	活動資金の助成 21.2	活動の場の確保 21.2	ボランティアに関する相談窓口の充実 19.2
大和南ブロック	ボランティアに関する情報提供 49.3	ボランティア講座などによる人材育成 31.9	活動資金の助成 25.0	ボランティアに関する相談窓口の充実 17.4	活動の場の確保 17.4
三橋西ブロック	ボランティアに関する情報提供 57.5	ボランティア講座などによる人材育成 32.3	活動の場の確保 21.6	ボランティアに関するニーズの把握 17.4	活動資金の助成、ボランティアに関する相談窓口の充実 16.8
三橋東ブロック	ボランティアに関する情報提供 53.2	ボランティア講座などによる人材育成 31.4	活動資金の助成 22.4	活動の場の確保 18.6	ボランティアに関する相談窓口の充実 17.9

※複数回答

11. 市政情報との接触度

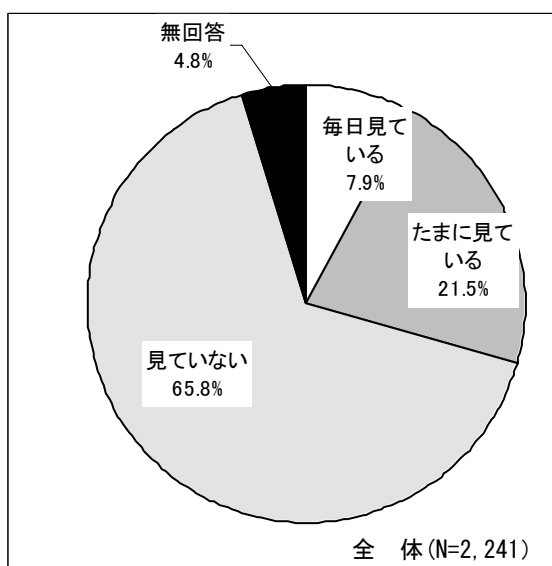
柳川市が毎月1日と15日に発行している「広報やながわ」の読み方をみると、「詳しく読む」が23.9%、「ざっと目を通す」が48.9%で、全体の72.8%の人が、紙面全体に目を通しており、市の広報誌としての「広報やながわ」はその役割を充分果たしているといえます。

図表 27 「広報やながわ」の読み方(全体)

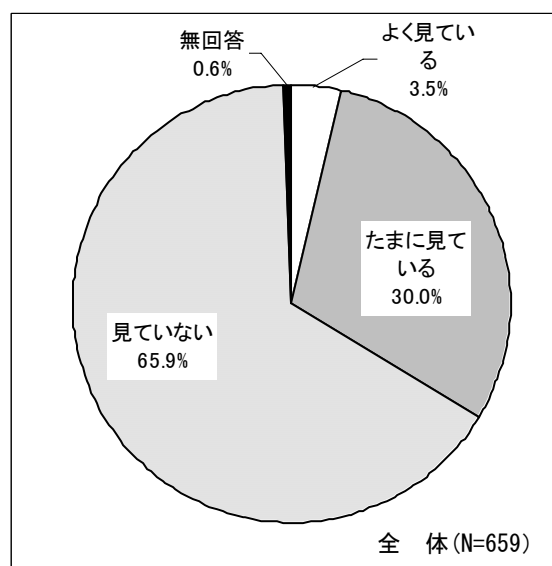


また、家庭でインターネットに接続できる環境にある人のうち、「毎日見ている」人が7.9%、「たまに見ている」人が21.5%と、家庭でインターネットを利用することがある人は全体の3割程度となっています。家庭でインターネットを利用することがある659人のうち、柳川市の公式HPを活用している人(「よく」「たまに」見ている人)は33.5%、221人となっており、家庭でインターネットに接続できる環境にある人のうち、市の公式HPを活用している人は全体の1割程度にとどまっています。

図表 28 インターネット利用状況(全体)



図表 29 柳川市公式HP活用度(全体)





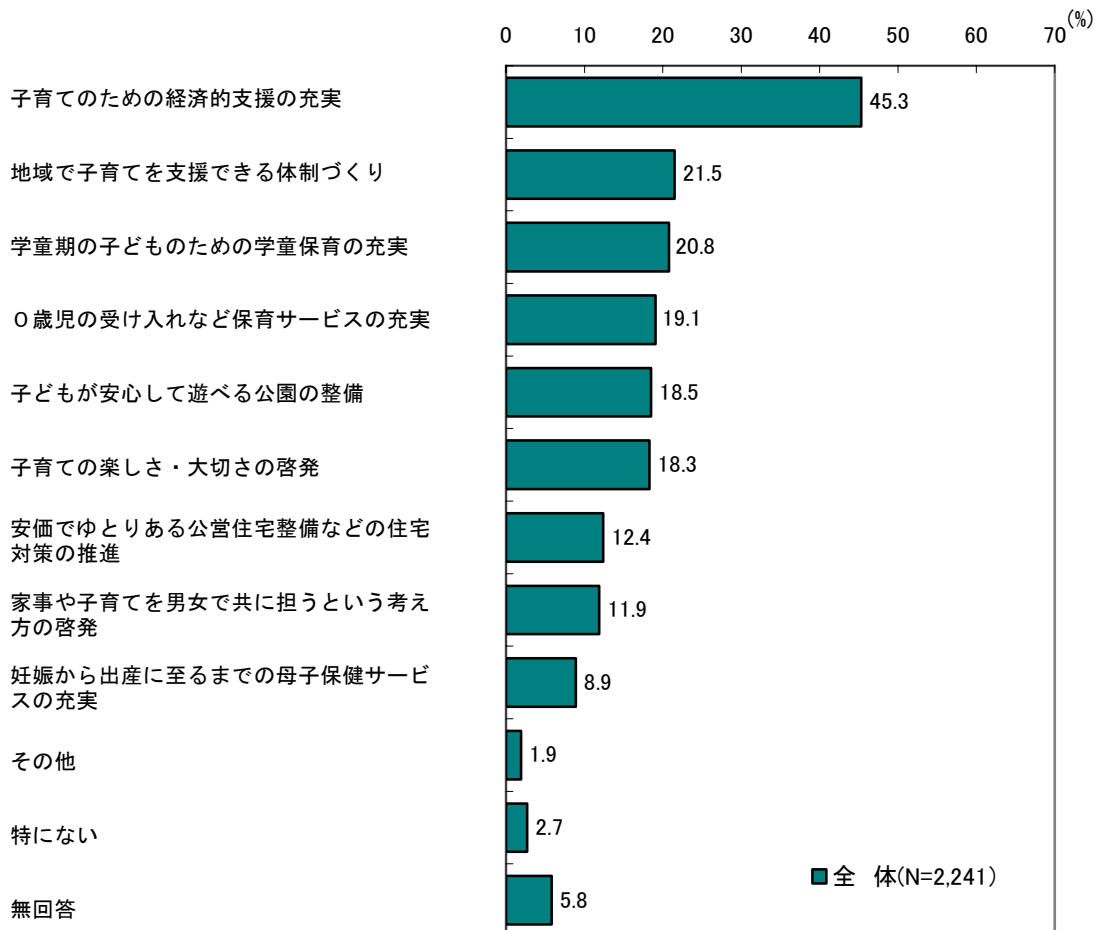
12. 少子化対策について

子どもを生き育てやすい環境づくり、いわゆる少子化対策として必要だと考えられていることは「子育てのための経済的支援の充実」(45.3%)で、他の項目を大きく引き離して最も多い回答となっています。

以下、ほぼ同率で「地域で子育てを支援できる体制づくり」(21.5%)、「学童期の子どものための学童保育の充実」(20.8%)、「0歳児の受け入れなど保育サービスの充実」(19.1%)、「子どもが安心して遊べる公園の整備」(18.5%)、「子育ての楽しさ・大切さの啓発」(18.3%)などが続いています。

図表 30 子どもを生き育てやすい環境づくりに必要なこと(全体)

問20. あなたは、子どもを生き育てやすい環境づくりを推進するためには、市はどのようなことを行う必要があると思いますか。次の中からあてはまるもの2つ選んでください。



階層別特性

図表 31 子どもを生み育てやすい環境づくりに必要なこと(上位5位)(階層別)

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	子育てのための経済的支援の充実 48.4	地域で子育てを支援できる体制づくり 22.6	学童期の子どものための学童保育の充実 19.0	0歳児の受け入れなど保育サービスの充実 18.8	子育ての楽しさ・大切さの啓発 17.9
女性	子育てのための経済的支援の充実 43.3	学童期の子どものための学童保育の充実 22.5	地域で子育てを支援できる体制づくり 20.6	0歳児の受け入れなど保育サービスの充実 19.5	子どもが安心して遊べる公園の整備 19.5
20歳代	子育てのための経済的支援の充実 56.8	0歳児の受け入れなど保育サービスの充実 22.1	地域で子育てを支援できる体制づくり 21.6	安価でゆとりある公営住宅整備などの住宅対策の推進 17.6	妊娠から出産に至るまでの母子保健サービスの充実 17.1
30歳代	子育てのための経済的支援の充実 62.2	子どもが安心して遊べる公園の整備 25.2	学童期の子どものための学童保育の充実 22.8	妊娠から出産に至るまでの母子保健サービスの充実 16.3	安価でゆとりある公営住宅整備などの住宅対策の推進 15.0
40歳代	子育てのための経済的支援の充実 45.4	学童期の子どものための学童保育の充実 26.9	地域で子育てを支援できる体制づくり 26.3	0歳児の受け入れなど保育サービスの充実 19.0	子どもが安心して遊べる公園の整備 17.4
50歳代	子育てのための経済的支援の充実 41.1	地域で子育てを支援できる体制づくり 25.8	0歳児の受け入れなど保育サービスの充実 23.4	学童期の子どものための学童保育の充実 22.6	子育ての楽しさ・大切さの啓発 20.7
60歳代	子育てのための経済的支援の充実 45.9	地域で子育てを支援できる体制づくり 23.9	学童期の子どものための学童保育の充実 21.3	子育ての楽しさ・大切さの啓発 20.4	0歳児の受け入れなど保育サービスの充実 19.0
70歳以上	子育てのための経済的支援の充実 35.6	子育ての楽しさ・大切さの啓発 25.2	子どもが安心して遊べる公園の整備 19.7	0歳児の受け入れなど保育サービスの充実 16.9	学童期の子どものための学童保育の充実 15.5
柳城ブロック	子育てのための経済的支援の充実 41.7	子育ての楽しさ・大切さの啓発 22.1	学童期の子どものための学童保育の充実 21.0	子どもが安心して遊べる公園の整備 20.7	地域で子育てを支援できる体制づくり 20.3
柳南ブロック	子育てのための経済的支援の充実 45.5	学童期の子どものための学童保育の充実 22.2	地域で子育てを支援できる体制づくり 21.9	0歳児の受け入れなど保育サービスの充実 19.8	子どもが安心して遊べる公園の整備 16.6
蒲池ブロック	子育てのための経済的支援の充実 44.8	学童期の子どものための学童保育の充実 25.0	0歳児の受け入れなど保育サービスの充実 21.8	地域で子育てを支援できる体制づくり 21.0	子どもが安心して遊べる公園の整備 15.9
昭代ブロック	子育てのための経済的支援の充実 47.2	地域で子育てを支援できる体制づくり 22.2	子育ての楽しさ・大切さの啓発 20.6	0歳児の受け入れなど保育サービスの充実 18.7	学童期の子どものための学童保育の充実 18.2
大和北ブロック	子育てのための経済的支援の充実 43.0	地域で子育てを支援できる体制づくり 23.3	学童期の子どものための学童保育の充実 22.8	子育ての楽しさ・大切さの啓発 21.2	0歳児の受け入れなど保育サービスの充実 19.7
大和南ブロック	子育てのための経済的支援の充実 53.5	学童期の子どものための学童保育の充実 22.2	子どもが安心して遊べる公園の整備 20.8	地域で子育てを支援できる体制づくり 19.4	0歳児の受け入れなど保育サービスの充実 13.9
三橋西ブロック	子育てのための経済的支援の充実 43.1	地域で子育てを支援できる体制づくり 24.0	子どもが安心して遊べる公園の整備 22.8	子育ての楽しさ・大切さの啓発 20.4	家事や子育てを男女で共に担うという考え方の啓発 16.8
三橋東ブロック	子育てのための経済的支援の充実 51.9	学童期の子どものための学童保育の充実 25.6	0歳児の受け入れなど保育サービスの充実 21.8	地域で子育てを支援できる体制づくり 20.5	子育ての楽しさ・大切さの啓発 15.4

※複数回答

13. 高齢化対策について

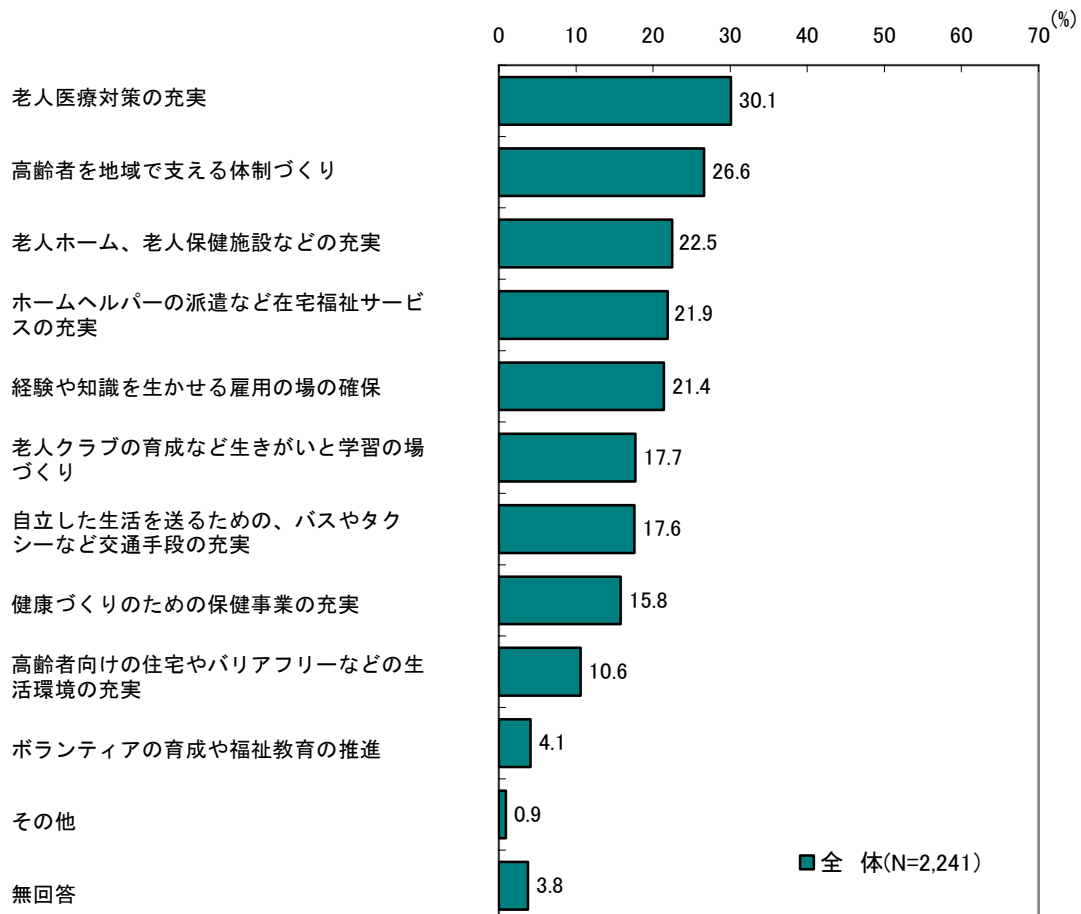
高齢化対策として最も重要視されているのは「老人医療対策の充実」(30.1%)です。

次に「高齢者を地域で支える体制づくり」(26.6%)が続き、以下 20%台で「老人ホーム、老人保健施設などの充実」(22.5%)、「ホームヘルパーの派遣など在宅福祉サービスの充実」(21.9%)、「経験や知識を生かせる雇用の場の確保」(21.4%)などが続き、さらに「老人クラブの育成など生きがいと学習の場づくり」(17.7%)、「自立した生活を送るための、バスやタクシーなど交通手段の充実」(17.6%)、「健康づくりのための保健事業の充実」(15.8%)などが続いています。

図表 32 高齢化対策として重要視すること(全体)

問 2 1. あなたは、高齢化対策として、次のどれが重要だと思いますか。

次の中からあてはまるもの2つ選んでください。



階層別特性

図表 33 高齢化対策として重要視すること(上位5位)(階層別)

		(%)				
		1位	2位	3位	4位	5位
男性	老人医療対策の充実		高齢者を地域で支える体制づくり	経験や知識を生かせる雇用場の確保	老人ホーム、老人保健施設などの充実	ホームヘルパーの派遣など在宅福祉サービスの充実
		29.3	28.3	25.7	20.7	19.8
女性	老人医療対策の充実		高齢者を地域で支える体制づくり	老人ホーム、老人保健施設などの充実	ホームヘルパーの派遣など在宅福祉サービスの充実	老人クラブの育成など生きがいと学習の場づくり
		30.6	25.4	23.9	23.7	19.4
20歳代	ホームヘルパーの派遣など在宅福祉サービスの充実		高齢者を地域で支える体制づくり	老人クラブの育成など生きがいと学習の場づくり	経験や知識を生かせる雇用場の確保	高齢者向けの住宅やバリアフリーなどの生活環境の充実
		25.6	24.1	24.1	24.1	22.6
30歳代	経験や知識を生かせる雇用場の確保		ホームヘルパーの派遣など在宅福祉サービスの充実	老人ホーム、老人保健施設などの充実	老人医療対策の充実	老人クラブの育成など生きがいと学習の場づくり
		28.0	26.4	24.4	23.6	23.2
40歳代	経験や知識を生かせる雇用場の確保		高齢者を地域で支える体制づくり	ホームヘルパーの派遣など在宅福祉サービスの充実	老人医療対策の充実	老人ホーム、老人保健施設などの充実
		28.9	25.5	25.2	24.1	21.0
50歳代	経験や知識を生かせる雇用場の確保		高齢者を地域で支える体制づくり	老人医療対策の充実	老人ホーム、老人保健施設などの充実	ホームヘルパーの派遣など在宅福祉サービスの充実
		28.0	27.4	26.4	23.0	20.5
60歳代	老人医療対策の充実		高齢者を地域で支える体制づくり	老人ホーム、老人保健施設などの充実	健康づくりのための保健事業の充実	ホームヘルパーの派遣など在宅福祉サービスの充実
		36.7	29.1	22.1	20.8	19.5
70歳以上	老人医療対策の充実		高齢者を地域で支える体制づくり	自立した生活を送るための、バスやタクシーなど交通手段の充実	老人ホーム、老人保健施設などの充実	ホームヘルパーの派遣など在宅福祉サービスの充実
		39.2	27.8	24.8	24.2	19.9
柳城ブロック	老人医療対策の充実		高齢者を地域で支える体制づくり	老人ホーム、老人保健施設などの充実	ホームヘルパーの派遣など在宅福祉サービスの充実	経験や知識を生かせる雇用場の確保
		30.3	28.6	25.7	22.5	20.7
柳南ブロック	老人医療対策の充実		高齢者を地域で支える体制づくり	老人ホーム、老人保健施設などの充実	ホームヘルパーの派遣など在宅福祉サービスの充実	自立した生活を送るための、バスやタクシーなど交通手段の充実
		29.9	28.9	20.1	19.3	19.0
蒲池ブロック	老人医療対策の充実		ホームヘルパーの派遣など在宅福祉サービスの充実	経験や知識を生かせる雇用場の確保	高齢者を地域で支える体制づくり	老人クラブの育成など生きがいと学習の場づくり
		34.1	25.0	23.4	21.8	21.0
昭代ブロック	老人医療対策の充実		高齢者を地域で支える体制づくり	経験や知識を生かせる雇用場の確保	ホームヘルパーの派遣など在宅福祉サービスの充実	老人ホーム、老人保健施設などの充実
		31.4	29.3	22.5	21.4	19.0
大和北ブロック	老人医療対策の充実		ホームヘルパーの派遣など在宅福祉サービスの充実	老人ホーム、老人保健施設などの充実	高齢者を地域で支える体制づくり	老人クラブの育成など生きがいと学習の場づくり
		25.9	23.8	22.8	22.8	22.3
大和南ブロック	老人ホーム、老人保健施設などの充実		老人医療対策の充実	経験や知識を生かせる雇用場の確保	高齢者を地域で支える体制づくり	ホームヘルパーの派遣など在宅福祉サービスの充実
		29.9	27.8	24.3	23.6	20.1
三橋西ブロック	老人医療対策の充実		老人ホーム、老人保健施設などの充実	ホームヘルパーの派遣など在宅福祉サービスの充実	経験や知識を生かせる雇用場の確保	高齢者を地域で支える体制づくり
		29.3	24.0	22.2	22.2	21.0
三橋東ブロック	老人ホーム、老人保健施設などの充実		老人医療対策の充実	高齢者を地域で支える体制づくり	経験や知識を生かせる雇用場の確保	ホームヘルパーの派遣など在宅福祉サービスの充実
		30.1	28.2	28.2	23.7	21.2

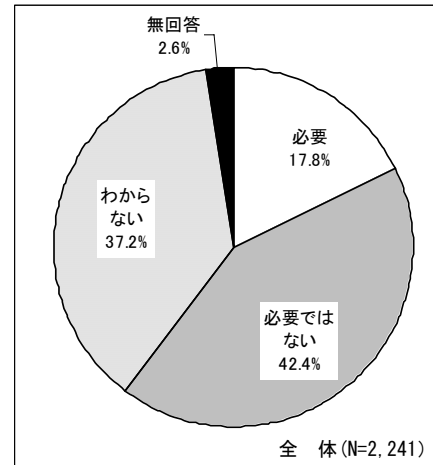
※複数回答

14. 今後の合併の必要性について

1. 今後の合併の必要性について

今後、さらに合併が必要かどうかについては、「必要」が 17.8%、「必要ではない」が 42.4%で、さらなる合併は不要である、という意思表示を示した人が4割を越えています。

図表 34 今後の合併の必要性について



階層別特性

◆性別

男女によって大きく意見は違っており、男性で合併が必要という意見を示した人は女性の2倍に達しています。女性は男性に比べて「わからない」(42.8%)という人の割合が高く、はっきりとした態度を示さなかった人が4割を超えています。

◆年齢別

50歳以上の年配層では、今後も合併は必要であるという意見が多くなっています。

50歳未満の層では、「わからない」という意見が4割を超えており、今後の合併についてははっきりとした態度を示さなかった人の割合が高くなっています。

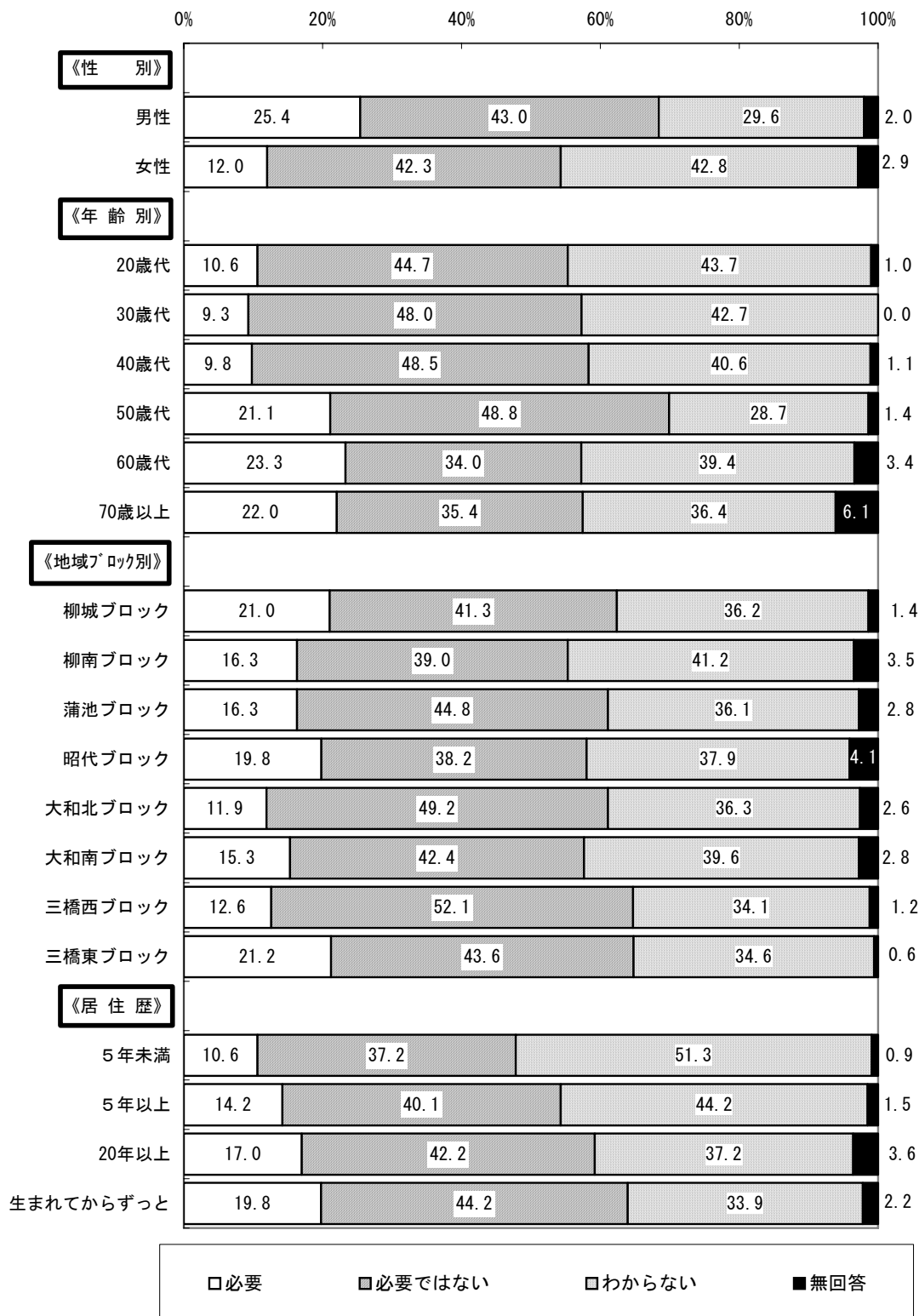
◆地域ブロック別

合併必要派は三橋東ブロック(「必要」21.2%)、柳城ブロック(同21.0%)、昭代ブロック(同19.8%)に多く、合併不必要派は三橋西ブロック(「必要ない」52.1%)、大和北ブロック(同49.2%)に多くなっています。

◆居住歴

居住歴が長いほど合併必要派の割合が高まっています。

図表 35 今後の合併の必要性について(階層別)



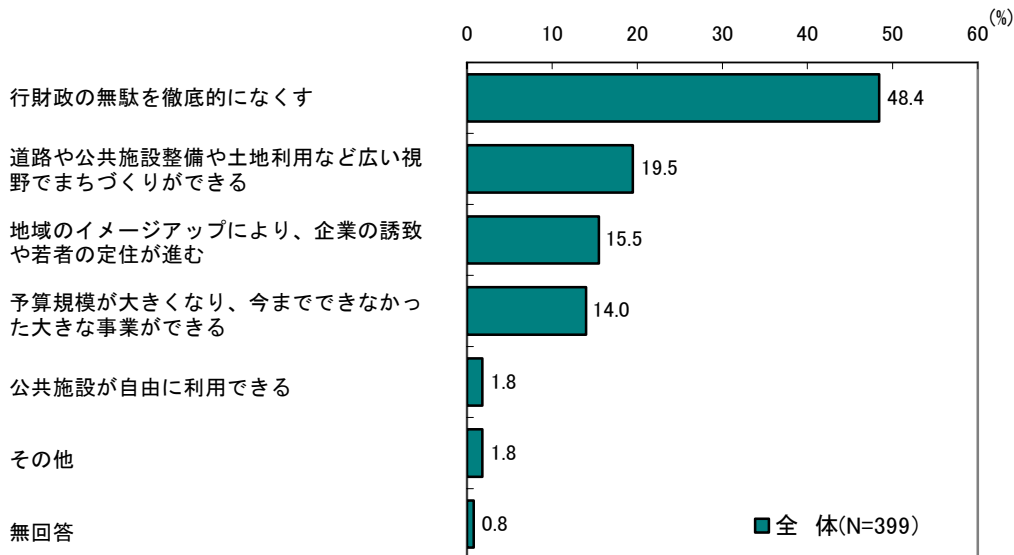
2. 合併が必要な理由、必要でない理由

合併必要派には「必要」だと思ふ理由を、合併不要派には「必要でない」と思ふ理由を尋ねたところ、必要な理由では「行財政の無駄を徹底的になくす」(48.4%)に回答が集中しています。

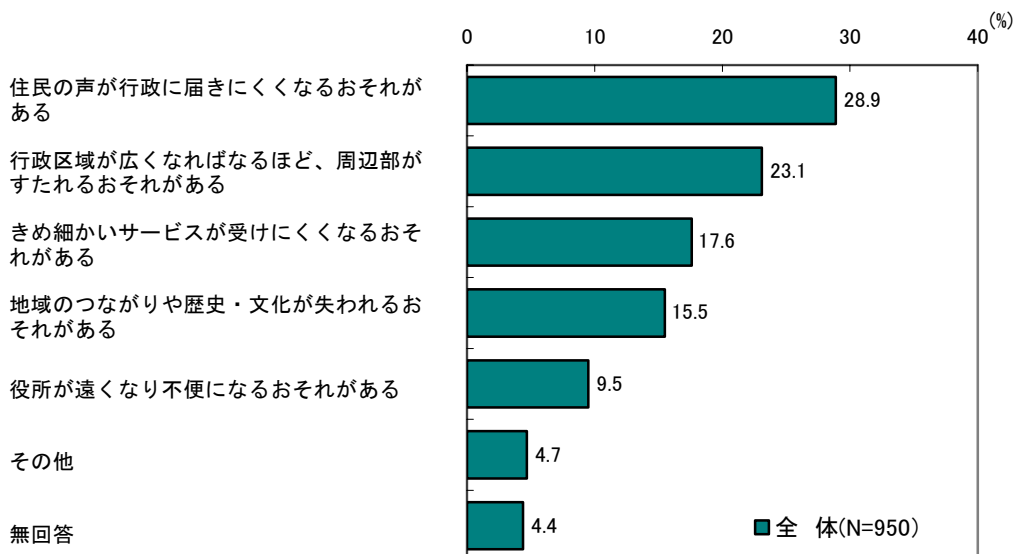
必要でない理由については回答が分散しており、「住民の声が行政に届きにくくなるおそれがある」(28.9%)、「行政区域が広くなればなるほど、周辺部がすたれるおそれがある」(23.1%)、「きめ細かいサービスが受けにくくなるおそれがある」(17.6%)、「地域のつながりや歴史・文化が失われるおそれがある」(15.5%)などとなり、合併し、新市としてスタートとしたものの、市民の中にはまだこういった懸念や疑問が解消されていないことを示しています。

図表 36 合併が必要な理由、必要でない理由(全体)

問 2-2. さらなる合併が必要な理由は何ですか。



問 2-3. さらなる合併が必要でない理由は何ですか。

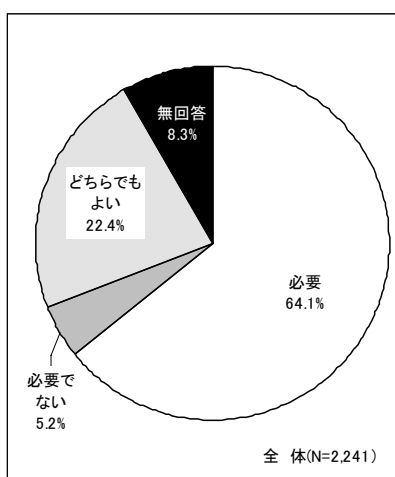


15. 市の花・木・市民憲章の必要性について

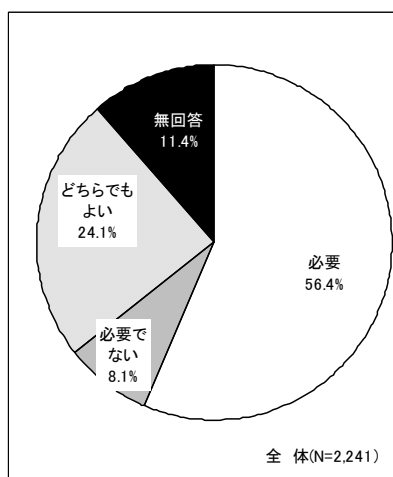
旧柳川市、大和町、三橋町で制定されていたように、新柳川市にも“シンボル”となる市の花・木・市民憲章(ことば)が必要かどうかについて尋ねました。

市の花を「必要」だと思う人は 64.1%、市の木を「必要」だと思う人は 56.4%、市民憲章を「必要」だと思う人は 56.4%と、市の花・木・市民憲章(ことば)については、いずれも過半数の人が必要だとしています。

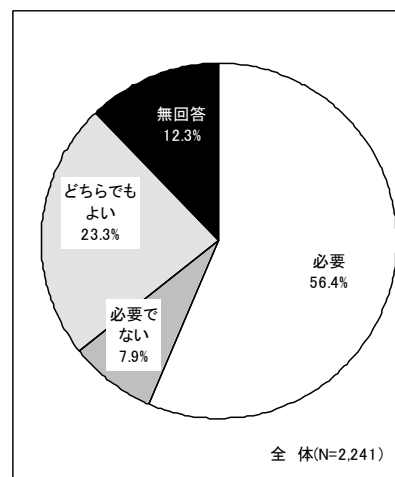
図表 37 市の花の必要性



図表 38 市の木の必要性

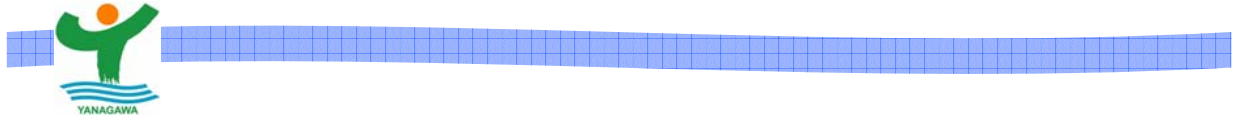


図表 39 市民憲章の必要性



【参考】

	旧柳川市	旧大和町	旧三橋町
市・町の花	花しょうぶ	花しょうぶ	フジ
市・町の木	やなぎ	さざんか	ハゼ・ケヤキ
市・町民憲章	有	有	有



第2部 中学生アンケート編



1. 中学生アンケート調査の概要

1. 調査の目的

旧柳川市、旧大和町、旧三橋町は平成17年3月21日に合併し、新柳川市として新しいスタートを切りました。新しい柳川市としてのまちづくりを進めていくための「第1次柳川市総合計画」策定に向けて、将来の柳川市を支える中学生の皆さんが25歳になるころまでの、新しい柳川市に対してどのような将来像を描いているのかを尋ね、計画策定の参考資料とするために本調査を実施しました。

2. 調査の対象

柳川市内の中学3年生の男女759人。

3. 抽出方法

なし(全員)

4. 調査方法

先生による直接配布

5. 調査時期

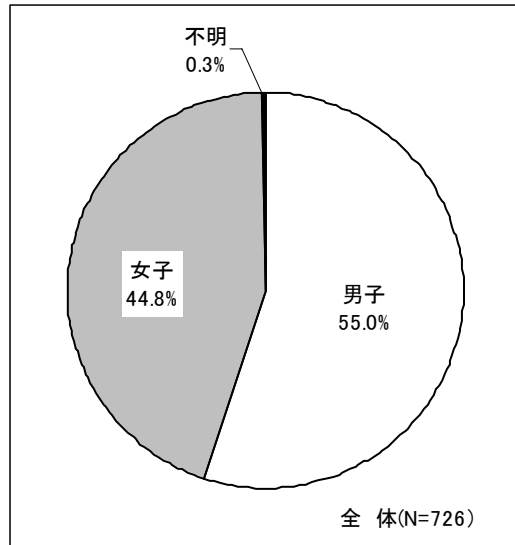
平成17年6月24日～7月8日

6. 回収状況

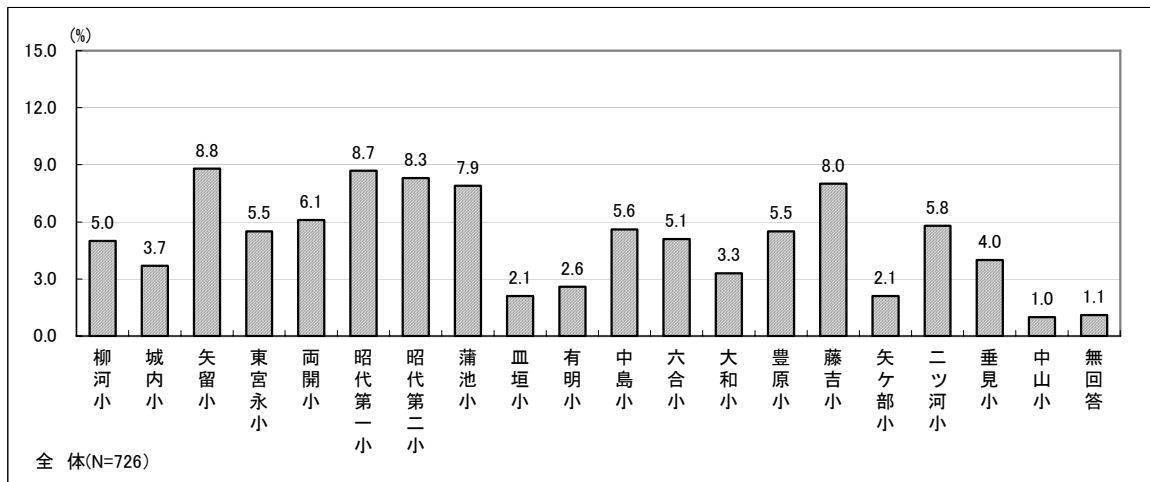
有効回収数726通 (有効回答率95.7%)

7. 回答者のプロフィール

【性別】



【小学校区別】



II. 中学生アンケート調査の結果

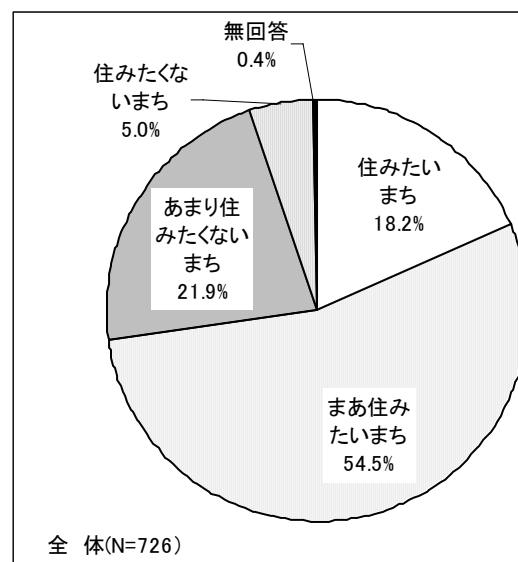
1. 柳川市への住みたい感

1. 柳川市の住みたい感

柳川市については「住みたいまち」が 18.2%、「まあ住みたいまち」が 54.5%で、程度の違いこそあれ、住みたいまちだと思っている人が 72.7%と7割を超えています。

一方、「あまり住みたくない」「住みたくない」という人も 26.9%あり、中学生の皆さんのうち 1/4 の人は住みたくないまちと感じています。

図表 1 柳川市は住みたいまちかどうか(全体)



階層別特性

◆性別

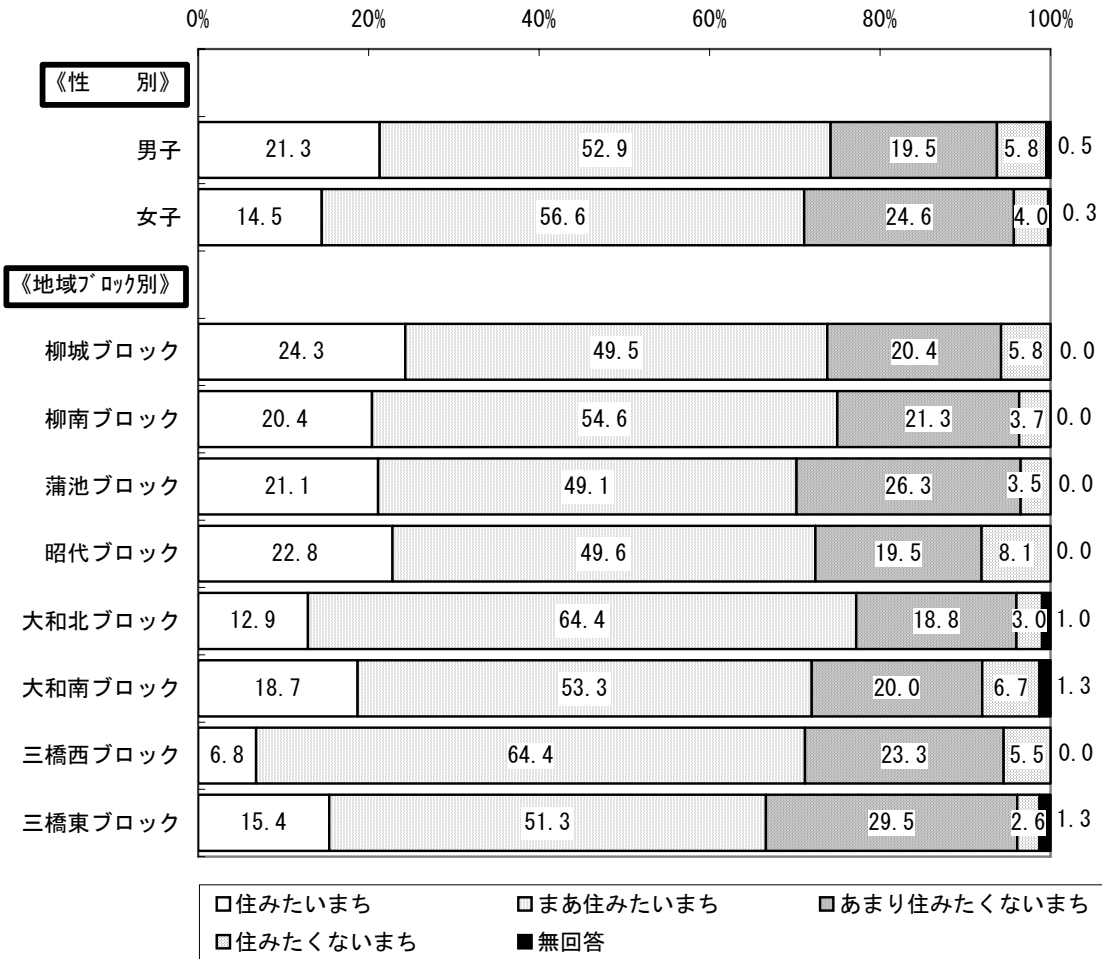
「住みたい」と感じている人は男子 (21.3%) が女子 (14.5%) を 7 ポイントも上回っており、柳川市への“住みたい感”は男子のほうに強いようです。

◆地域ブロック別

柳川市への“住みたい感 (住みたい+まあ住みたい)”が最も強いのは大和北ブロック (77.3%) で、柳南ブロック (75.0%)、柳城ブロック (73.8%)、昭代ブロック (72.4%) が続いています。“住みたくない感 (あまり住みたくない+住みたくない)”は三橋東ブロック (32.1%) に高いのが目立っています。



図表 2 柳川市は住みたいまちかどうか(階層別)



2. 住みたい理由、住みたくない理由

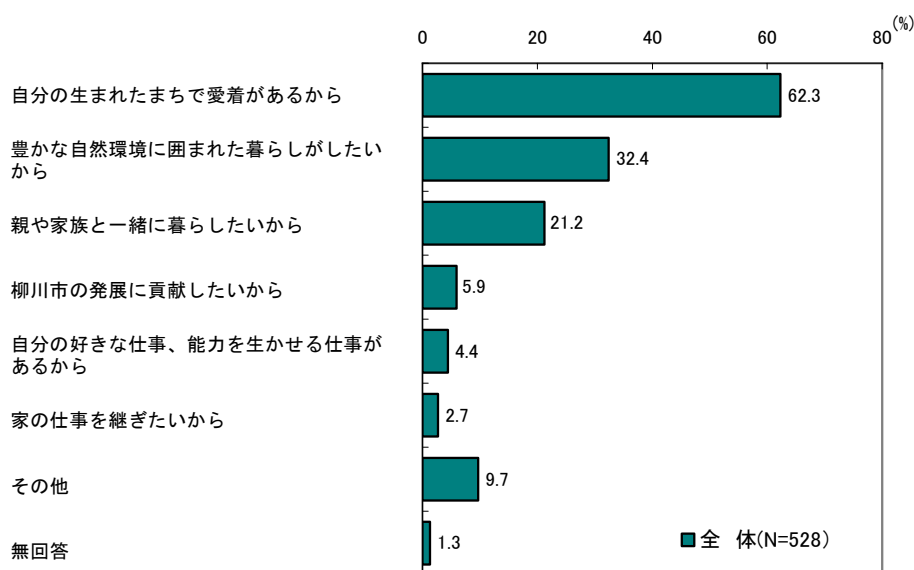
柳川市への“住みたい感”を持っている人とそうでない人それぞれに、そう感じる理由を尋ねたところ、住みたい理由では「自分の生まれたまちで愛着があるから」(62.3%)が断トツで多くなっています。

また、「豊かな自然環境に囲まれた暮らしがしたいから」(32.4%)が「親や家族と一緒に暮らしたいから」(21.2%)よりも多くあげられており、自然環境の良さも“住みたい感”につながっています。

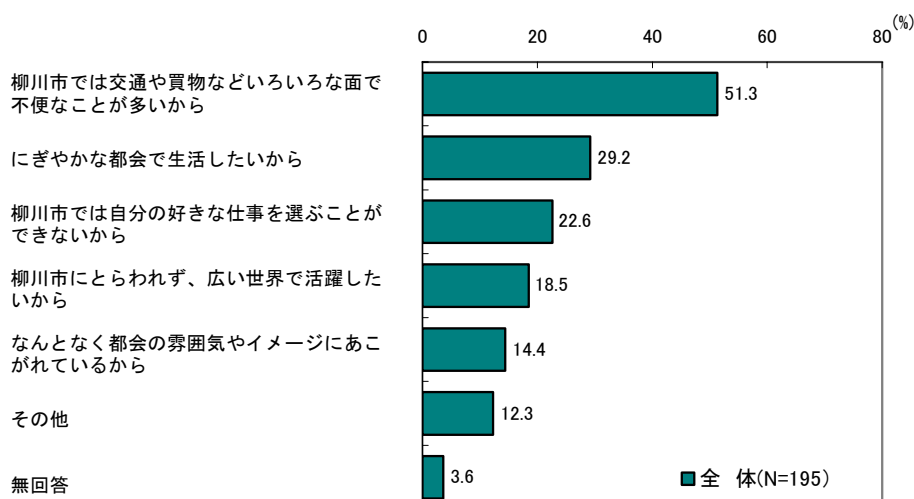
住みたくない理由では、過半数の人が「交通や買物などいろいろな面で不便なことが多いから」(51.3%)をあげており、「にぎやかな都会で生活したいから」(29.2%)、「柳川市では自分の好きな仕事を選ぶことができないから」(22.6%)が続くなど、地方ゆえの不便さ、都市部への憧れなどが住みたくないという気持ちにつながっています。

図表 3 住みたい理由、住みたくない理由(全体)

問4. (住みたい、まあ住みたいと答えた人に)その理由は何ですか。
次の中からあなたの気持ちに最も近いものを2つ以内で選んでください。



問5. (住みたくない、あまり住みたくないと答えた人に)その理由は何ですか。
次の中からあてはまるものを2つ以内で選んでください。





2. 柳川市の大切にしたい、残したい、誇れるもの

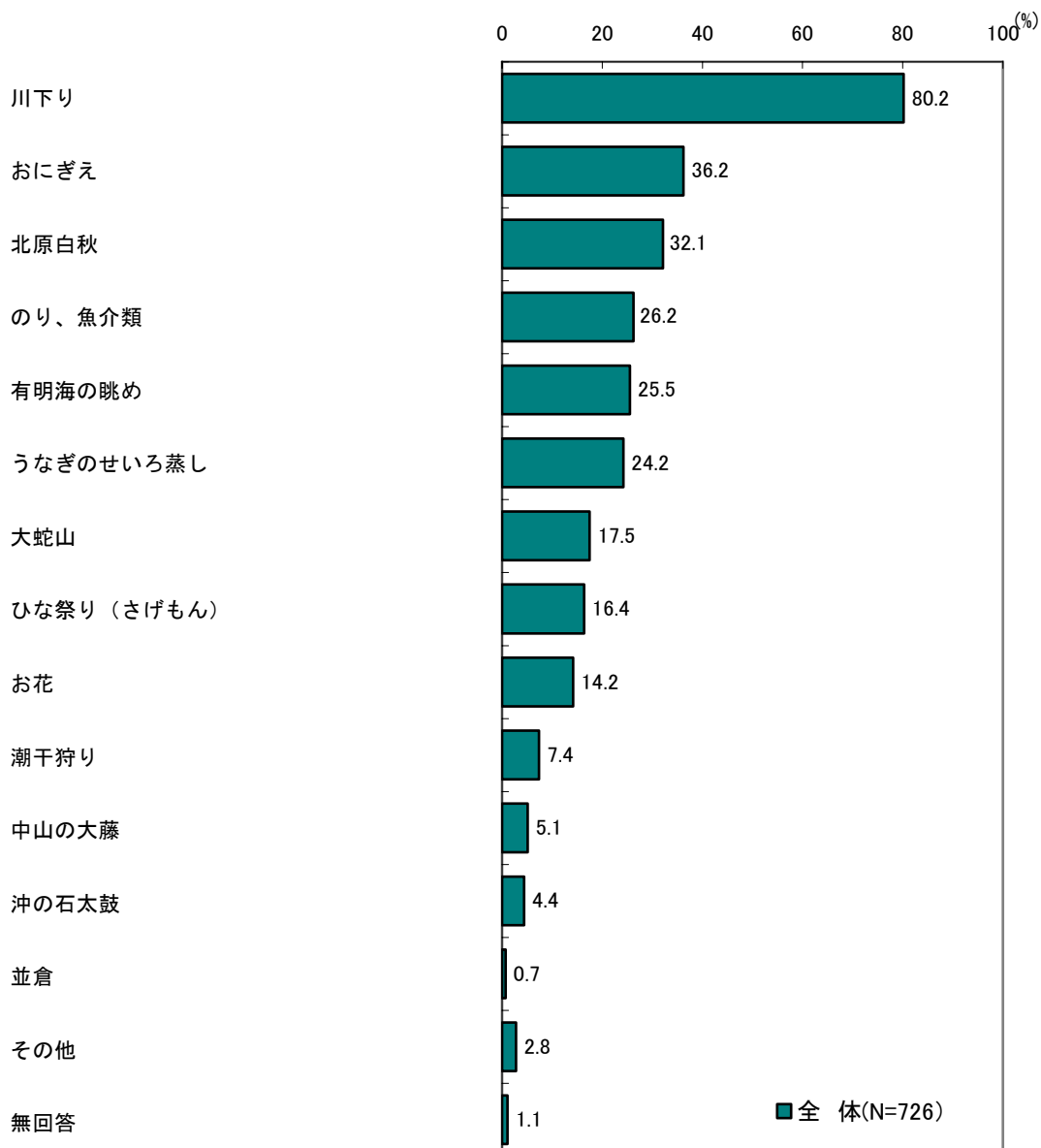
柳川市の大切にしたいもの、残しておきたいもの、誇りを感じるものでは、「川下り」(80.2%)が断トツの1位となっています。

以下、「おにぎえ」(36.2%)、「北原白秋」(32.1%)、「のり、魚介類」(26.2%)、「有明海の眺め」(25.5%)「うなぎのせいろ蒸し」(24.2%)などが続いています。

中学生の間では、市民とは違って「おにぎえ」(市民 15.1%)への人気が高く、「北原白秋」(市民 49.6%)、「ひな祭り(さげもん)」(市民 29.0%)などは、大人に比べて価値あるものという意識が薄いようです。

図表 4 大切にしたい、残したい、誇れるもの(全体)

問6. 柳川市内であなたが大切にしたいもの、残しておきたいもの、誇れるものは何ですか。次の中からあてはまるものを3つ選んでください。



階層別特性

◆性別

男女間でやや回答内容がばらついていますが、女子の支持が高いのは「ひな祭り（さげもん）」（男子：5.5%、女子 29.8%）、「北原白秋」（男子：30.1%、女子 34.8%）で、男子の支持が高いのは、「のり、魚介類」（男性 31.8%、女性 19.4%）、「うなぎのせいろ蒸し」（男性 27.1%、女性 20.9%）、「有明海の眺め」（男性 28.1%、女性 22.2%）、「大蛇山」（男性 20.6%、女性 13.8%）の4項目です。

◆地域ブロック別

地域によって支持する項目にはやや違いがみられ、そのブロックの支持率が市全体を大きく上回っている項目は以下のようになっています。

柳城ブロック：「おにぎえ」「うなぎのせいろ蒸し」

柳南ブロック：「川下り」「有明海の眺め」「北原白秋」

蒲池ブロック：「川下り」「北原白秋」「お花」

昭代ブロック：「ひな祭り（さげもん）」

大和北ブロック：「大蛇山」「のり、魚介類」

大和南ブロック：「大蛇山」「のり、魚介類」「有明海の眺め」

三橋西ブロック：「川下り」「おにぎえ」「うなぎのせいろ蒸し」「沖の石太鼓」「中山の大藤」

三橋東ブロック：「おにぎえ」「中山の大藤」「沖の石太鼓」



図表 5 大切にしたい、残したい、誇れるもの(階層別)

(%)

		サンプル数	川下り	おにぎえ	北原白秋	のり、魚介類	有明海の眺め	うなぎのせいり蒸し	大蛇山
全 体		726	80.2	36.2	32.1	26.2	25.5	24.2	17.5
性別	男子	399	79.4	36.8	30.1	31.8	28.1	27.1	20.6
	女子	325	81.2	35.7	34.8	19.4	22.2	20.9	13.8
ブロック別	柳城ブロック	103	81.6	45.6	31.1	22.3	26.2	37.9	7.8
	柳南ブロック	108	87.0	26.9	40.7	26.9	46.3	28.7	0.9
	蒲池ブロック	57	84.2	33.3	50.9	21.1	14.0	21.1	10.5
	昭代ブロック	123	82.9	36.6	35.0	26.0	23.6	22.0	10.6
	大和北ブロック	101	71.3	22.8	25.7	39.6	25.7	18.8	41.6
	大和南ブロック	75	58.7	18.7	16.0	50.7	38.7	10.7	57.3
	三橋西ブロック	73	89.0	60.3	28.8	4.1	6.8	30.1	6.8
三橋東ブロック	78	83.3	52.6	28.2	15.4	12.8	21.8	11.5	

注)全体の高い順に並べ替えている。

※複数回答

(%)

		ひな祭り(さげもん)	お花	潮干狩り	中山の大藤	沖の石太鼓	並倉	その他	無回答
全 体		16.4	14.2	7.4	5.1	4.4	0.7	2.8	1.1
性別	男子	5.5	13.0	8.5	4.8	4.0	0.5	3.0	0.8
	女子	29.8	15.7	6.2	5.5	4.9	0.9	2.5	1.5
ブロック別	柳城ブロック	17.5	14.6	7.8	1.9	1.0	1.0	4.9	-
	柳南ブロック	13.9	18.5	7.4	-	0.9	0.9	1.9	-
	蒲池ブロック	19.3	31.6	7.0	-	-	-	3.5	-
	昭代ブロック	22.8	16.3	8.9	-	0.8	-	2.4	1.6
	大和北ブロック	13.9	11.9	11.9	5.0	1.0	1.0	1.0	2.0
	大和南ブロック	6.7	4.0	10.7	-	2.7	1.3	5.3	4.0
	三橋西ブロック	19.2	11.0	-	15.1	17.8	1.4	1.4	-
三橋東ブロック	15.4	5.1	2.6	23.1	16.7	-	2.6	1.3	

注)全体の高い順に並べ替えている。

※複数回答

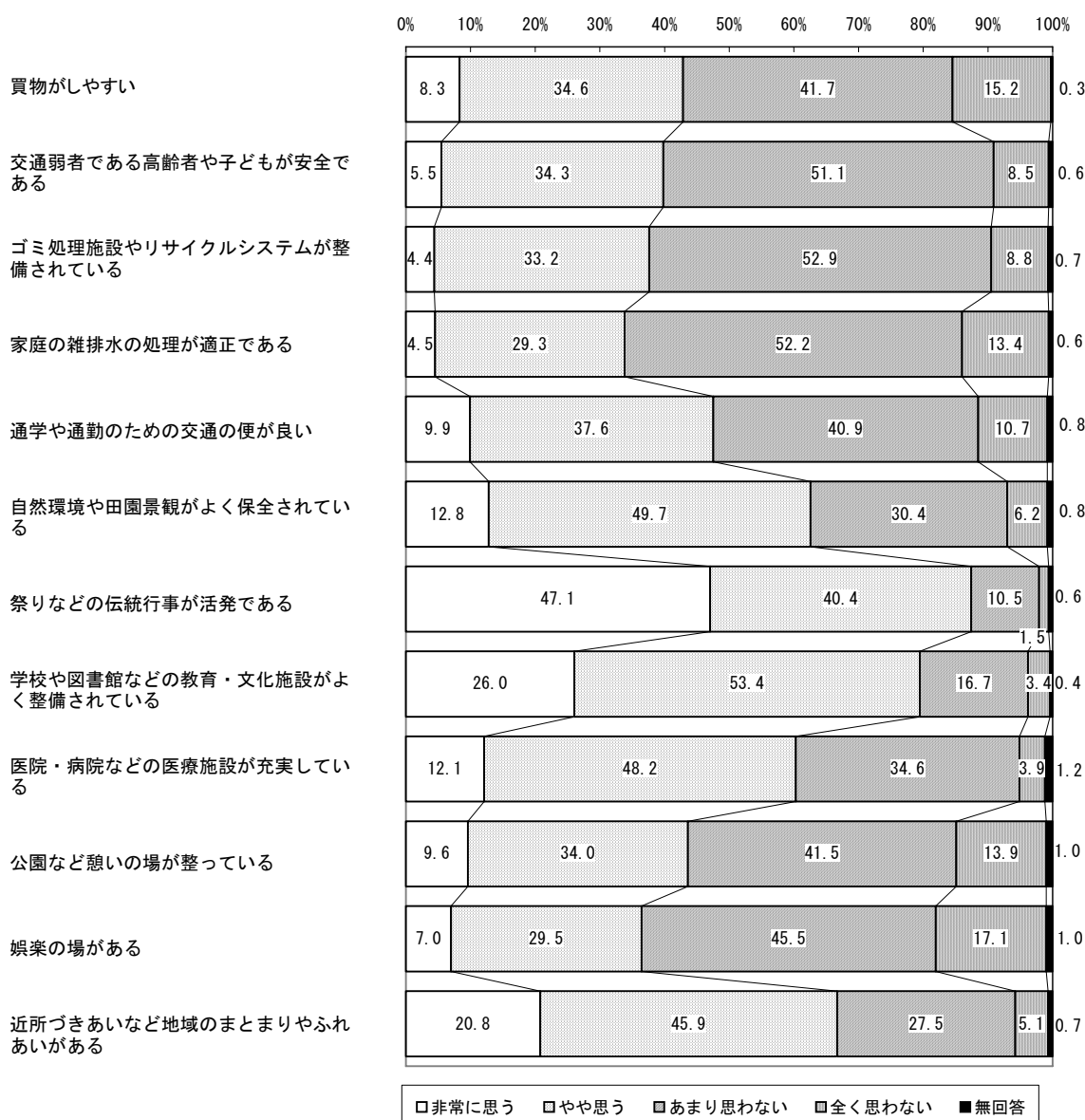
3. 地域の暮らしやすさ

地域の暮らしやすさについて、好意的な評価が高かったのは「祭りなどの伝統行事が活発である」(非常に＋やや思う 87.5%)、「学校や図書館などの教育・文化施設がよく整備されている」(同 79.4%)の2項目です。また、「近所づきあいなど地域のまとまりやふれあいがある」(同 66.7%)、「自然環境や田園景観がよく保全されている」(同 62.5%)、「医院・病院などの医療施設が充実している」(同 60.3%)などについても好意的な評価が否定的な評価を大きく上回っています。

反対に否定的な評価が高かったのは「家庭の雑排水の処理が適正である」(あまり＋全く思わない 65.6%)、「娯楽の場がある」(同 62.6%)、「ゴミ処理施設やリサイクルシステムが整備されている」(同 61.7%)、「交通弱者である高齢者や子どもが安全である」(同 59.6%)、「買物がしやすい」(同 56.9%)、「公園など憩いの場が整っている」(55.4%)の6項目です。

図表 6 地域の暮らしやすさ(全体)

問7. あなたは、地域の暮らしやすさをどのように感じていますか。次のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。



階層別特性

図表 7 地域の暮らしやすさについての好意的評価(上位5位)(階層別)

		(%)				
		1位	2位	3位	4位	5位
男子	祭りなどの伝統行事が活発である	学校や図書館などの教育・文化施設がよく整備されている	近所づきあいなど地域のまとまりやふれあいがある	自然環境や田園景観がよく保全されている	医院・病院などの医療施設が充実している	
	88.7	78.5	66.0	64.6	59.4	
女子	祭りなどの伝統行事が活発である	学校や図書館などの教育・文化施設がよく整備されている	近所づきあいなど地域のまとまりやふれあいがある	医院・病院などの医療施設が充実している	自然環境や田園景観がよく保全されている	
	86.2	80.9	68.0	61.6	60.0	
柳城ブロック	祭りなどの伝統行事が活発である	学校や図書館などの教育・文化施設がよく整備されている	医院・病院などの医療施設が充実している	近所づきあいなど地域のまとまりやふれあいがある	自然環境や田園景観がよく保全されている	
	85.4	74.7	64.0	61.2	53.4	
柳南ブロック	祭りなどの伝統行事が活発である	学校や図書館などの教育・文化施設がよく整備されている	近所づきあいなど地域のまとまりやふれあいがある	自然環境や田園景観がよく保全されている	医院・病院などの医療施設が充実している	
	89.9	83.4	73.2	72.3	68.5	
蒲池ブロック	祭りなどの伝統行事が活発である	学校や図書館などの教育・文化施設がよく整備されている	公園など憩いの場が整っている	近所づきあいなど地域のまとまりやふれあいがある	医院・病院などの医療施設が充実している	
	91.2	86.0	73.7	68.4	63.1	
昭代ブロック	祭りなどの伝統行事が活発である	学校や図書館などの教育・文化施設がよく整備されている	近所づきあいなど地域のまとまりやふれあいがある	自然環境や田園景観がよく保全されている	医院・病院などの医療施設が充実している	
	84.5	79.6	68.3	61.8	53.7	
大和北ブロック	祭りなどの伝統行事が活発である	学校や図書館などの教育・文化施設がよく整備されている	近所づきあいなど地域のまとまりやふれあいがある	自然環境や田園景観がよく保全されている	医院・病院などの医療施設が充実している	
	91.1	76.3	69.3	64.3	64.3	
大和南ブロック	祭りなどの伝統行事が活発である	学校や図書館などの教育・文化施設がよく整備されている	近所づきあいなど地域のまとまりやふれあいがある	自然環境や田園景観がよく保全されている	医院・病院などの医療施設が充実している	
	88.0	78.7	69.3	60.0	52.0	
三橋西ブロック	祭りなどの伝統行事が活発である	学校や図書館などの教育・文化施設がよく整備されている	近所づきあいなど地域のまとまりやふれあいがある	自然環境や田園景観がよく保全されている	医院・病院などの医療施設が充実している	
	87.7	74.0	63.1	61.7	52.1	
三橋東ブロック	学校や図書館などの教育・文化施設がよく整備されている	祭りなどの伝統行事が活発である	医院・病院などの医療施設が充実している	自然環境や田園景観がよく保全されている	近所づきあいなど地域のまとまりやふれあいがある	
	85.9	84.6	64.1	62.8	59.0	

注) 好意的評価は、各項目に対する「非常に思う」「やや思う」の合計ポイント。

4. これからの柳川市に求める将来像

柳川市の将来像として、最も望ましいとされたのは、市民アンケート同様、「緑豊かな自然環境を大切にすまち」(49.6%)で、ほぼ半数の人が自然を大切にすまちであってほしいと思っています。

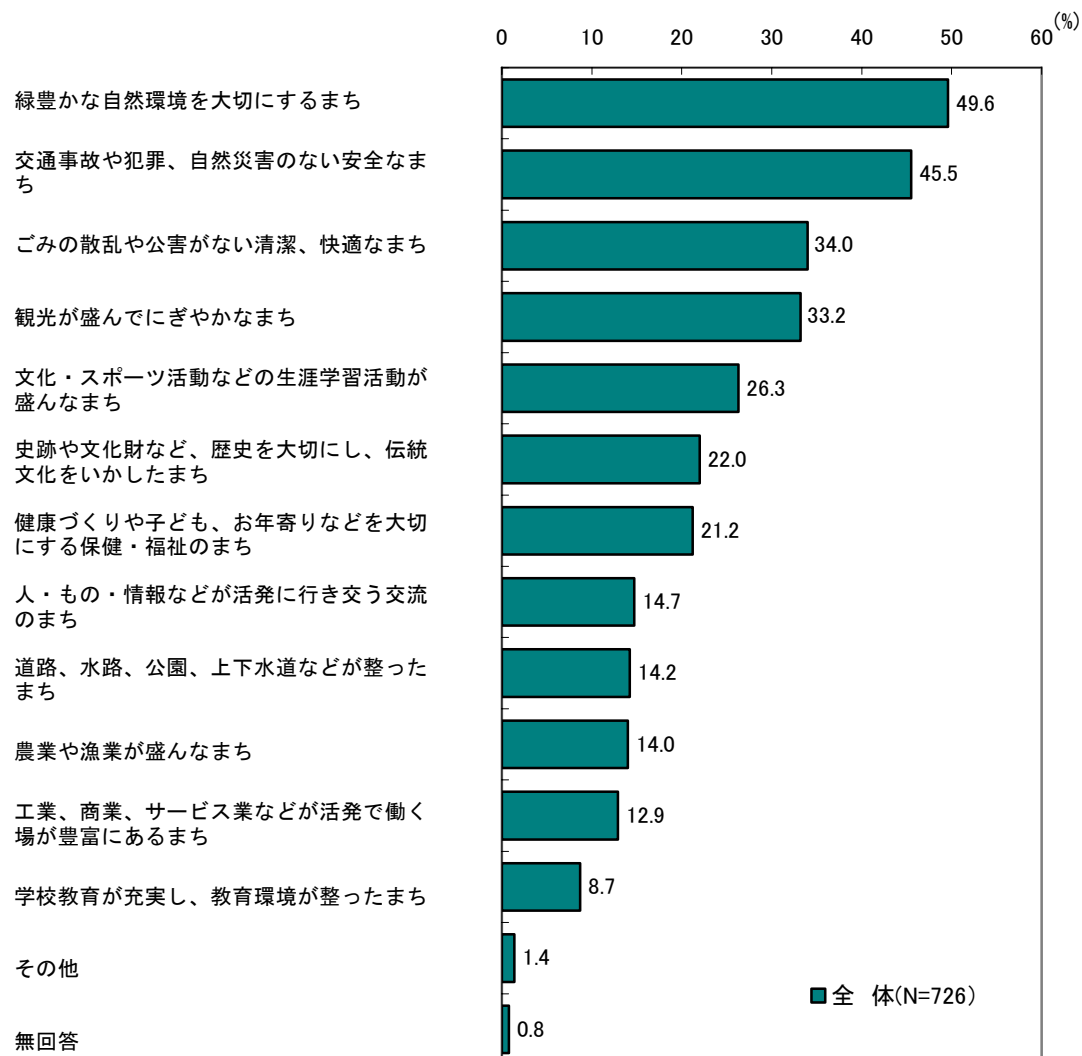
次に「交通事故や犯罪、自然災害のない安全なまち」(45.5%)、「ごみの散乱や公害がない清潔、快適なまち」(34.0%)、「観光が盛んでにぎやかなまち」(33.2%)が続き、20%台で「文化・スポーツ活動などの生涯学習活動が盛んなまち」(26.3%)、「史跡や文化財など、歴史を大切にし、伝統文化をいかしたまち」(22.0%)、「健康づくりや子ども、お年寄りなどを大切にす保健・福祉のまち」(21.2%)が続いています。

市民アンケートでは「健康づくりや子ども、お年寄りなどを大切にす保健・福祉のまち」(42.1%)への支持が高かったのですが、中学生の皆さんにとっては保健や福祉の問題はあまり身近ではないようです。

図表 8 これからの柳川市に求める将来像(全体)

問8. あなたは、これからの柳川市がどんなまちになればいいとお考えですか。

次の中からあてはまるものを3つ選んでください。



階層別特性

◆性別

柳川市の将来像では男女による違いが大きく、相対的にみて男子では「安全な町」（男子 47.6%、女子 42.8%）、「生涯学習活動が盛んなまち」（男子 34.1%、女子 16.9%）、「農業や漁業が盛んなまち」（男子 18.0%、女子 9.2%）、「働く場が豊富にあるまち」（男子 15.8%、女子 9.5%）を望む人が多くなっています。

女子では男子に比べて「にぎやかなまち」（男子 27.16%、女子 40.6%）、「清潔、快適なまち」（男子 31.8%、女子 36.9%）、「伝統文化をいかしたまち」（男子 16.8%、女子 28.3%）、「保健・福祉のまち」（男子 17.5%、女子 25.8%）、「交流のまち」（男子 12.0%、女子 18.2%）」を望む人が多く、特に女子ではまちの賑わいを望む声が非常に高いのが目立ちます。

◆地域ブロック別

地域によって支持する項目にはやや違いがみられ、そのブロックの支持率が市全体を大きく上回っている項目は以下のようになっています。

柳城ブロック：「にぎやかなまち」「道路、水路、公園、上下水道などが整ったまち」

柳南ブロック：「自然環境を大切にすまち」「にぎやかなまち」「働く場が豊富にあるまち」

蒲池ブロック：「安全なまち」「清潔、快適なまち」

昭代ブロック：「自然環境を大切にすまち」「清潔、快適なまち」

大和北ブロック：「安全なまち」「保健・福祉のまち」「農業や漁業が盛んなまち」

大和南ブロック：「安全なまち」「生涯学習活動が盛んなまち」「保健・福祉のまち」

三橋西ブロック：「にぎやかなまち」「伝統文化をいかしたまち」

三橋東ブロック：「生涯学習活動が盛んなまち」「道路、水路、公園、上下水道などが整ったまち」「保健・福祉のまち」「教育環境が整ったまち」

図表 9 これからの柳川市に求める将来像(階層別)

		サンプル数	緑豊かな自然環境を大切にす ま	交通安全や犯罪、自然災害の ない	ごみの散乱や公害がない清潔、 快	観光が盛んでにぎやかなまち	文化・スポーツ活動などの生涯 学習活動が盛んなまち	史跡や文化財など、歴史を大切 にし、伝統文化をいかしたまち	健康づくりや子ども、お年寄 りなどを大切にする保健・福祉の まち
全 体		726	49.6	45.5	34.0	33.2	26.3	22.0	21.2
性別	男子	399	49.9	47.6	31.8	27.1	34.1	16.8	17.5
	女子	325	48.9	42.8	36.9	40.6	16.9	28.3	25.8
ブロック別	柳城ブロック	103	47.6	45.6	35.0	40.8	26.2	19.4	12.6
	柳南ブロック	108	54.6	25.0	28.7	41.7	25.9	25.9	19.4
	蒲池ブロック	57	35.1	57.9	42.1	35.1	28.1	26.3	14.0
	昭代ブロック	123	53.7	44.7	40.7	35.0	16.3	19.5	19.5
	大和北ブロック	101	45.5	56.4	37.6	22.8	27.7	18.8	28.7
	大和南ブロック	75	49.3	53.3	34.7	17.3	34.7	18.7	26.7
	三橋西ブロック	73	52.1	46.6	32.9	38.4	23.3	28.8	23.3
	三橋東ブロック	78	50.0	42.3	20.5	33.3	33.3	23.1	25.6

注)全体の高い順に並べ替えている。

※複数回答 (%)

		人・もの・情報などが活発に行 き交う交流のまち	道路、水路、公園、上下水道 などが整ったまち	農業や漁業が盛んなまち	工業、商業、サービス業などが 活発で働く場が豊富にあるまち	学校教育が充実し、教育環境 が整ったまち	その他	無回答
全 体		14.7	14.2	14.0	12.9	8.7	1.4	0.8
性別	男子	12.0	15.5	18.0	15.8	7.5	1.0	1.3
	女子	18.2	12.3	9.2	9.5	10.2	1.8	0.3
ブロック別	柳城ブロック	16.5	20.4	11.7	8.7	12.6	2.9	1.0
	柳南ブロック	19.4	14.8	14.8	22.2	5.6	0.9	-
	蒲池ブロック	14.0	15.8	3.5	12.3	8.8	1.8	1.8
	昭代ブロック	16.3	13.0	17.9	16.3	8.1	0.8	0.8
	大和北ブロック	7.9	11.9	25.7	7.9	6.9	1.0	-
	大和南ブロック	14.7	10.7	17.3	6.7	6.7	2.7	1.3
	三橋西ブロック	13.7	5.5	6.8	13.7	9.6	-	1.4
	三橋東ブロック	12.8	19.2	7.7	12.8	12.8	1.3	1.3

注)全体の高い順に並べ替えている。

※複数回答

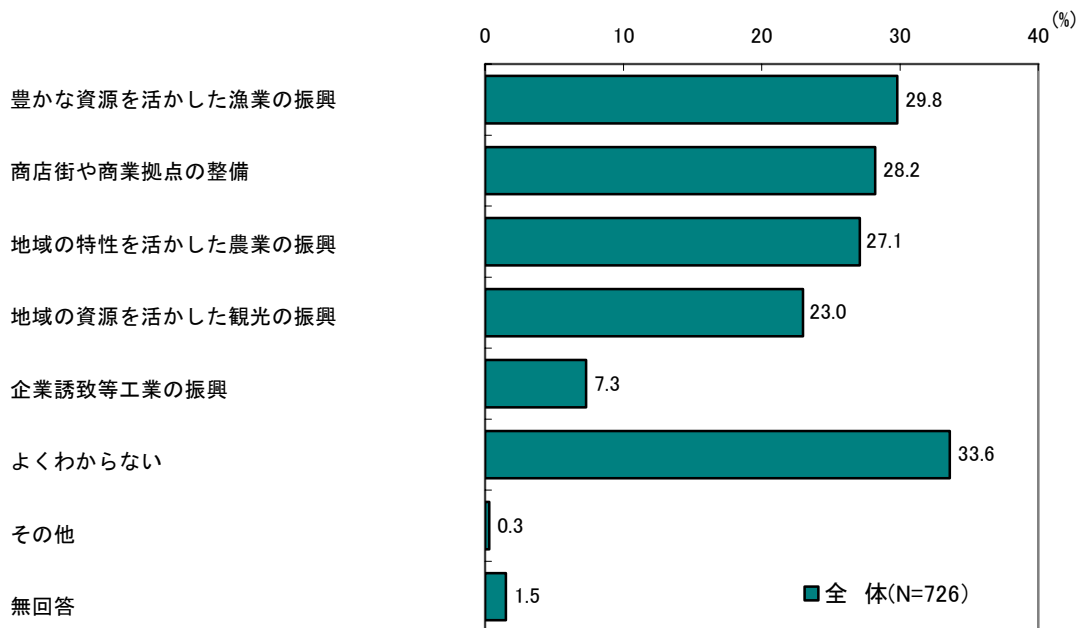
5. 柳川市が重視すべき産業振興策

柳川市の産業を活性化するために重点的に取り組むべきことについては、よくわからないという人が最も多かったものの、「豊かな資源を活かした漁業の振興」(29.8%)、「商店街や商業拠点の整備」(28.2%)の2項目について3割程度の回答がありました。

次に「地域の特性を活かした農業の振興」(27.1%)、「地域の資源を活かした観光の振興」(23.0%)が続き、大きく比率を下げて「企業誘致等工業の振興」(7.3%)が続いています。

図表 10 重視すべき産業振興策(全体)

問9. あなたは、柳川市の特性や雇用の確保も考えて、柳川市の産業の振興はどの分野に重点をおいて進めることがよいと思いますか。
次の中からあてはまるものを2つ以内で選んでください。



階層別特性

◆性別

男子は「豊かな資源を活かした漁業の振興」（男子：35.3%、女子 23.1%）が女子を大きく上回っています。女子は4割が「よくわからない」（39.7%）と回答しています。

◆地域ブロック別

地域によって支持する項目にはやや違いがみられ、そのブロックの要望度が市全体を大きく上回っている項目は以下のようになっています。

柳城ブロック：「商店街や商業拠点の整備」「観光の振興」

柳南ブロック：「漁業の振興」「観光の振興」

蒲池ブロック：「商店街や商業拠点の整備」「観光の振興」

昭代ブロック：「農業の振興」

大和北ブロック：「漁業の振興」「農業の振興」

大和南ブロック：「漁業の振興」「農業の振興」

三橋西ブロック：「商店街や商業拠点の整備」

図表 11 重視すべき産業振興策(階層別)

		サンプル数	豊かな資源を活かした漁業の振興	商店街や商業拠点の整備	地域の特性を活かした農業の振興	地域の資源を活かした観光の振興	企業誘致等工業の振興	よくわからない	その他	無回答
全 体		726	29.8	28.2	27.1	23.0	7.3	33.6	0.3	1.5
性別	男子	399	35.3	30.1	26.8	23.3	9.0	28.3	0.3	1.8
	女子	325	23.1	26.2	27.7	22.5	5.2	39.7	0.3	1.2
ブロック別	柳城ブロック	103	30.1	35.9	22.3	28.2	3.9	32.0	-	1.9
	柳南ブロック	108	36.1	23.1	24.1	30.6	10.2	31.5	-	0.9
	蒲池ブロック	57	24.6	40.4	21.1	31.6	15.8	21.1	-	1.8
	昭代ブロック	123	30.9	28.5	38.2	23.6	5.7	26.8	-	0.8
	大和北ブロック	101	35.6	22.8	29.7	18.8	3.0	38.6	-	1.0
	大和南ブロック	75	44.0	21.3	29.3	13.3	6.7	34.7	-	4.0
	三橋西ブロック	73	16.4	35.6	21.9	20.5	8.2	39.7	1.4	-
	三橋東ブロック	78	14.1	24.4	24.4	16.7	9.0	43.6	-	2.6

注) 全体の高い順に並べ替えている。

※複数回答



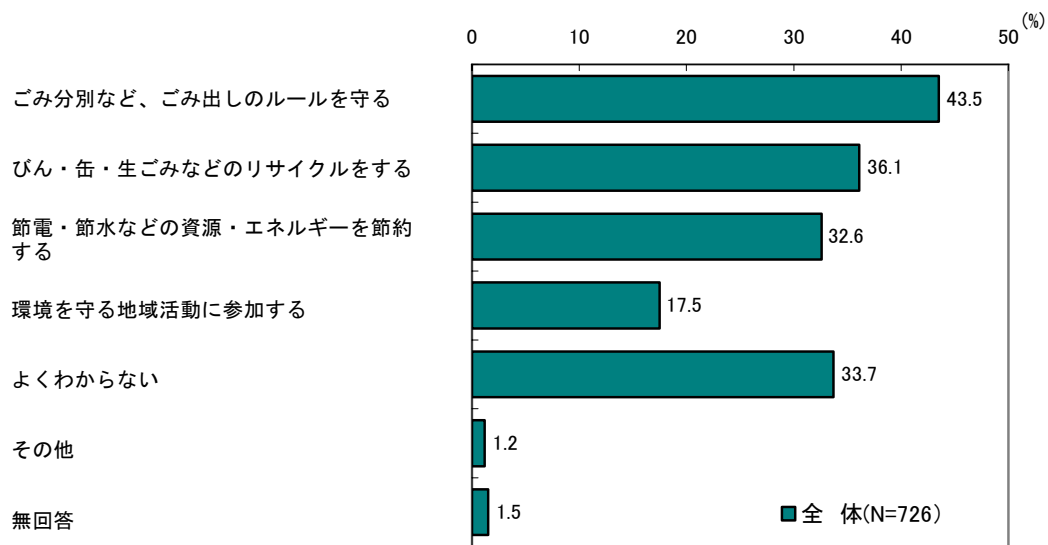
6. 環境保全への行動

環境保全に向けた行動では「ごみ分別など、ごみ出しのルールを守る」(43.5%)が最も多く、以下、「びん・缶・生ごみなどのリサイクルをする」(36.1%)、「節電・節水などの資源・エネルギーを節約する」(32.6%)、「環境を守る地域活動に参加する」(17.5%)などが続いています。

図表 12 行政サービスと受益者負担についての考え方(全体)

問10. あなたは、環境保全のためにどのようなことを実施していますか。

次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



階層別特性

◆性別

相対的にみて、男子は「環境を守る地域活動に参加する地域活動への参加」(男子 20.8%、女子 13.2%)、女子は「ごみ分別など、ごみ出しのルールを守るごみ分別」(男子 39.8%、女子 48.0%)が高くなっています。

◆地域ブロック別

「ごみ分別など、ごみ出しのルールを守るごみ分別」はいずれの地域でも、環境保全行動として最も多くなっていますが、次の行動として、昭代ブロック、大和北ブロック、大和南ブロックの3地域では「節電・節水などの資源・エネルギーを節約する」が、それ以外の5地域では「びん・缶・生ごみなどのリサイクルをする」が続いています。

図表 13 環境保全に向けた行動(階層別)

	1位	2位	3位	4位	(%)
男子	ごみ分別など、ごみ出しのルールを守る 39.8	びん・缶・生ごみなどのリサイクルをする 35.3	節電・節水などの資源・エネルギーを節約する 33.8	環境を守る地域活動に参加する 20.8	よくわからない 34.1
女子	ごみ分別など、ごみ出しのルールを守る 48.0	びん・缶・生ごみなどのリサイクルをする 36.9	節電・節水などの資源・エネルギーを節約する 31.1	環境を守る地域活動に参加する 13.2	よくわからない 32.9
柳城ブロック	ごみ分別など、ごみ出しのルールを守る 54.4	びん・缶・生ごみなどのリサイクルをする 45.6	節電・節水などの資源・エネルギーを節約する 36.9	環境を守る地域活動に参加する 16.5	よくわからない 29.1
柳南ブロック	ごみ分別など、ごみ出しのルールを守る 55.6	びん・缶・生ごみなどのリサイクルをする 42.6	節電・節水などの資源・エネルギーを節約する 38.9	環境を守る地域活動に参加する 26.9	よくわからない 25.0
蒲池ブロック	ごみ分別など、ごみ出しのルールを守る 42.1	びん・缶・生ごみなどのリサイクルをする 40.4	節電・節水などの資源・エネルギーを節約する 28.1	環境を守る地域活動に参加する 22.8	よくわからない 28.1
昭代ブロック	ごみ分別など、ごみ出しのルールを守る 39.0	節電・節水などの資源・エネルギーを節約する 36.6	びん・缶・生ごみなどのリサイクルをする 31.7	環境を守る地域活動に参加する 10.6	よくわからない 33.3
大和北ブロック	ごみ分別など、ごみ出しのルールを守る 47.5	節電・節水などの資源・エネルギーを節約する 37.6	びん・缶・生ごみなどのリサイクルをする 36.6	環境を守る地域活動に参加する 18.8	よくわからない 28.7
大和南ブロック	ごみ分別など、ごみ出しのルールを守る 30.7	節電・節水などの資源・エネルギーを節約する 29.3	びん・缶・生ごみなどのリサイクルをする 26.7	環境を守る地域活動に参加する 10.7	よくわからない 45.3
三橋西ブロック	ごみ分別など、ごみ出しのルールを守る 34.2	びん・缶・生ごみなどのリサイクルをする 28.8	節電・節水などの資源・エネルギーを節約する 23.3	環境を守る地域活動に参加する 16.4	よくわからない 42.5
三橋東ブロック	ごみ分別など、ごみ出しのルールを守る 35.9	びん・缶・生ごみなどのリサイクルをする 33.3	節電・節水などの資源・エネルギーを節約する 23.1	環境を守る地域活動に参加する 17.9	よくわからない 42.3

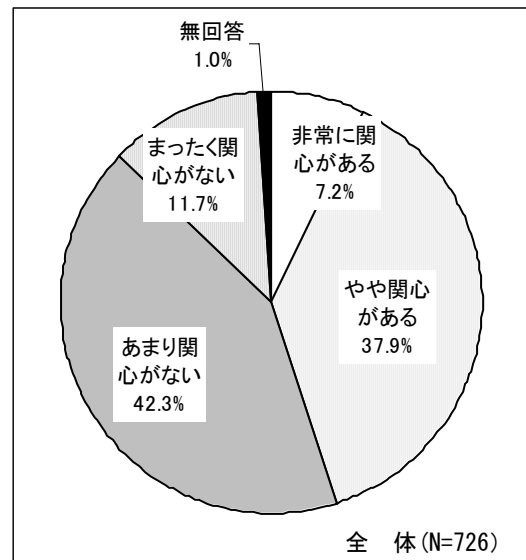
※複数回答

7. ボランティア活動への関心度

1. ボランティア活動への関心度

地域や社会のために活動するボランティア活動に関心がある人(「非常に」+「やや」関心がある人)は45.1%で、関心がない人(54.0%)を10ポイントほど下回っています。

図表 14 ボランティア活動への関心度(全体)



階層別特性

◆性別

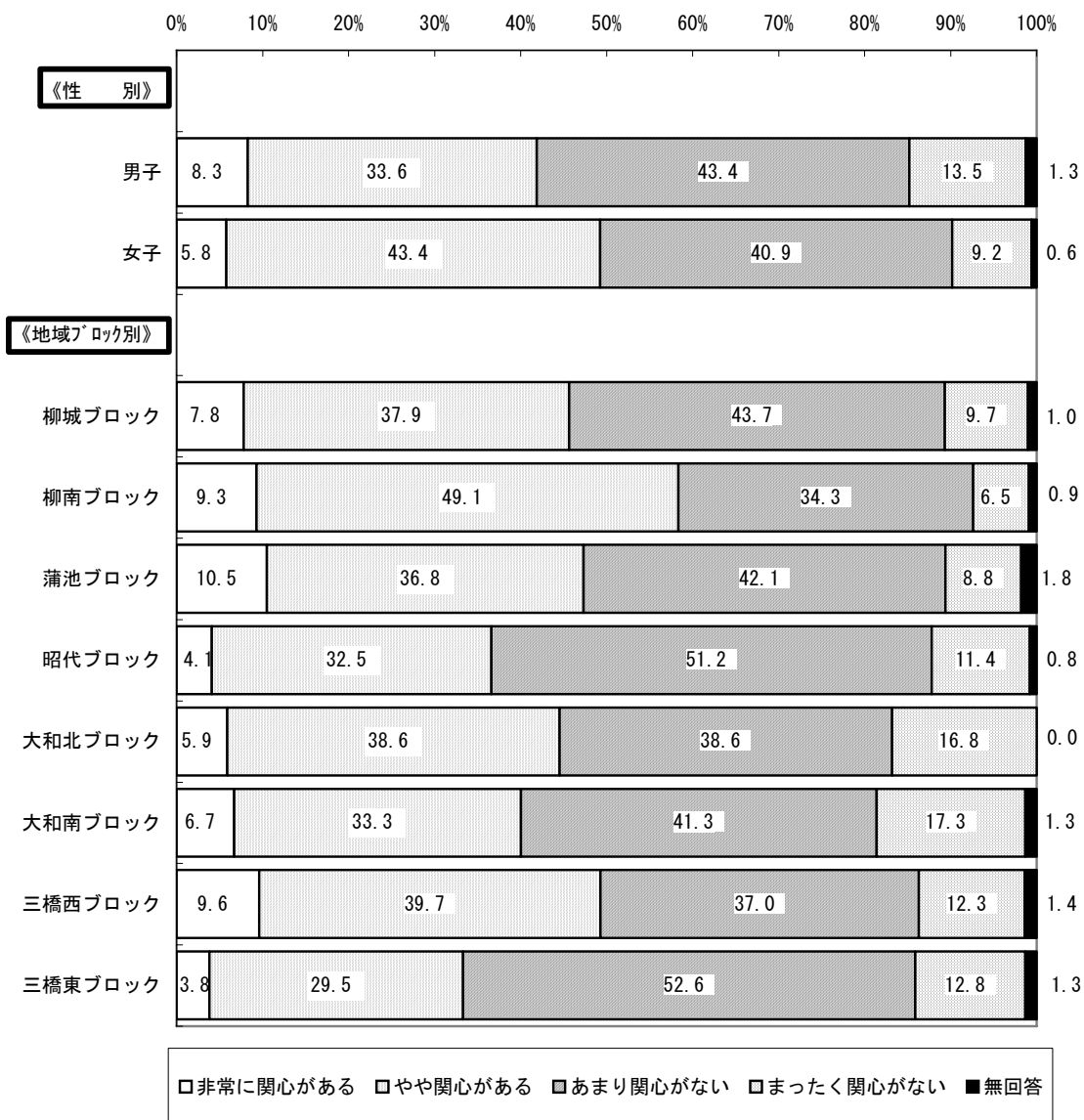
相対的にみて、男子よりも女子の方がボランティア活動に関心を持っており、女子の関心度は男子の関心度を7ポイントほど上回っています。

◆地域ブロック別

ボランティア活動への関心度が非常に高いのは、柳南ブロック(58.4%)でほぼ6割の人が程度の差こそあれ、関心があると回答しています。

次に関心度が高いのは三橋西ブロック(49.3%)、蒲池ブロック(47.3%)の2地域です。反対に関心度が低いのは、三橋東ブロック(33.3%)、昭代ブロック(36.6%)でボランティア活動への関心度にはかなり地域格差があるようです。

図表 15 ボランティア活動への関心度(階層別)



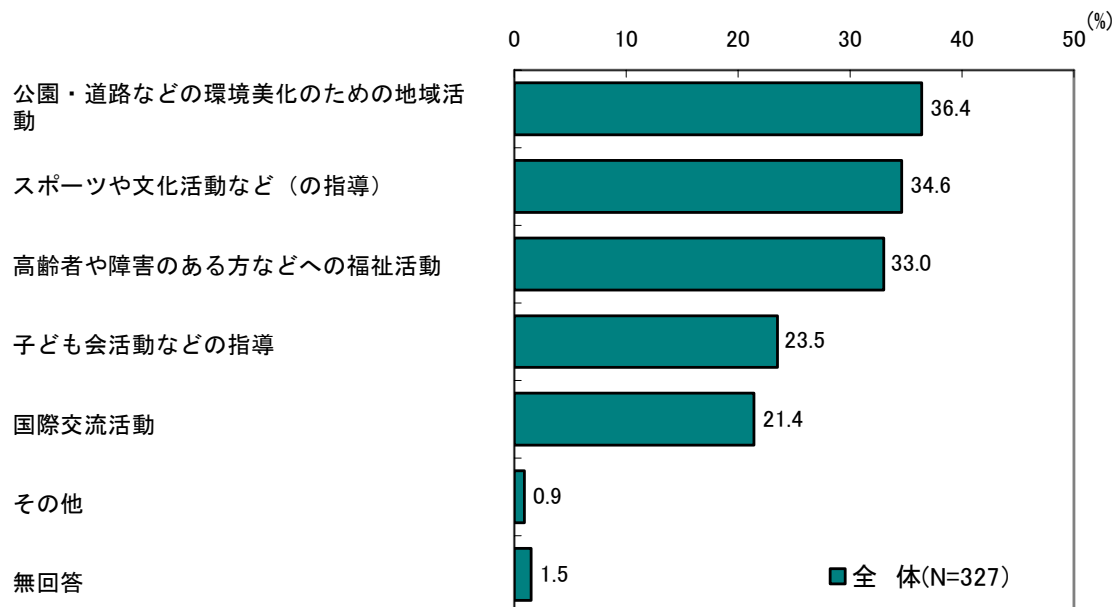
2. 行っている、あるいは参加してみたいボランティア活動内容

ボランティア活動を行っている、あるいは、これから参加してみたいと思うボランティア活動では、「公園・道路などの環境美化のための地域活動」(36.4%)が最も多くなっています。

「スポーツや文化活動など(の指導)」(34.6%)、「高齢者や障害のある方などへの福祉活動」(33.0%)が3割を超え、以下20%台で「子ども会活動などの指導」(23.5%)、「国際交流活動」(21.4%)が続いています。

図表 16 行っている、あるいは参加してみたい活動内容(全体)

問12. (非常に、やや関心がある人に)あなたが、現在行っていたり、または今後参加してみたいと思うボランティア活動がありますか。次の中からあてはまるものに2つ以内で選んでください。

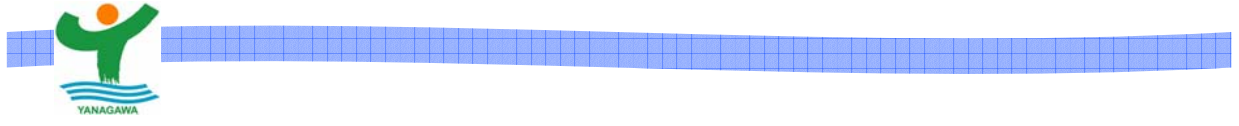


階層別特性

図表 17 参加してみたい活動内容(上位5位まで)(階層別)

	1位	2位	3位	4位	5位
男子	スポーツや文化活動など(の指導) 46.1	公園・道路などの環境美化のための地域活動 44.3	子ども会活動などの指導 25.1	高齢者や障害のある方などへの福祉活動 23.4	国際交流活動 12.0
女子	高齢者や障害のある方などへの福祉活動 43.1	国際交流活動 31.3	公園・道路などの環境美化のための地域活動 28.1	スポーツや文化活動など(の指導) 22.5	子ども会活動などの指導 21.9
柳城ブロック	スポーツや文化活動など(の指導) 40.4	公園・道路などの環境美化のための地域活動 34.0	高齢者や障害のある方などへの福祉活動 31.9	子ども会活動などの指導 25.5	国際交流活動 17.0
柳南ブロック	スポーツや文化活動など(の指導) 44.4	公園・道路などの環境美化のための地域活動 34.9	高齢者や障害のある方などへの福祉活動 30.2	国際交流活動 30.2	子ども会活動などの指導 19.0
蒲池ブロック	スポーツや文化活動など(の指導) 48.1	公園・道路などの環境美化のための地域活動 37.0	高齢者や障害のある方などへの福祉活動 29.6	子ども会活動などの指導 29.6	国際交流活動 11.1
昭代ブロック	高齢者や障害のある方などへの福祉活動 46.7	公園・道路などの環境美化のための地域活動 44.4	スポーツや文化活動など(の指導) 26.7	子ども会活動などの指導 22.2	国際交流活動 22.2
大和北ブロック	公園・道路などの環境美化のための地域活動 44.4	高齢者や障害のある方などへの福祉活動 31.1	子ども会活動などの指導 31.1	国際交流活動 20.0	スポーツや文化活動など(の指導) 17.8
大和南ブロック	スポーツや文化活動など(の指導) 40.0	子ども会活動などの指導 36.7	高齢者や障害のある方などへの福祉活動 23.3	公園・道路などの環境美化のための地域活動 16.7	国際交流活動 13.3
三橋西ブロック	公園・道路などの環境美化のための地域活動 36.1	高齢者や障害のある方などへの福祉活動 33.3	スポーツや文化活動など(の指導) 30.6	国際交流活動 27.8	子ども会活動などの指導 11.1
三橋東ブロック	公園・道路などの環境美化のための地域活動 42.3	高齢者や障害のある方などへの福祉活動 38.5	子ども会活動などの指導 23.1	スポーツや文化活動など(の指導) 23.1	国際交流活動 23.1

※複数回答



第3部 専修・専門学校生アンケート編



1. 専修・専門学校生アンケート調査の概要

1. 調査の目的

旧柳川市、旧大和町、旧三橋町は平成17年3月21日に合併し、新柳川市として新しいスタートを切りました。新しい柳川市としてのまちづくりを進めていくための「第1次柳川市総合計画」策定に向けて、若い皆さんが新しい柳川市に対してどのような将来像を描いているのかを尋ね、計画策定の参考資料とするために本調査を実施しました。

2. 調査の対象

柳川市内にある3つの専修・専門学校に通う最終学年の学生519人。

3. 抽出方法

なし(全員)

4. 調査方法

先生による直接配布、回収

5. 調査時期

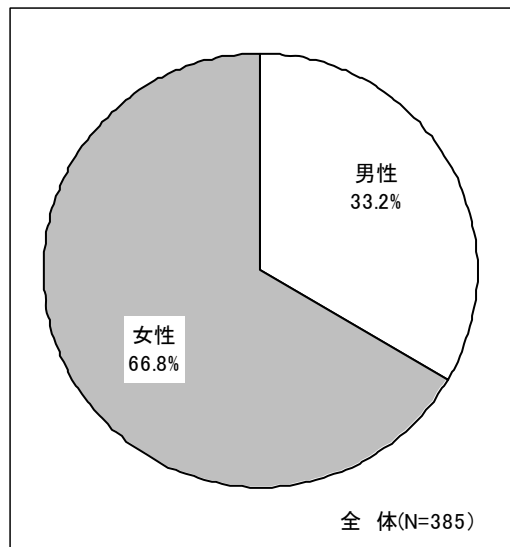
平成17年6月24日～7月8日、7月11日～7月20日

6. 回収状況

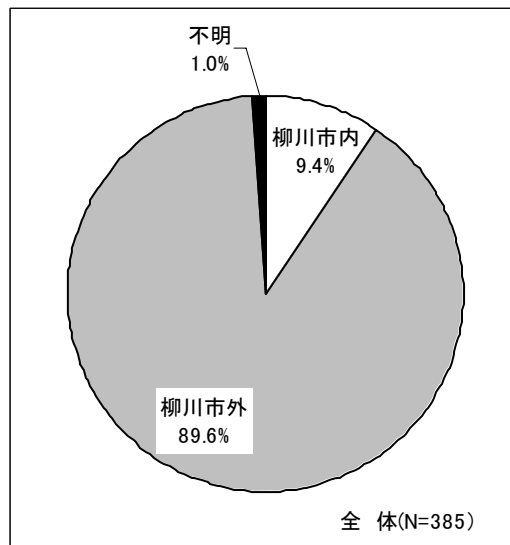
有効回収数385通 (有効回答率74. 2%)

7. 回答者のプロフィール

【性別】



【出身地別】



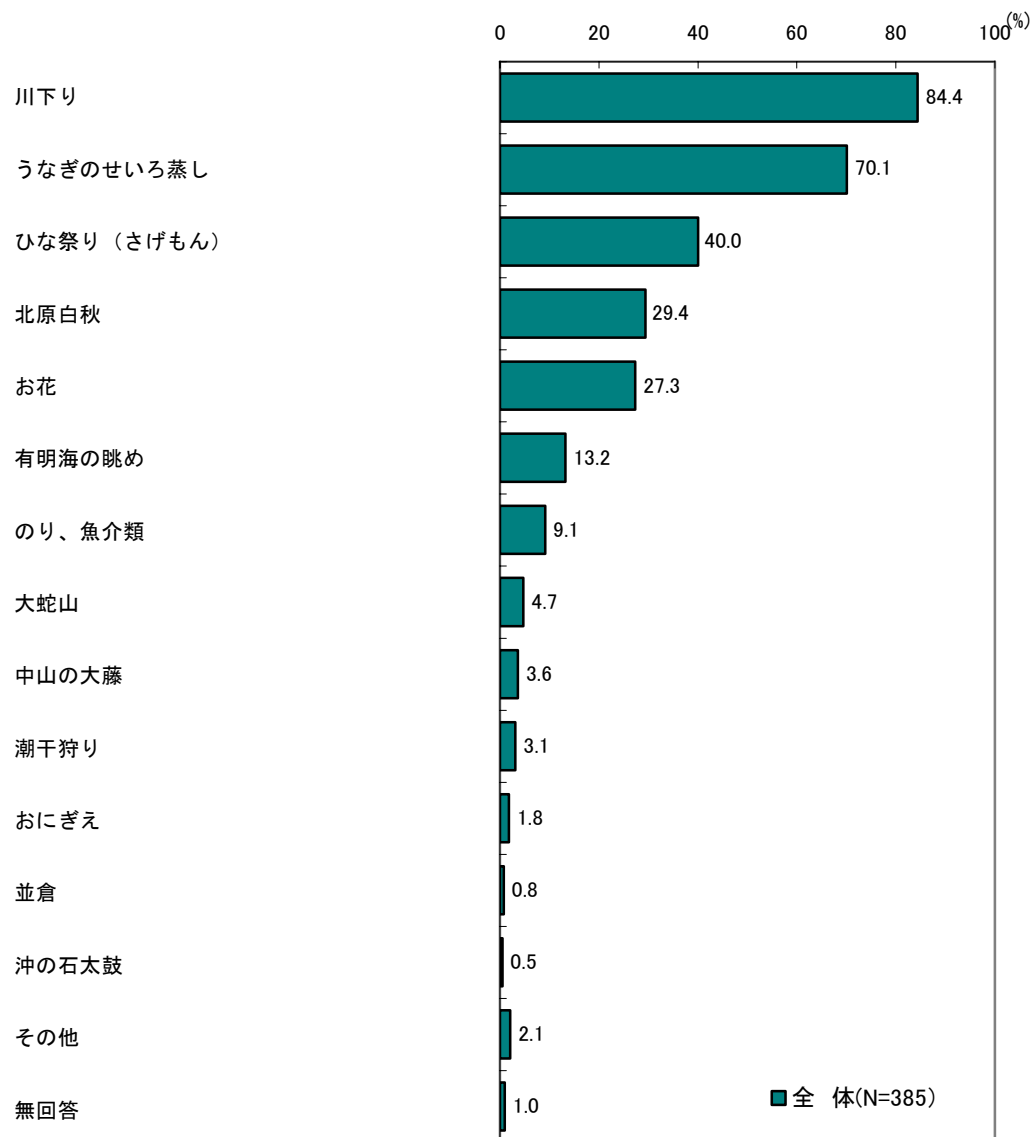
II. 専修・専門学校生アンケート調査の結果

1. 柳川市の大切にしたい、残したい、誇れるもの

柳川市の大切にしたいもの、残しておきたいもの、誇りを感じるものでは、「川下り」(84.4%)が断トツの1位となっています。次が「うなぎのせいろ蒸し」(70.1%)で、以下かなり比率を下げて「ひな祭り(さげもん)」(40.0%)、「北原白秋」(29.4%)、「お花」(27.3%)、「有明海の眺め」(13.2%)などが続いています。

図表 1 大切にしたい、残したい、誇れるもの(全体)

問3. 柳川市内であなたが大切にしたいもの、残しておきたいもの、誇れるものは何ですか。次の中からあてはまるものを3つ選んでください。



階層別特性

◆性別

男女間でやや回答内容がばらついていますが、女性の支持が高いのは「川下り」(男性 78.1%、女性 87.5%)、「ひな祭り(さげもん)」(男性: 24.2%、女性 47.9%)で、男性の支持が高いのは、「北原白秋」(男性: 36.7%、女性 25.7%)、「有明海の眺め」(男性 21.1%、女性 9.3%)です。

◆出身地別

市内出身者と市外出身者によって支持する項目にはやや違いがみられ、市外出身者の支持率が市内出身者を大きく上回っている項目は「うなぎのせいろ蒸し」(市内 58.3%、市外 71.6%)、「お花」(市内 19.4%、市外 28.4%)の2項目です。

図表 2 大切にしたい、残したい、誇れるもの(階層別)

		サンプル数	川下り	うなぎのせいろ蒸し	ひな祭り(さげもん)	北原白秋	お花	有明海の眺め	のり、魚介類
全体		385	84.4	70.1	40.0	29.4	27.3	13.2	9.1
性別	男性	128	78.1	70.3	24.2	36.7	22.7	21.1	12.5
	女性	257	87.5	70.0	47.9	25.7	29.6	9.3	7.4
出身地	柳川市内	36	86.1	58.3	36.1	33.3	19.4	22.2	13.9
	柳川市外	345	84.1	71.6	40.0	28.4	28.4	12.5	8.7

注) 全体の高い順に並べ替えている。

※複数回答

		大蛇山	中山の大藤	潮干狩り	おにぎえ	並倉	沖の石太鼓	その他	無回答
全体		4.7	3.6	3.1	1.8	0.8	0.5	2.1	1.0
性別	男子	8.6	5.5	3.1	3.1	1.6	-	3.1	-
	女子	2.7	2.7	3.1	1.2	0.4	0.8	1.6	1.6
出身地	柳川市内	5.6	2.8	8.3	-	-	-	2.8	-
	柳川市外	4.6	3.8	2.6	2.0	0.9	0.6	2.0	1.2

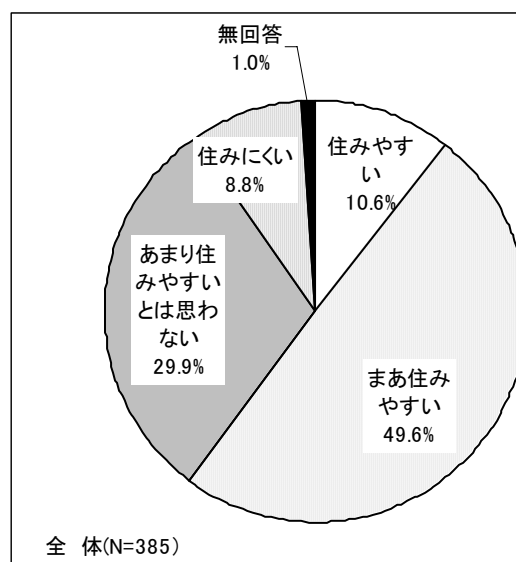
注) 全体の高い順に並べ替えている。

※複数回答

2. 柳川市の住みやすさ

柳川市については「住みやすい」が10.6%、「まあ住みやすい」が49.6%で、程度の違いこそあれ、住みやすいと思っている人が60.2%と6割で、「あまり住みやすいとは思わない」「住みにくい」という人が4割です。

図表 3 柳川市の住みやすさ(全体)



階層別特性

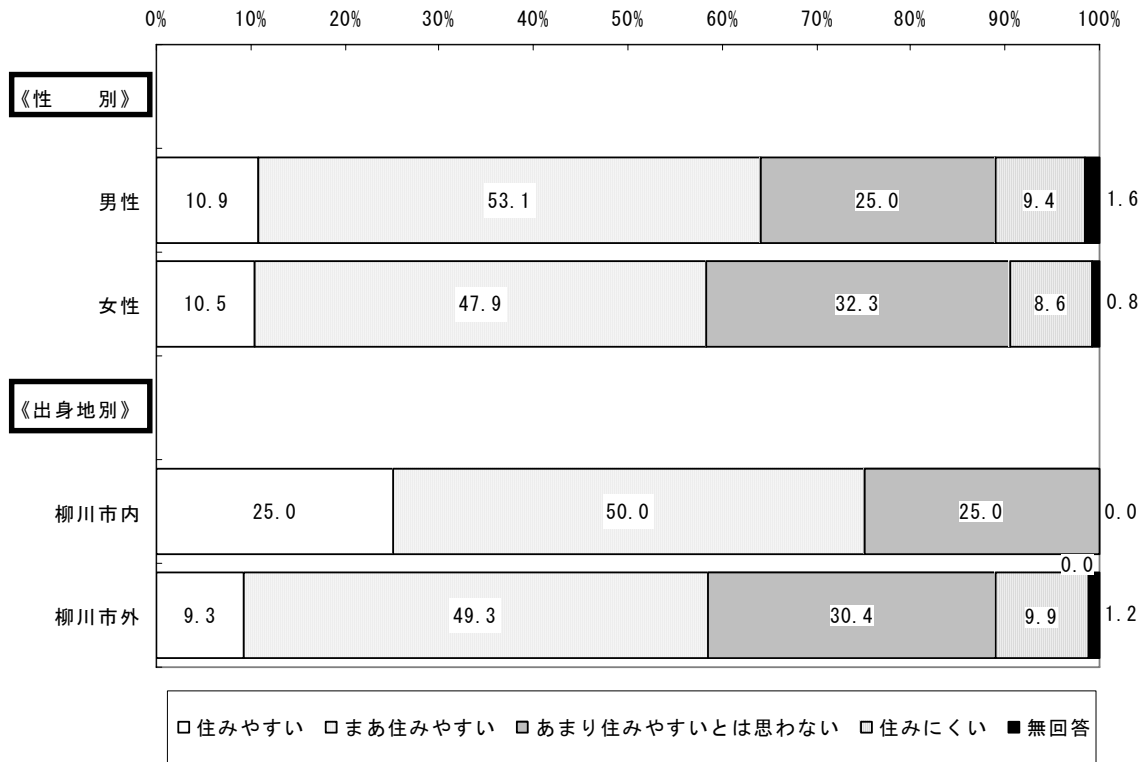
◆性別

“住みやすさ感(住みやすい+まあ住みやすい)”は、男性(64.0%)が女性(58.4%)を6ポイントほど上回っています。

◆出身地別

柳川市への“住みやすさ感”は当然のことながら市内出身者(75.0%)が市外出身者(58.6%)を大きく上回っていますが、市外出身者でも6割が柳川市のことを住みやすいと思っています。

図表 4 柳川市の住みやすさ(階層別)



3. 地域の暮らしやすさ

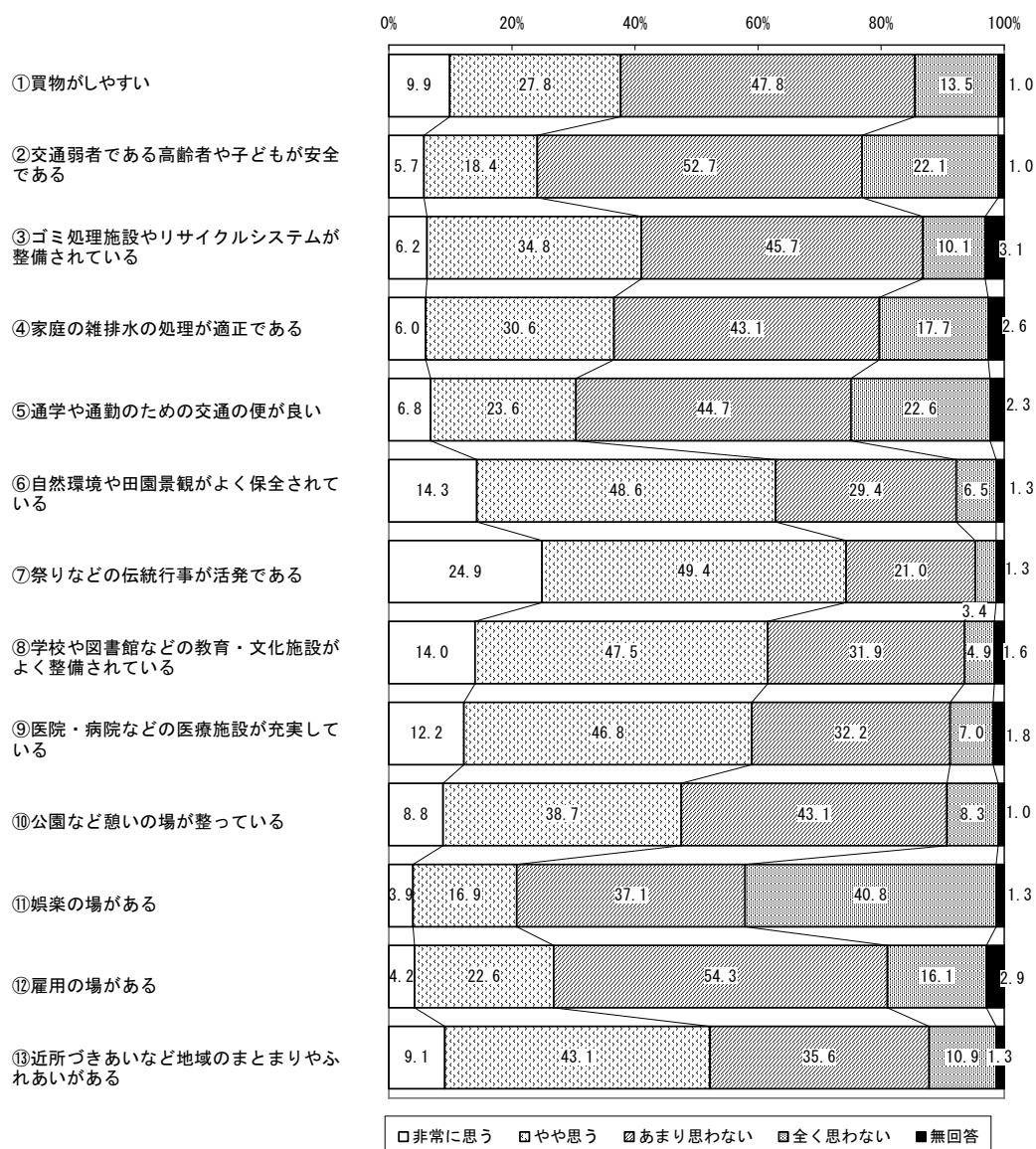
地域の暮らしやすさについて、最も好意的な評価が高かったのは「祭りなどの伝統行事が活発である」(非常に＋やや思う74.3%)です。

また、「自然環境や田園景観がよく保全されている」(同 62.9%)、「学校や図書館などの教育・文化施設がよく整備されている」(同 61.5%)、「医院・病院などの医療施設が充実している」(同 59.0%)などについても好意的な評価が否定的な評価を大きく上回っています。

反対に否定的な評価が7割を占めたのは「娯楽の場がある」(あまり＋全く思わない 77.9%)、「交通弱者である高齢者や子どもが安全である」(同 74.8%)、「雇用の場がある」(同 70.4%)の3項目で、「通学や通勤のための交通の便が良い」(同 67.3%)、「買物がしやすい」(同 61.3%)「家庭の雑排水の処理が適正である」(60.8%)についても、否定的な評価が6割を超えています。

図表 5 地域の暮らしやすさ(全体)

問5. あなたは、地域の暮らしやすさをどのように感じていますか。次のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。



階層別特性

図表 6 地域の暮らしやすさについての好意的評価(上位5位)(階層別)

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	⑥自然環境や田園景観がよく保全されている 65.6	⑦祭りなどの伝統行事が活発である 64.1	⑧学校や図書館などの教育・文化施設がよく整備されている 63.2	⑨医院・病院などの医療施設が充実している 61.7	⑬近所づきあいなど地域のまとまりやふれあいがある 46.9
女性	⑦祭りなどの伝統行事が活発である 79.4	⑥自然環境や田園景観がよく保全されている 61.5	⑧学校や図書館などの教育・文化施設がよく整備されている 60.7	⑨医院・病院などの医療施設が充実している 57.6	⑬近所づきあいなど地域のまとまりやふれあいがある 54.9
柳川市内	⑧学校や図書館などの教育・文化施設がよく整備されている 77.8	⑥自然環境や田園景観がよく保全されている 75.0	⑨医院・病院などの医療施設が充実している 69.5	⑦祭りなどの伝統行事が活発である 69.4	⑬近所づきあいなど地域のまとまりやふれあいがある 58.3
柳川市外	⑦祭りなどの伝統行事が活発である 74.7	⑥自然環境や田園景観がよく保全されている 61.7	⑧学校や図書館などの教育・文化施設がよく整備されている 60.0	⑨医院・病院などの医療施設が充実している 58.3	⑬近所づきあいなど地域のまとまりやふれあいがある 51.6

注) 好意的評価は、各項目に対する「非常に思う」「やや思う」の合計ポイント。

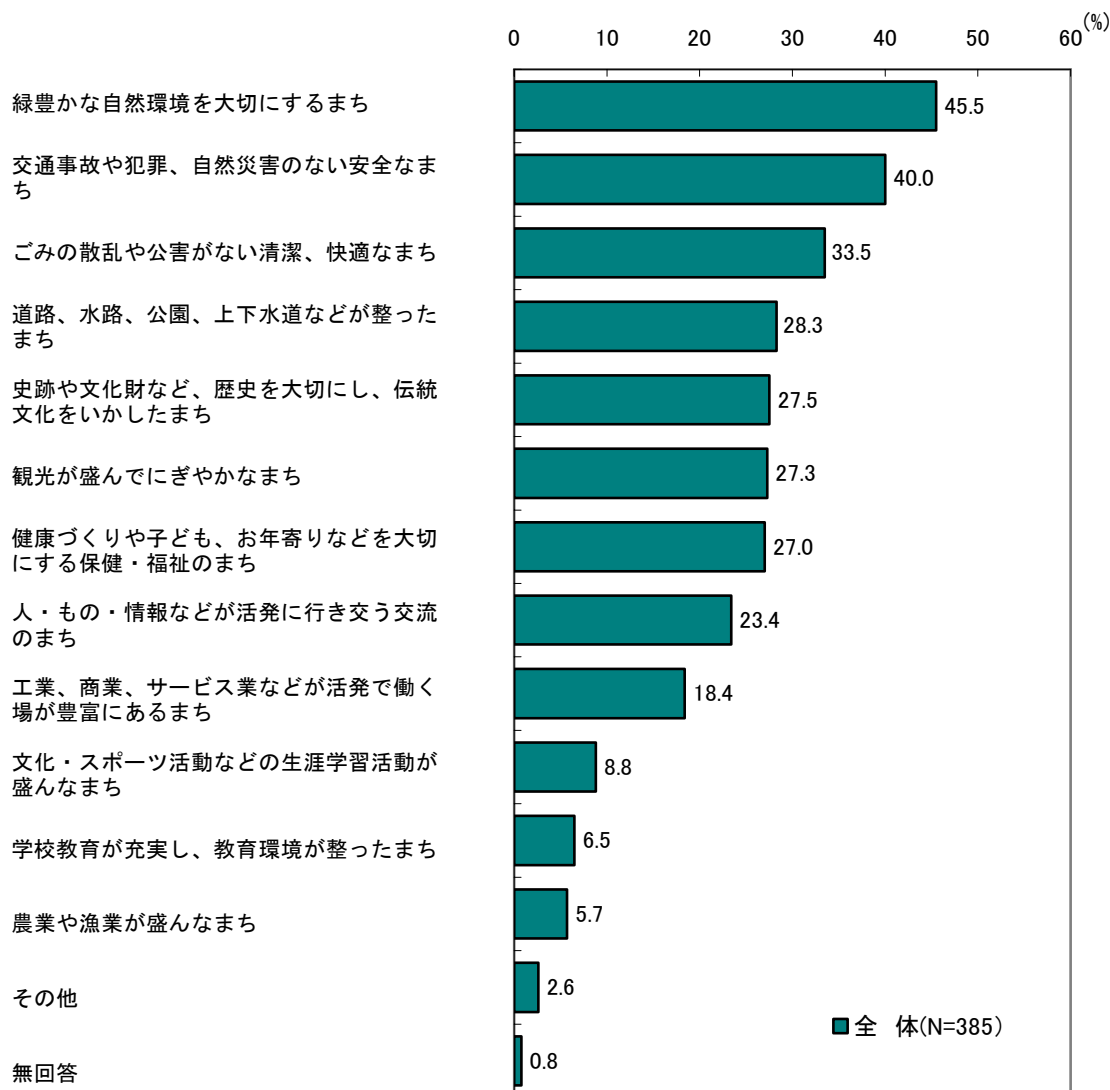
4. これからの柳川市に求める将来像

柳川市の将来像として、最も望ましいとされたのは、市民や中学生同様、「緑豊かな自然環境を大切にするまち」(45.5%)です。次に「交通事故や犯罪、自然災害のない安全なまち」(40.0%)、「ごみの散乱や公害がない清潔、快適なまち」(33.5%)が続き、「道路、水路、公園、上下水道などが整ったまち」(28.3%)、「史跡や文化財など、歴史を大切にし、伝統文化をいかしたまち」(27.5%)、「観光が盛んでにぎやかなまち」(27.3%)、「健康づくりや子ども、お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち」(27.0%)がほぼ同率で並んでいます。

図表 7 これからの柳川市に求める将来像(全体)

問6. あなたは、これからの柳川市がどんなまちになればいいとお考えですか。

次の中からあてはまるものを3つ選んでください。





階層別特性

◆性別

相対的にみて男性では「自然環境を大切にすまち」（男性 54.7%、女性 40.9%）が、女性では「安全なまち」（男性 30.5%、女性 44.7%）、「清潔、快適なまち」（男性 30.5%、女性 35.0%）「働く場が豊富にあるまち」（男性 14.8%、女性 20.2%）を望む人が多くなっています。

◆出身地別

市内出身者よりも市外出身者の支持が高いのは、「観光が盛んでにぎやかなまち」（市内 16.7%、市外 28.4%）です。

図表 8 これからの柳川市に求める将来像(階層別)

		サンプル数	緑豊かな自然環境を大切にすまち	交通事故や犯罪、自然災害のない安全なまち	ごみの散乱や公害がない清潔、快適なまち	道路、水路、公園、上下水道などが整ったまち	史跡や文化財など、歴史を大切に、伝統文化をいかしたまち	観光が盛んでにぎやかなまち	健康づくりや子ども、お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち
全 体		385	45.5	40.0	33.5	28.3	27.5	27.3	27.0
性別	男性	128	54.7	30.5	30.5	27.3	25.8	26.6	28.1
	女性	257	40.9	44.7	35.0	28.8	28.4	27.6	26.5
出身地	柳川市内	36	61.1	36.1	30.6	25.0	25.0	16.7	33.3
	柳川市外	345	43.8	40.6	33.6	29.0	27.5	28.4	25.8

注)全体の高い順に並べ替えている。

※複数回答

		人・もの・情報のまち	工業、商業、サービス業などが活発で働く場が豊富にあるまち	文化・スポーツ活動などの生涯学習活動が盛んなまち	学校教育が充実し、教育環境が整ったまち	農業や漁業が盛んなまち	その他	無回答
全 体		23.4	18.4	8.8	6.5	5.7	2.6	0.8
性別	男性	21.1	14.8	12.5	6.3	7.8	3.1	2.3
	女性	24.5	20.2	7.0	6.6	4.7	2.3	-
出身地	柳川市内	19.4	19.4	8.3	11.1	8.3	-	-
	柳川市外	23.8	18.6	9.0	6.1	5.5	2.9	0.9

注)全体の高い順に並べ替えている。

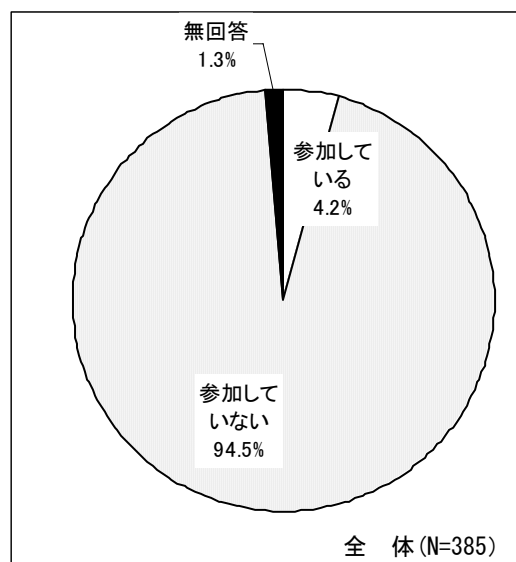
※複数回答

5. 地域社会(コミュニティ)活動への参加状況

1. 地域社会(コミュニティ)活動への参加率

現在、何らかの地域社会(コミュニティ)活動に参加している人は全体の4.2%です。

図表 9 地域社会活動への参加状況(全体)



階層別特性

◆性別

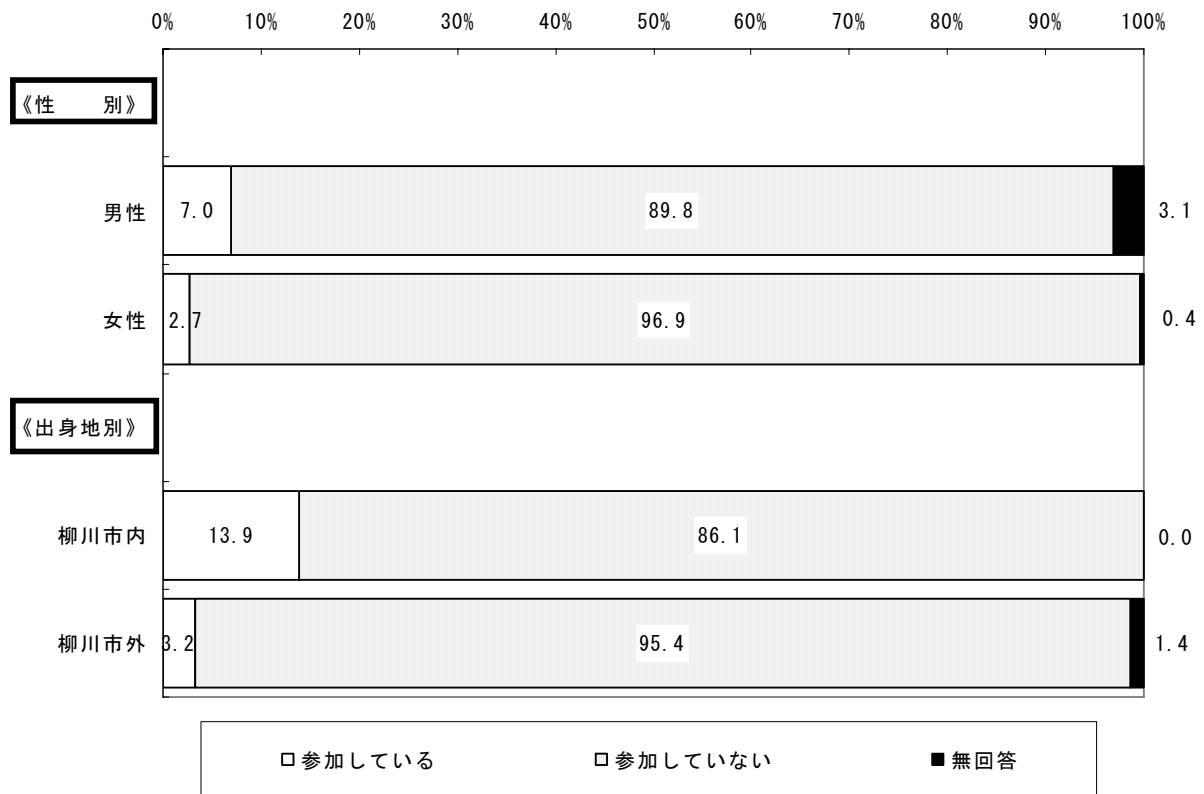
女性よりも男性の方がややコミュニティ活動に積極的なようです。

◆出身地別

市内出身者のコミュニティ活動への参加率は市外出身者を10ポイントほど上回っています。



図表 10 地域社会活動への参加状況(階層別)

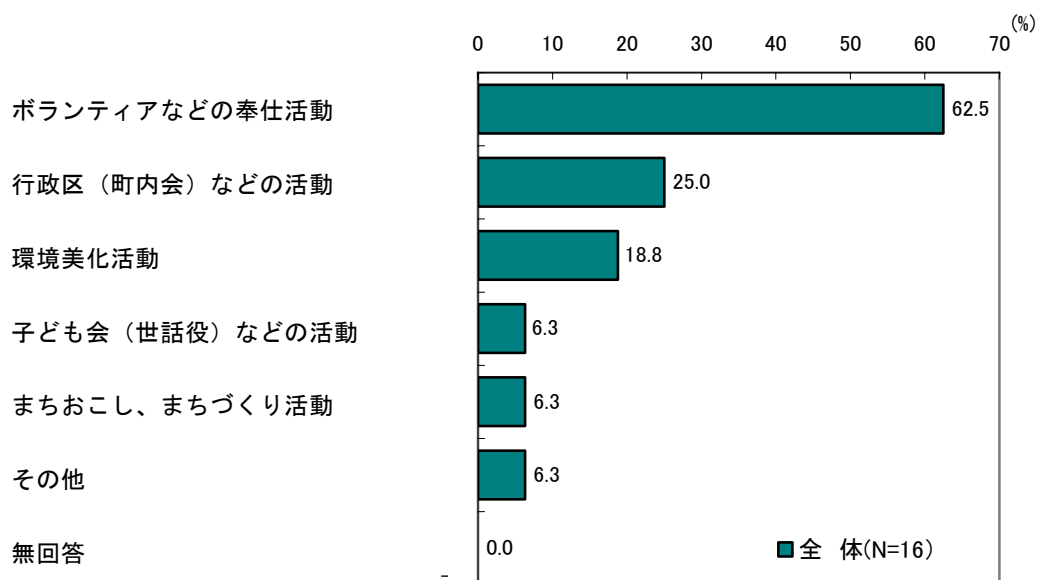


2. 参加している活動・団体

何らかの地域社会活動に参加している16人の学生の参加内容では、「ボランティアなどの奉仕活動」(62.5%、10人)が最も多く、次に「行政区(町内会)などの活動」(25.0%、4人)、「環境美化活動」(18.8%、3人)が続いています。

図表 11 参加している活動・団体(全体)

問7-2. (参加している人に)あなたの参加している活動・団体は何ですか。
次の中からあてはまるものすべてを選んでください。



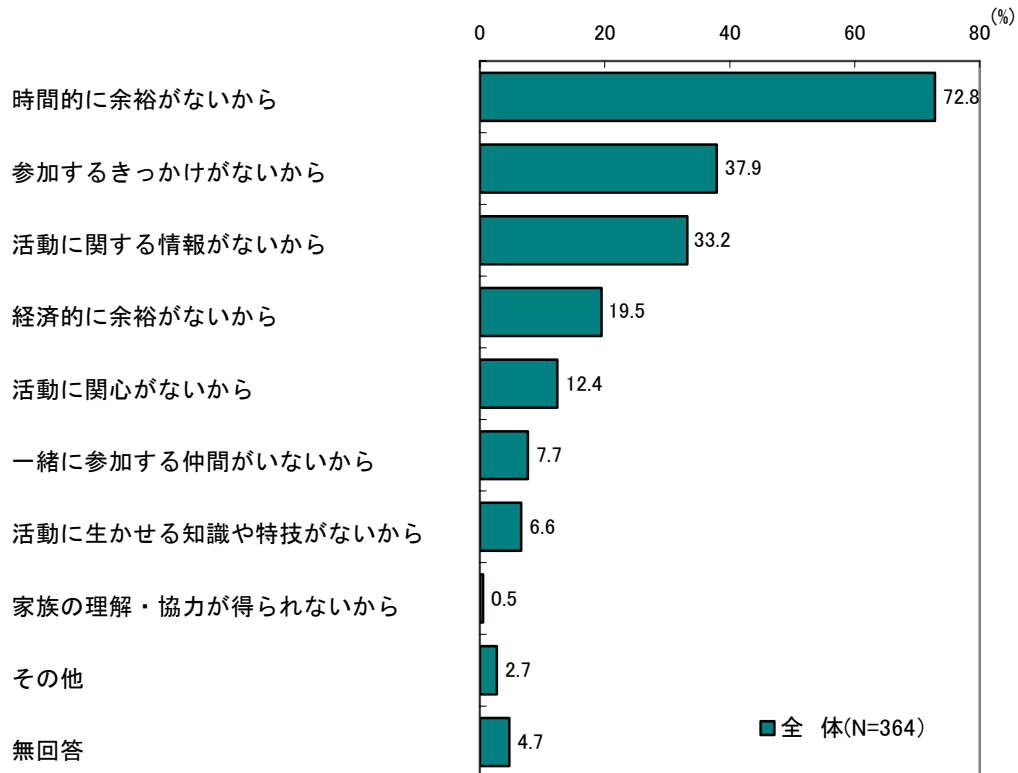
3. 地域社会活動に参加していない理由

地域社会活動には参加していない 364 人の参加していない理由では、「時間的に余裕がないから」(72.8%)に回答が集中しています。

以下、大きく比率を下げて「参加するきっかけがないから」(37.9%)、「活動に関する情報がないから」(33.2%)、「経済的に余裕がないから」(19.5%)、「活動に関心がないから」(12.4%)、「一緒に参加する仲間がないから」(7.7%)などが続いています。

図表 12 地域社会活動に参加していない理由(全体)

問7-3. (参加していない人に)地域社会活動に参加していないのはなぜですか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

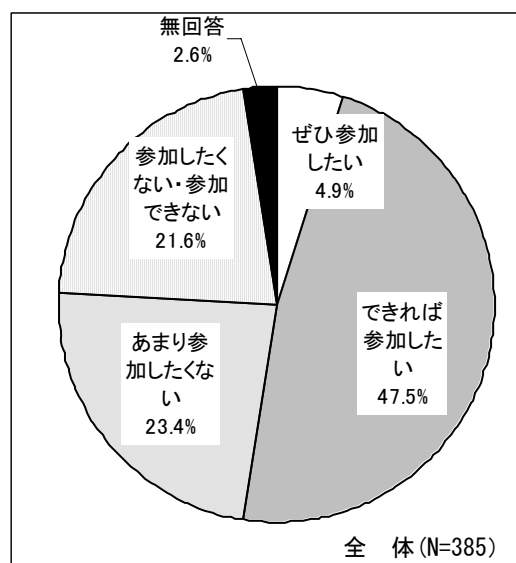


6. ボランティア活動やコミュニティ活動への参加意向

1. ボランティア活動やコミュニティ活動への参加意向

ボランティア活動や地域社会（コミュニティ）活動に、ぜひ参加してみたいと思う人は 4.9%、できれば参加したい人が 47.5%と、半数を超える人が地域での活動に前向きな姿勢を見せています。

図表 13 ボランティア活動やコミュニティ活動への参加意向



階層別特性

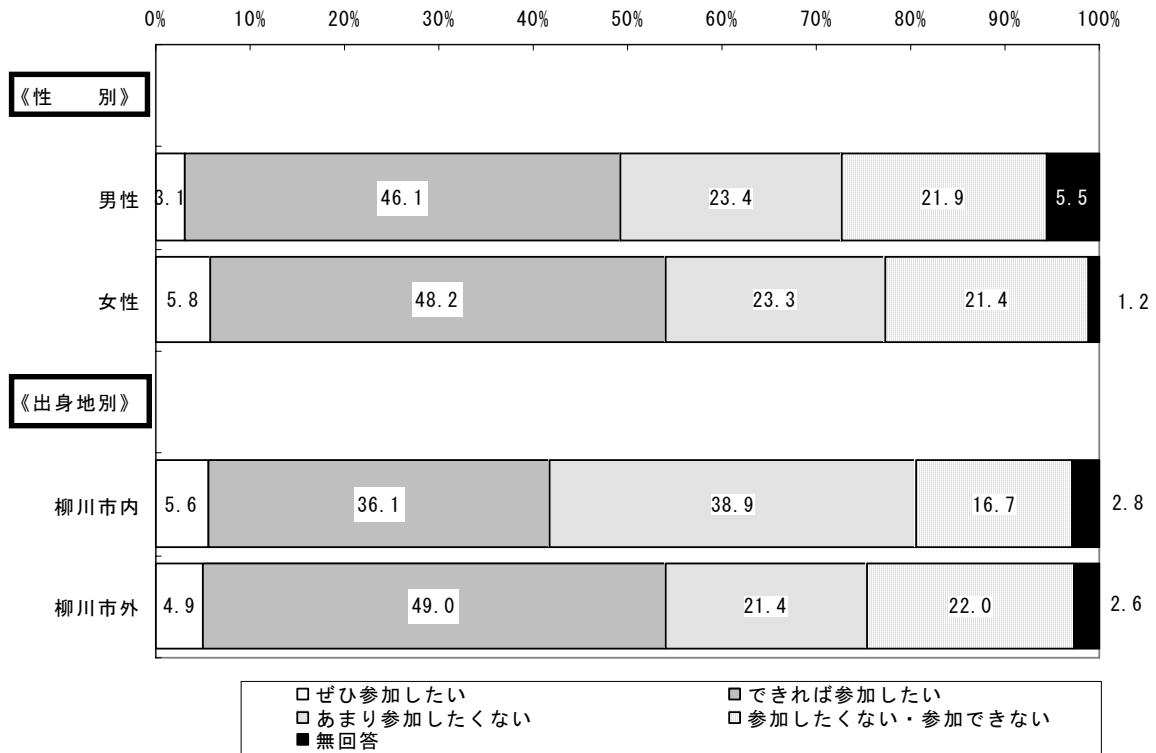
◆性別

ボランティア活動やコミュニティ活動への参加意向率（ぜひ＋できれば参加したい人の割合）は男性（49.2%）よりも女性（54.0%）のほうに高くなっています。

◆出身地別

参加意向率は、市内出身者（41.7%）を市外出身者（53.9%）が大きく上回っています。

図表 14 ボランティア活動やコミュニティ活動への参加意向(階層別)



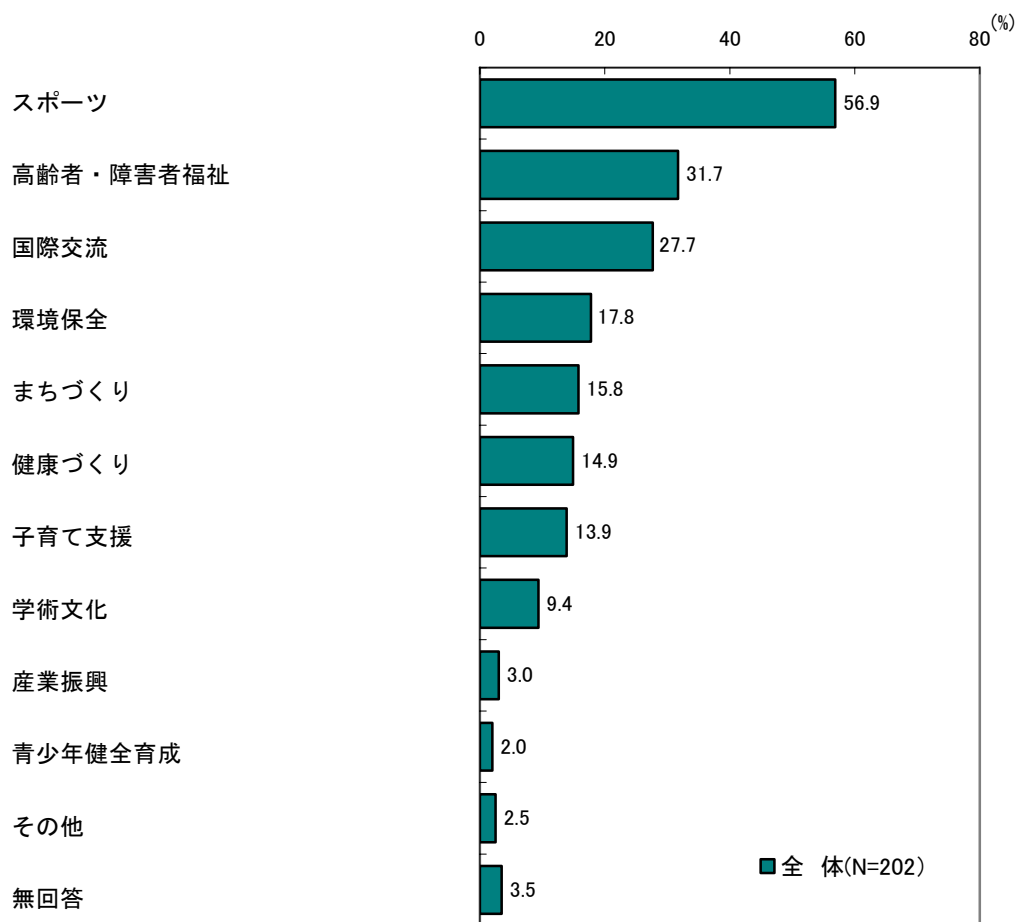
2. 参加してみたい活動内容

ボランティア活動や地域社会活動に参加してみたい人が、関心を持っている活動分野では、「スポーツ」(56.9%)が圧倒的に多くなっています。

以下、「高齢者・障害者福祉」(31.7%)、「国際交流」(27.7%)、「環境保全」(17.8%)、「まちづくり」(15.8%)、「健康づくり」(14.9%)、「子育て支援」(13.9%)と続いています。

図表 15 参加してみたい活動内容(全体)

問8-2. (ぜひ、できれば参加したい人に)どのような分野の活動に参加したいと思いますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。



階層別特性

図表 16 参加してみたい活動内容(上位5位まで)(階層別)

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	スポーツ 61.9	高齢者・障害者福祉 33.3	健康づくり 22.2	まちづくり 20.6	環境保全 19.0
女性	スポーツ 54.7	国際交流 31.7	高齢者・障害者福祉 30.9	環境保全 17.3	子育て支援 14.4
柳川市内	スポーツ 73.3	高齢者・障害者福祉 40.0	国際交流 40.0	子育て支援 13.3	環境保全 6.7
柳川市外	スポーツ 55.9	高齢者・障害者福祉 30.6	国際交流 26.9	環境保全 18.8	まちづくり 16.7

(%)

※複数回答

第4部 職員アンケート編



1. 職員アンケート調査の概要

1. 調査の目的

旧柳川市、旧大和町、旧三橋町は平成17年3月21日に合併し、新柳川市として新しいスタートを切りました。新しい柳川市としてのまちづくりを進めていくための「第1次柳川市総合計画」策定に向けて、行政に携わる職員の方々がまちの姿をどのように捉え、将来をどう考えているかを尋ね、計画策定の参考資料とするために本調査を実施しました。

2. 調査の対象

柳川市職員602人。

3. 抽出方法

なし(全員)

4. 調査方法

担当課職員による直接配布、回収

5. 調査時期

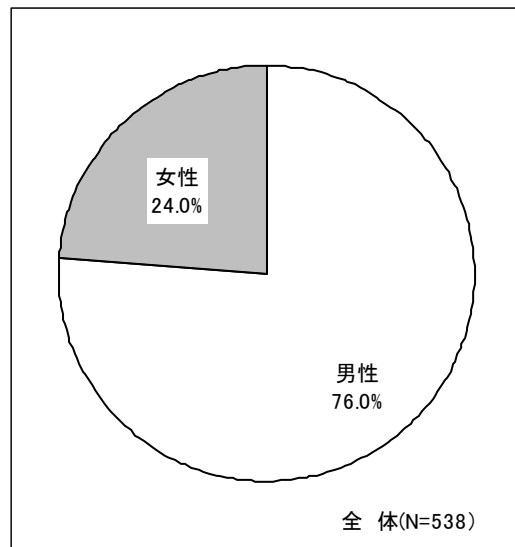
平成17年6月29日～7月8日

6. 回収状況

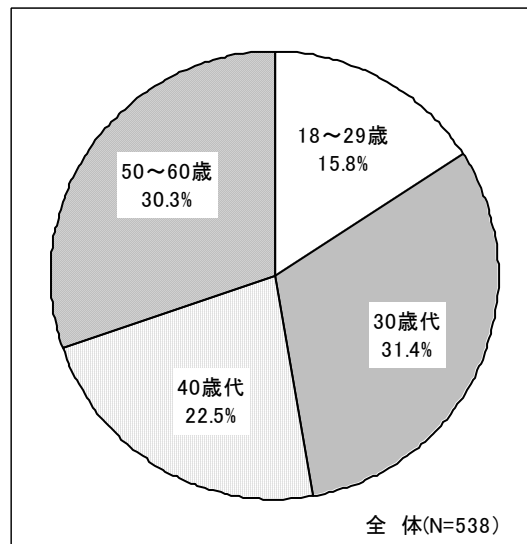
有効回収数538通 (有効回答率89.4%)

7. 回答者のプロフィール

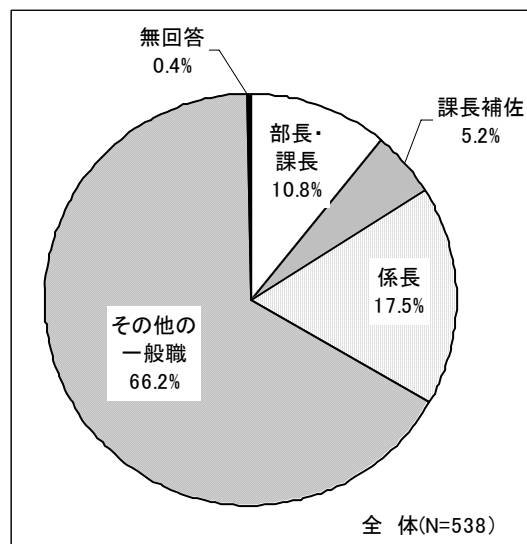
【性別】



【年代別】



【職業別】

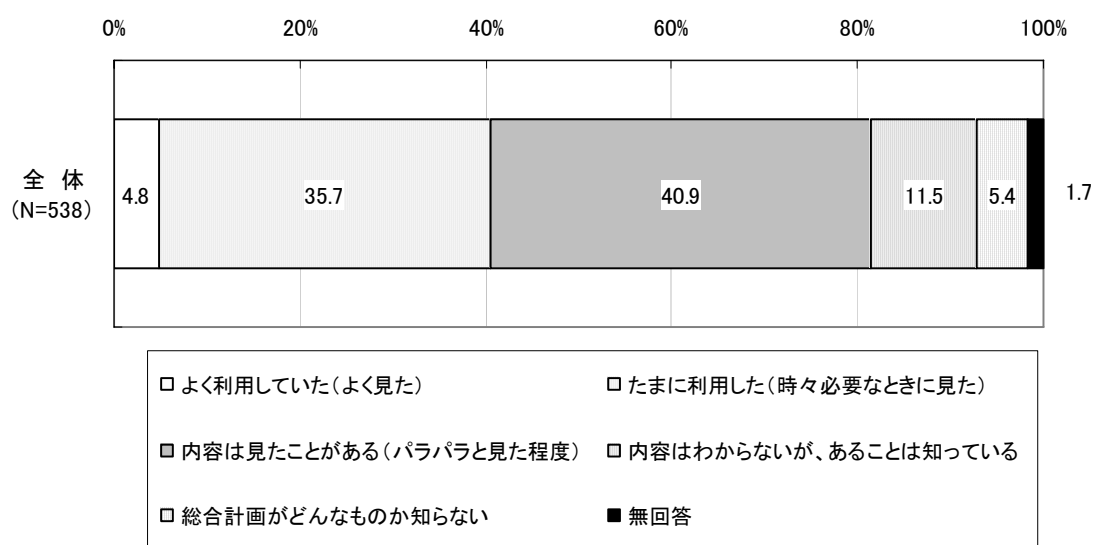


II. 職員アンケート調査の結果

1. 総合計画の活用度

合併前の旧市・町の総合計画について、「よく利用していた(よく見た)」が 4.8%、「たまに利用した(時々必要なときに見た)」が 35.7%と、総合計画を活用していた職員は全体の4割程度で、「内容はわからない」「知らない」という職員も合わせて 16.9%あります。

図表 1 旧市・町の総合計画活用度(全体)



階層別特性

◆性別

総合計画の活用度（「よく利用していた」「たまに利用した」の回答者）は男性職員が 45.7%、女性職員が 24.0%と男性職員に比べて女性職員の活用度はかなり低くなっています。

◆年齢別

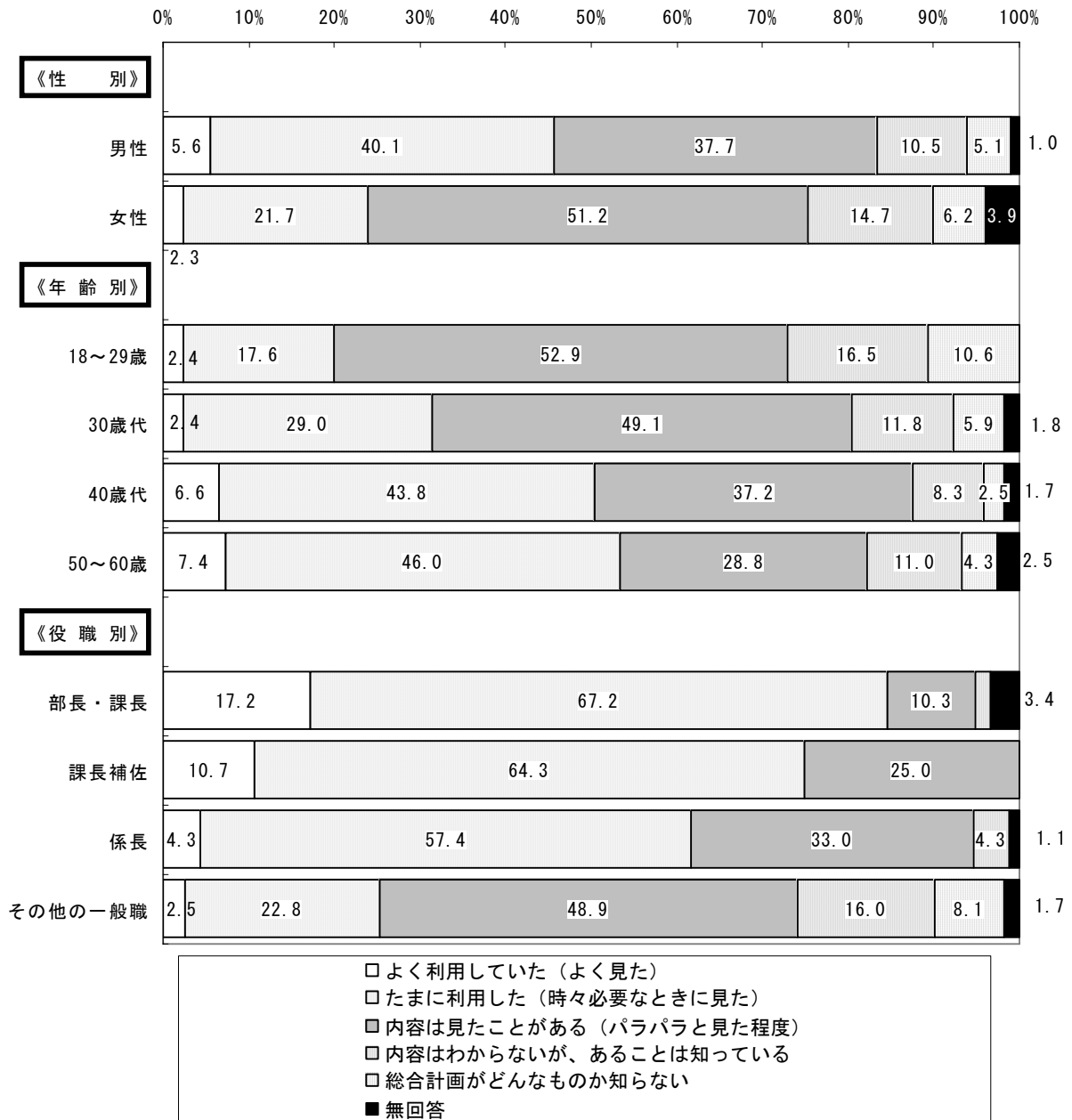
30歳未満では、過半数の職員が「パラパラと見た程度」と回答していますが、年齢とともに活用度も上昇しています。

◆役職別

一般職ではほぼ半数が「パラパラと見た程度」と回答していますが、上級職ほど活用度も上昇しています。



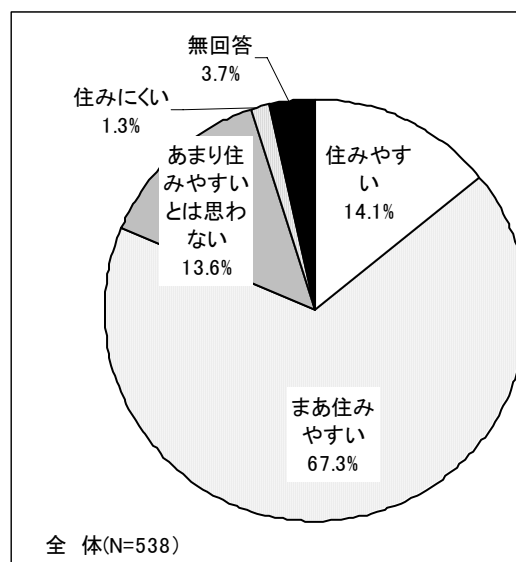
図表 2 旧市・町の総合計画活用度(階層別)



2. 柳川市の住みやすさ

8割を超える職員が、柳川市を住みやすい(「住みやすい」「まあ住みやすい」の回答者)と評価しています

図表 3 柳川市の住みやすさ(全体)



階層別特性

◆性別

住みやすさ(「住みやすい」「まあ住みやすい」の回答者)については男性職員(79.9%)よりも女性職員(86.0%)に高いものとなっていますが、女性職員の住みやすさの評価のほとんどは「まあ住みやすい」という程度の評価となっています。

◆年齢別

住みやすさの評価は、相対的にみて30歳代(74.5%)に低くなっています。その他の年代ではいずれも住みやすいという評価が8割を超えています。

◆役職別

上級者ほど住みやすさ評価が高く、特に部長・課長クラスでは「住みやすい」が43.1%と非常に高く、「まあ住みやすい」までを含めて、ほぼ9割が柳川市を住みやすいと評価しています。

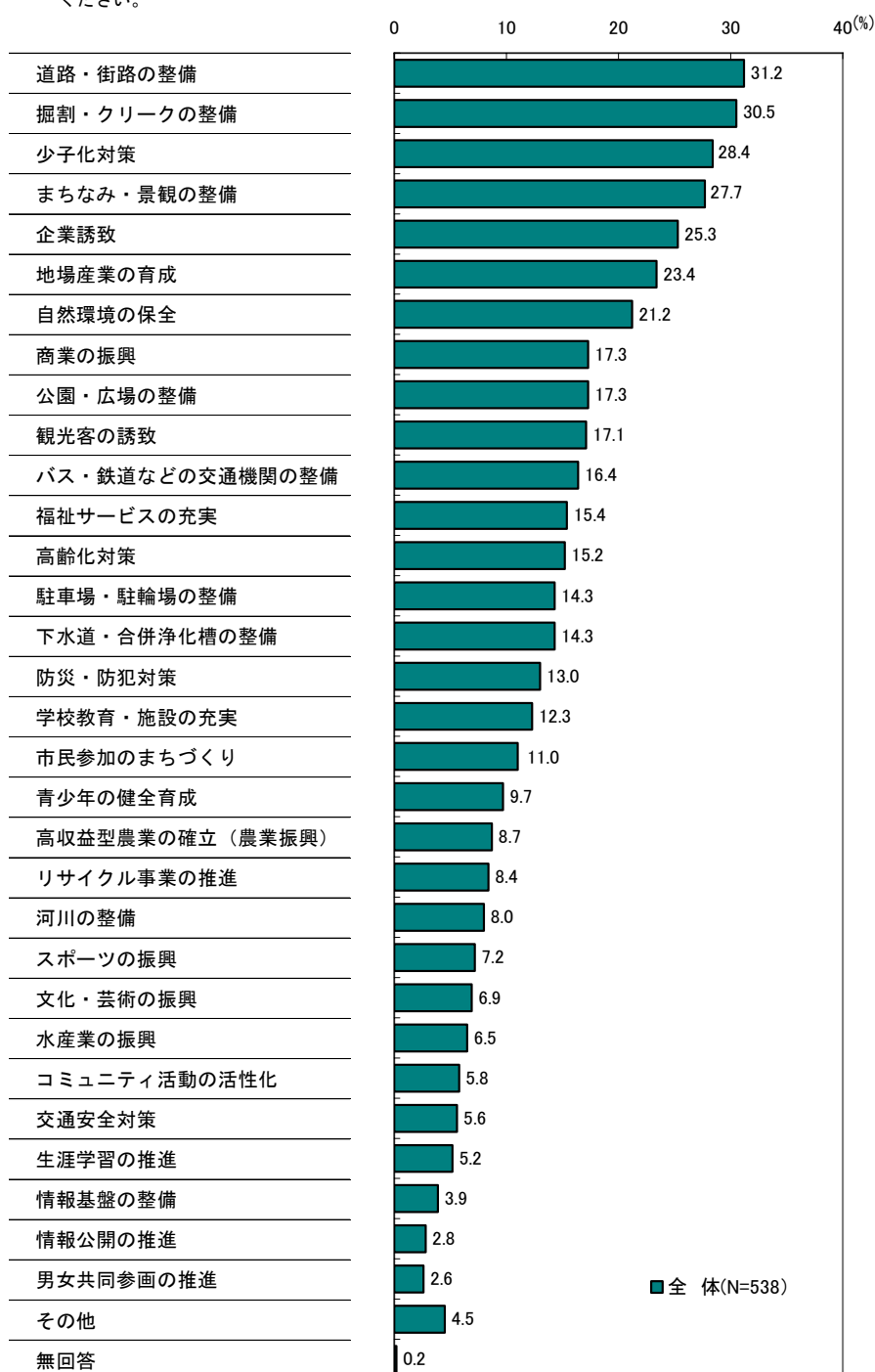
3. 柳川市の施策として重視すべき分野

さらに住みやすいまちにするために、施策として重視すべき分野では「道路・街路の整備」(31.2%)が最も多く、ほぼ同率で「掘割・クリークの整備」(30.5%)が続いています。

以下、20%台で「少子化対策」(28.4%)、「まちなみ・景観の整備」(27.7%)、「企業誘致」(25.3%)、「地場産業の育成」(23.4%)、「自然環境の保全」(21.2%)が続いています。

図表 5 重視すべき分野(全体)

問6. では、もっと住みよい柳川市にするためには、どのような部分に重点をおいていけばよいとお考えですか。また、何が欠けているとお考えですか。次の中からあてはまるものを5つ以内で選んでください。





階層別特性

◆性別

重視すべき分野は男女によってかなり違いがあり、相対的にみて男性職員では「道路・街路の整備」、「掘割・クリークの整備」、「企業誘致」、「自然環境の保全」、「公園・広場の整備」などのハード事業への重視度が高く、女性社員では「少子化対策」、「観光客の誘致」、「商業の振興」、「バス・鉄道などの交通機関の整備」、「福祉サービスの充実」などのソフト事業への重視度が高くなっています。

◆年齢別

いくつかの分野は年齢的な傾向がみられ、「掘割・クリークの整備」「高齢化対策」「下水道・合併浄化槽の整備」「河川の整備」などは年代とともに重視度が高まっています。反対に若い年代ほど重視度が高いのは「少子化対策」「まちなみ・景観の整備」「商業の振興」「観光客の誘致」などの分野です。

◆役職別

部長・課長クラスとその下のクラスとで大きく違うのは「道路・街路の整備」への重視度で、課長補佐（53.6%）、係長（39.4%）では最も重視すべきこととなっていますが、部長・課長（24.1%）の重視度は5番目となっています。

部長・課長クラスが最も重視すべきと考えているのは「掘割・クリークの整備」（48.3%）で、以下、「まちなみ・景観の整備」（34.5%）、「地場産業の育成」（34.5%）、「自然環境の保全」（27.6%）の順となっています。

その他の一般職では、上級職に比べて全体的に重視が低く、最も重視度が高いのは「少子化対策」（32.0%）で、次が「道路・街路の整備」（28.4%）、「まちなみ・景観の整備」（27.2%）が続いています。

図表 6 重視すべき分野(階層別)

		サンプル数	道路・街路の整備	掘削・クレークの整備	少子化対策	まちなみ・景観の整備	企業誘致	地場産業の育成	自然環境の保全	商業の振興	公園・広場の整備	観光客の誘致
全 体		538	31.2	30.5	28.4	27.7	25.3	23.4	21.2	17.3	17.3	17.1
性別	男性	409	35.0	33.0	26.4	28.4	28.4	24.4	23.2	15.6	19.3	13.4
	女性	129	19.4	22.5	34.9	25.6	15.5	20.2	14.7	22.5	10.9	28.7
年齢別	18～29歳	85	25.9	18.8	35.3	34.1	29.4	21.2	21.2	28.2	22.4	34.1
	30歳代	169	32.5	23.7	36.7	29.6	21.9	16.6	15.4	17.2	26.0	17.8
	40歳代	121	36.4	29.8	23.1	24.8	28.1	22.3	19.8	19.8	13.2	12.4
	50～60歳	163	28.8	44.2	20.2	24.5	24.5	32.5	28.2	9.8	8.6	11.0
役職別	部長・課長	58	24.1	48.3	19.0	34.5	22.4	34.5	27.6	6.9	6.9	12.1
	課長補佐	28	53.6	53.6	7.1	32.1	21.4	46.4	25.0	7.1	17.9	-
	係長	94	39.4	34.0	27.7	24.5	27.7	22.3	28.7	10.6	14.9	7.4
	その他の一般職	356	28.4	24.7	32.0	27.2	25.6	19.9	17.4	21.6	19.4	21.9

		交通バス・鉄道などの整備	福祉サービスの充実	高齢化対策	駐車場・駐輪場の整備	下水道・合併浄化槽の整備	防災・防犯対策	学校教育・施設の充実	市民参加のまちづくり	青少年の健全育成	高収益型農業の確立(農業振興)	リサイクル事業の推進
全 体		16.4	15.4	15.2	14.3	14.3	13.0	12.3	11.0	9.7	8.7	8.4
性別	男性	14.4	13.4	14.2	13.7	15.6	13.7	11.0	10.3	10.3	9.8	8.1
	女性	22.5	21.7	18.6	16.3	10.1	10.9	16.3	13.2	7.8	5.4	9.3
年齢別	18～29歳	17.6	12.9	10.6	11.8	8.2	10.6	4.7	10.6	5.9	7.1	5.9
	30歳代	19.5	15.4	12.4	15.4	11.8	14.8	13.0	8.3	4.7	10.1	6.5
	40歳代	18.2	16.5	14.9	14.0	16.5	11.6	16.5	13.2	15.7	8.3	9.1
	50～60歳	11.0	16.0	20.9	14.7	18.4	13.5	12.3	12.3	12.3	8.6	11.0
役職別	部長・課長	12.1	20.7	19.0	6.9	20.7	17.2	10.3	17.2	12.1	13.8	3.4
	課長補佐	7.1	7.1	14.3	17.9	32.1	14.3	7.1	10.7	10.7	14.3	10.7
	係長	12.8	16.0	20.2	18.1	16.0	7.4	13.8	12.8	14.9	7.4	11.7
	その他の一般職	18.8	15.2	13.2	14.3	11.5	13.5	12.4	9.6	7.9	7.9	8.1

		河川の整備	スポーツの振興	文化・芸術の振興	水産業の振興	活性化 コミュニティ活動の	交通安全対策	生涯学習の推進	情報基盤の整備	情報公開の推進	男女共同参画の推進	その他
全 体		8.0	7.2	6.9	6.5	5.8	5.6	5.2	3.9	2.8	2.6	4.5
性別	男性	9.5	8.1	5.9	7.1	5.9	5.6	5.9	5.1	2.4	1.2	4.9
	女性	3.1	4.7	10.1	4.7	5.4	5.4	3.1	-	3.9	7.0	3.1
年齢別	18～29歳	5.9	9.4	3.5	14.1	-	3.5	2.4	5.9	2.4	2.4	2.4
	30歳代	4.1	10.7	5.3	6.5	5.3	5.9	3.6	4.7	1.8	1.2	5.9
	40歳代	9.1	7.4	9.9	4.1	6.6	7.4	5.8	3.3	4.1	2.5	8.3
	50～60歳	12.3	2.5	8.0	4.3	8.6	4.9	8.0	2.5	3.1	4.3	1.2
役職別	部長・課長	10.3	1.7	10.3	8.6	12.1	1.7	5.2	3.4	1.7	3.4	-
	課長補佐	3.6	-	10.7	3.6	14.3	-	14.3	-	-	-	3.6
	係長	8.5	5.3	4.3	3.2	7.4	4.3	7.4	4.3	4.3	1.1	9.6
	その他の一般職	7.9	9.3	6.5	7.3	3.7	7.0	3.9	4.2	2.8	3.1	3.9

注1) 全体の高い順に並べ替えている。
注2) 無回答は表示していない。

※複数回答

4. 柳川市に求める将来像

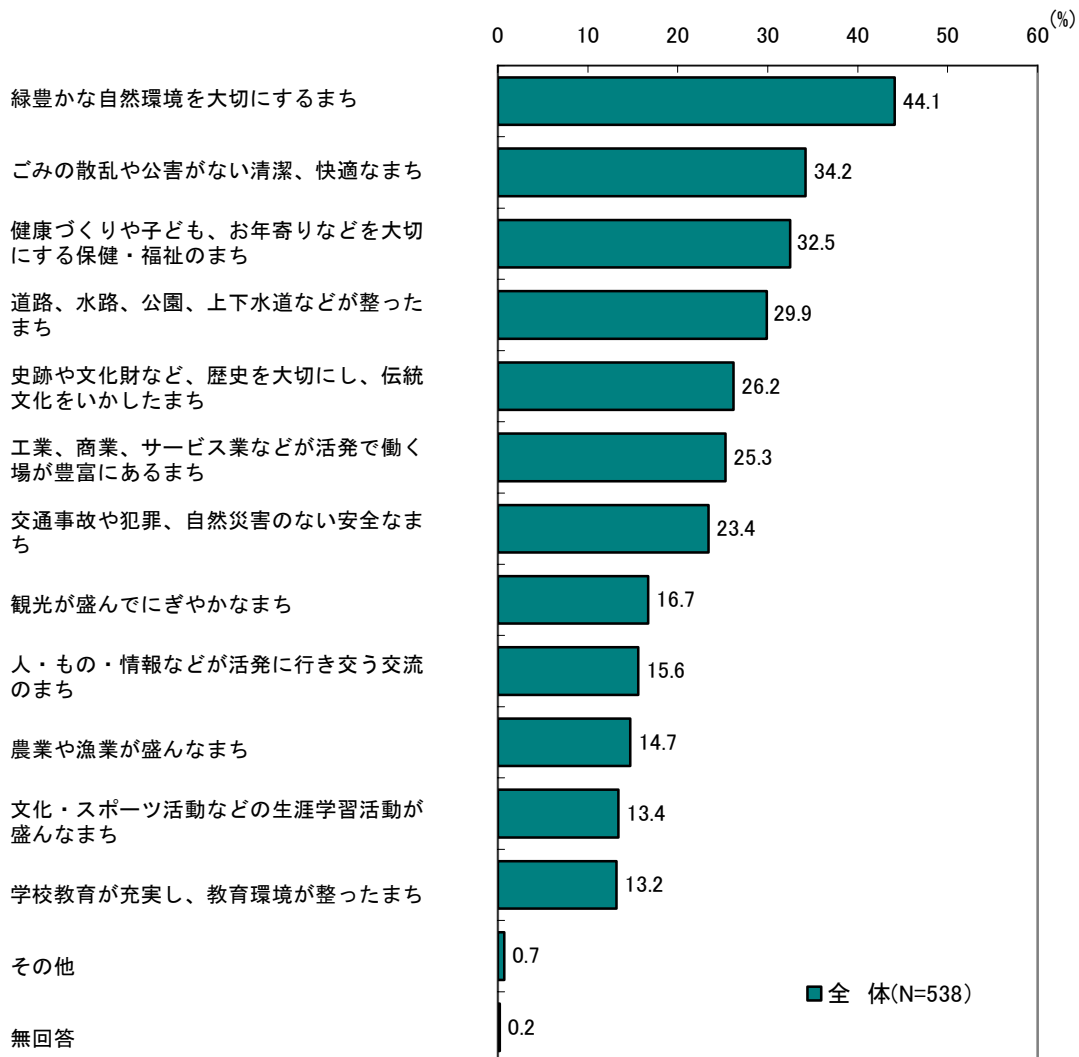
柳川市の将来像として、最も望ましいとされたのは市民アンケート、中学生アンケートでも最も多くあげられた「緑豊かな自然環境を大切にするまち」(44.1%)です。

以下、回答が2割を超えたのは、「ごみの散乱や公害がない清潔、快適なまち」(34.2%)、「健康づくりや子ども、お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち」(32.5%)、「道路、水路、公園、上下水道などが整ったまち」(29.9%)、「工業、商業、サービス業などが活発で働く場が豊富にあるまち」(25.3%)、「交通事故や犯罪、自然災害のない安全なまち」(23.4%)です。

図表 7 柳川市に求める将来像(全体)

問7. あなたは、これからの柳川市がどんなまちになればいいとお考えですか。

次の中からあてはまるものを3つ選んでください。



階層別特性

◆性別

相対的にみて、男性職員に要望が高いのは「都市基盤が整ったまち」（男性 33.7%、女性 17.8%）、「働く場が豊富にあるまち」（男性 26.7%、女性 20.9%）、「生涯学習活動が盛んなまち」（男性 14.9%、女性 8.5%）」で、女性職員の要望が高いのは「保健・福祉のまち」（男性 28.6%、女性 45.0%）、「清潔、快適なまち」（男性 33.3%、女性 37.2%）、「安全なまち」（男性 21.5%、女性 29.5%）」で、特に「保健・福祉のまち」を望む声が男性職員よりかなり多いのが目立ちます。

◆年齢別

年齢との関係がはっきりみられたのは「観光が盛んでにぎやかなまち」「交流のまち」で、ともに若い年代ほど高い支持を受けています。その他の項目は年代によってかなりバラついており、30歳未満では「観光が盛んでにぎやかなまち」（30.6%）、30歳代では、「保健・福祉のまち」（37.9%）が他の年代を大きく上回っているのが目立ちます。50～60歳では「自然環境を大切にするまち」（52.1%）が過半数の人にあげられています。

◆役職別

「自然環境を大切にするまち」は上級職ほど要望が高くなっています。「観光が盛んでにぎやかなまち」は上級職比べて、その他の一般職に要望が高くなっています。



図表 8 柳川市に求める将来像(階層別)

		サンプル数	緑豊かな自然環境を大切にす ま	ごみの散乱や公害がない清潔、快 適なまち	健康づくりや子ども、お年寄りな どを大切にす保健康・福祉のまち	道路、水路、公園、上下水道などが 整ったまち	史跡や文化財など、歴史を大切に し、伝統文化をいかしたまち	工業、商業、サービス業などが活 発で働く場が豊富にあるまち	交通事故や犯罪、自然災害のない 安全なまち
全 体		538	44.1	34.2	32.5	29.9	26.2	25.3	23.4
性別	男性	409	45.0	33.3	28.6	33.7	27.4	26.7	21.5
	女性	129	41.1	37.2	45.0	17.8	22.5	20.9	29.5
年齢別	18～29歳	85	43.5	31.8	24.7	28.2	24.7	29.4	22.4
	30歳代	169	39.6	34.9	37.9	26.0	23.7	16.6	24.9
	40歳代	121	39.7	28.9	30.6	32.2	31.4	29.8	19.8
	50～60歳	163	52.1	38.7	32.5	33.1	25.8	28.8	25.2
役職別	部長・課長	58	50.0	34.5	31.0	36.2	37.9	25.9	19.0
	課長補佐	28	50.0	35.7	28.6	32.1	35.7	35.7	28.6
	係長	94	48.9	34.0	36.2	28.7	25.5	29.8	21.3
	その他の一般職	356	41.3	34.0	32.0	28.9	23.6	23.3	24.4

注)全体の高い順に並べ替えしている。

※複数回答

		観光が盛んでにぎやかなまち	人・もの・情報などが活発に行き 交う交流のまち	農業や漁業が盛んなまち	文化・スポーツ活動などの生涯学 習活動が盛んなまち	学校教育が充実し、教育環境が 整ったまち	その他	無回答
全 体		16.7	15.6	14.7	13.4	13.2	0.7	0.2
性別	男性	15.4	14.9	15.2	14.9	13.7	1.0	-
	女性	20.9	17.8	13.2	8.5	11.6	-	0.8
年齢別	18～29歳	30.6	24.7	12.9	12.9	5.9	-	-
	30歳代	21.9	16.0	14.8	13.0	13.0	1.2	0.6
	40歳代	13.2	16.5	11.6	19.0	20.7	1.7	-
	50～60歳	6.7	9.8	17.8	9.8	11.7	-	-
役職別	部長・課長	8.6	10.3	20.7	12.1	10.3	-	-
	課長補佐	-	14.3	14.3	14.3	7.1	3.6	-
	係長	8.5	9.6	11.7	18.1	16.0	1.1	-
	その他の一般職	21.6	18.3	14.6	12.1	13.5	0.6	0.3

注)全体の高い順に並べ替えしている。

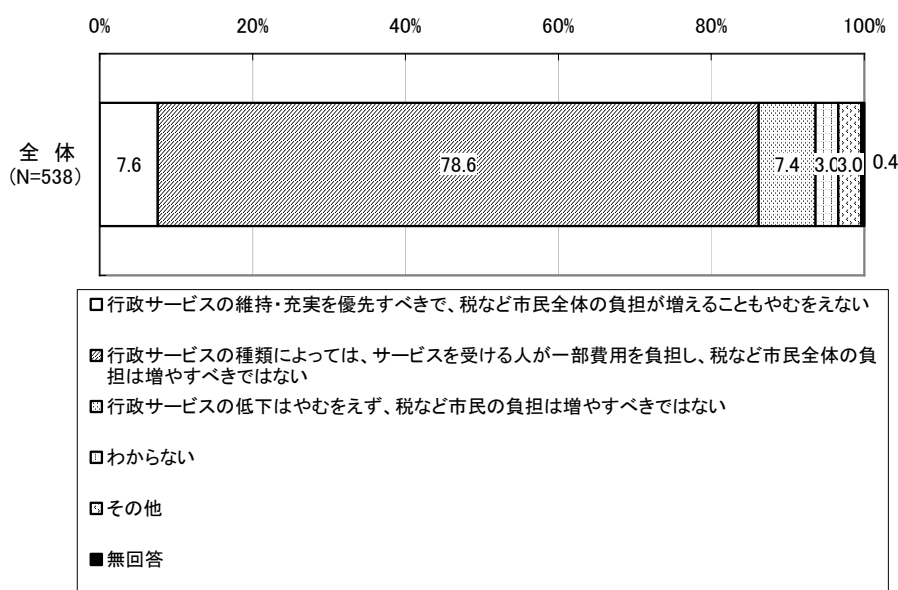
※複数回答

5. 行政サービスと受益者負担についての考え方

行政サービスの水準と市民の負担については、全体のほぼ8割が「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人が一部費用を負担し、税など市民全体の負担は増やすべきではない」(78.6%)と回答しており、サービス内容によっては、公平な税負担よりも受益者負担を求めるべきだという考えが大勢を占めています。

図表 9 行政サービスと受益者負担についての考え方(全体)

問8. 行財政改革を進めていく上での、行政サービスの水準と市民の負担とのバランスについて、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。



階層別特性

◆性別

男女による違いはほとんどありませんが、男性職員では「行政サービスの低下はやむをえず、税など市民の負担は増やすべきではない」(9.0%)が女性職員(2.3%)をかなり上回っています。

◆年齢別

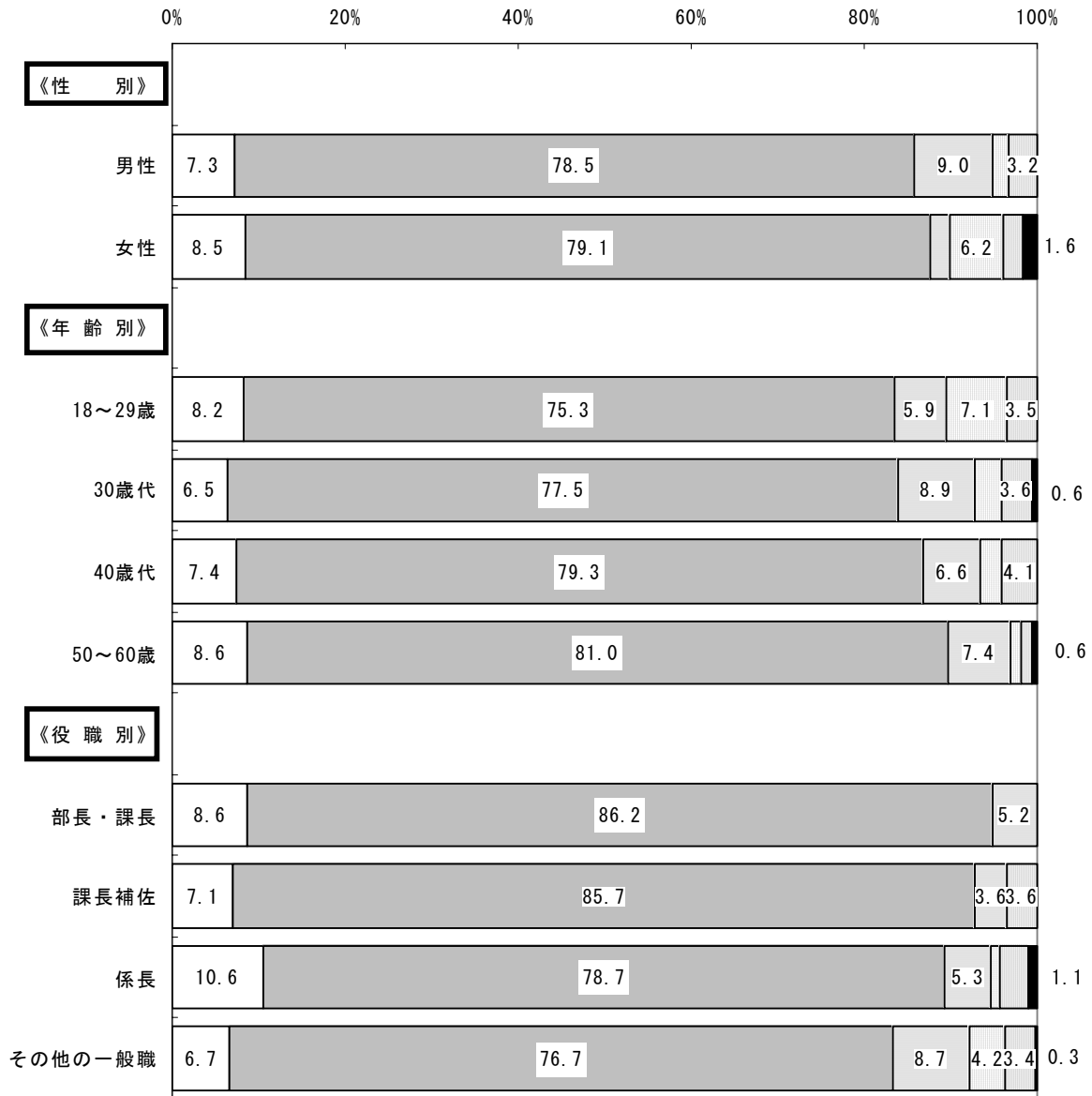
年齢とともに、公平な税負担よりも受益者負担を求めるべきだという考え方が強くなっています。

◆役職別

受益者負担という考え方は上級者ほど強く、部長・課長クラスでは86.2%を占めています。



図表 10 行政サービスと受益者負担についての考え方(階層別)



- 行政サービスの維持・充実に優先すべきで、税など市民全体の負担が増えることもやむをえない
- 行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人が一部費用を負担し、税など市民全体の負担は増やすべきではない
- 行政サービスの低下はやむをえず、税など市民の負担は増やすべきではない
- わからない
- その他
- 無回答

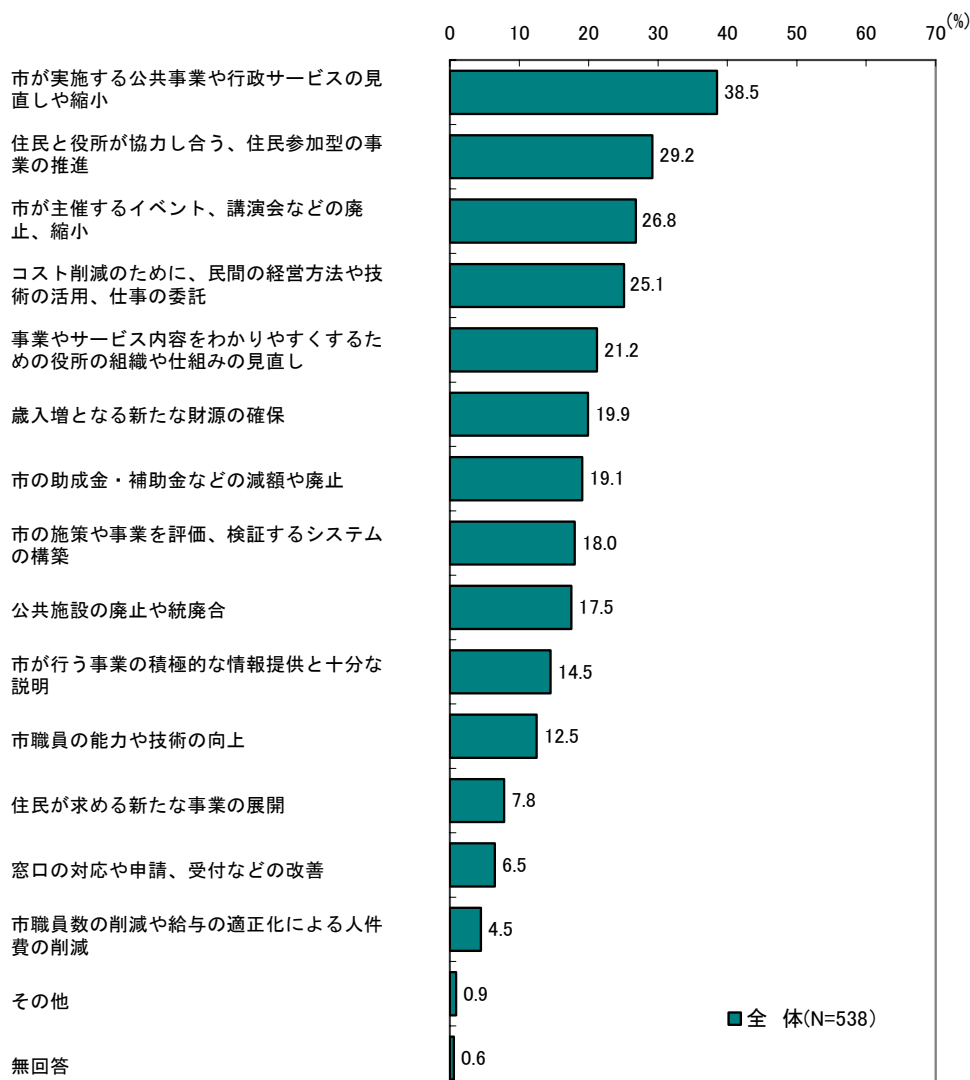
6. 行政効率化、財政健全化に重要なこと

行政の効率化、財政の健全化に向けて最も重要だと考えられているのは、「市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小」(38.5%)で、「住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進」(29.2%)、「市が主催するイベント、講演会などの廃止、縮小」(26.8%)、「コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託」(25.1%)、「事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し」(21.2%)などが続いています。

市民アンケートで回答が6割を超え、最も多い回答となった「市職員数の削減や給与の適正化による人件費の削減」(市民 58.5%)は当然のことですが、4.5%で最も少なくなっています。「市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小」(市民 25.3%)、「住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進」(市民 17.5%)、「市が主催するイベント、講演会などの廃止、縮小」(市民 11.2%)なども、市民は職員ほど重要視しておらず、両者の考え方の違いがはっきりと表れています。

図表 11 行政効率化、財政健全化に重要なこと(全体)

問9. あなたは、行政の効率化や財政の健全化のために、次のどれが重要だとお考えですか。
次の中からあてはまるもの3つ以内で選んでください。



階層別特性

図表 12 行政効率化、財政健全化に重要なこと(上位5位まで)(階層別)

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 41.3	市が主催するイベント、講演会などの廃止、縮小 28.1	住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進 27.4	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 25.9	市の助成金・補助金などの減額や廃止 20.8
女性	住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進 34.9	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 29.5	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 27.1	市が主催するイベント、講演会などの廃止、縮小 22.5	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 22.5
18～29歳代	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 35.3	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 25.9	住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進 25.9	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 22.4	市職員の能力や技術の向上 18.8
30歳代	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 40.2	市が主催するイベント、講演会などの廃止、縮小 30.8	住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進 30.2	歳入増となる新たな財源の確保 20.1	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 19.5
40歳代	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 46.3	市が主催するイベント、講演会などの廃止、縮小 29.8	住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進 28.9	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 25.6	市の施策や事業を評価、検証するシステムの構築 24.0
50～60歳	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 37.4	住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進 30.1	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 27.6	市が主催するイベント、講演会などの廃止、縮小 25.8	市の助成金・補助金などの減額や廃止 25.2
部長・課長	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 39.7	市の助成金・補助金などの減額や廃止 34.5	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 31.0	住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進 31.0	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 24.1
課長補佐	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 42.9	住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進 39.3	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 35.7	市の施策や事業を評価、検証するシステムの構築 35.7	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 25.0
係長	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 51.1	市が主催するイベント、講演会などの廃止、縮小 34.0	住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進 29.8	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 26.6	市の助成金・補助金などの減額や廃止 25.5
その他の一般職	市が実施する公共事業や行政サービスの見直しや縮小 35.1	住民と役所が協力し合う、住民参加型の事業の推進 28.1	市が主催するイベント、講演会などの廃止、縮小 27.5	コスト削減のために、民間の経営方法や技術の活用、仕事の委託 22.5	事業やサービス内容をわかりやすくするための役所の組織や仕組みの見直し 21.1

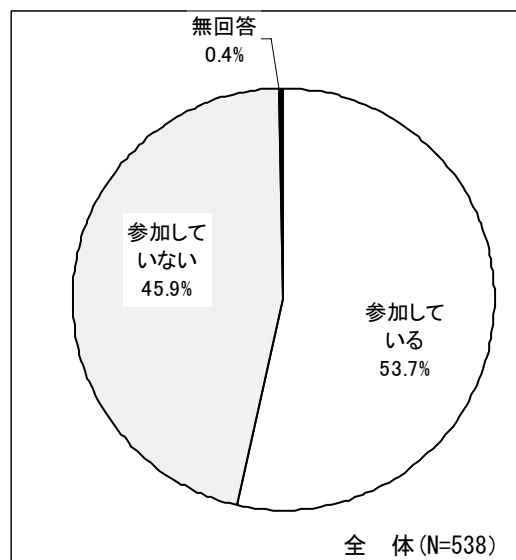
※複数回答

7. 地域社会(コミュニティ)活動への参加状況

1. 地域社会(コミュニティ)活動への参加率

現在、何らかの地域社会(コミュニティ)活動に参加している人は全体の5割強です。

図表 13 地域社会活動への参加状況(全体)



階層別特性

◆性別

女性職員よりも男性職員の方がコミュニティ活動に積極的に参加しており、ほぼ6割の男性職員がコミュニティ活動に参加しています。

◆年齢別

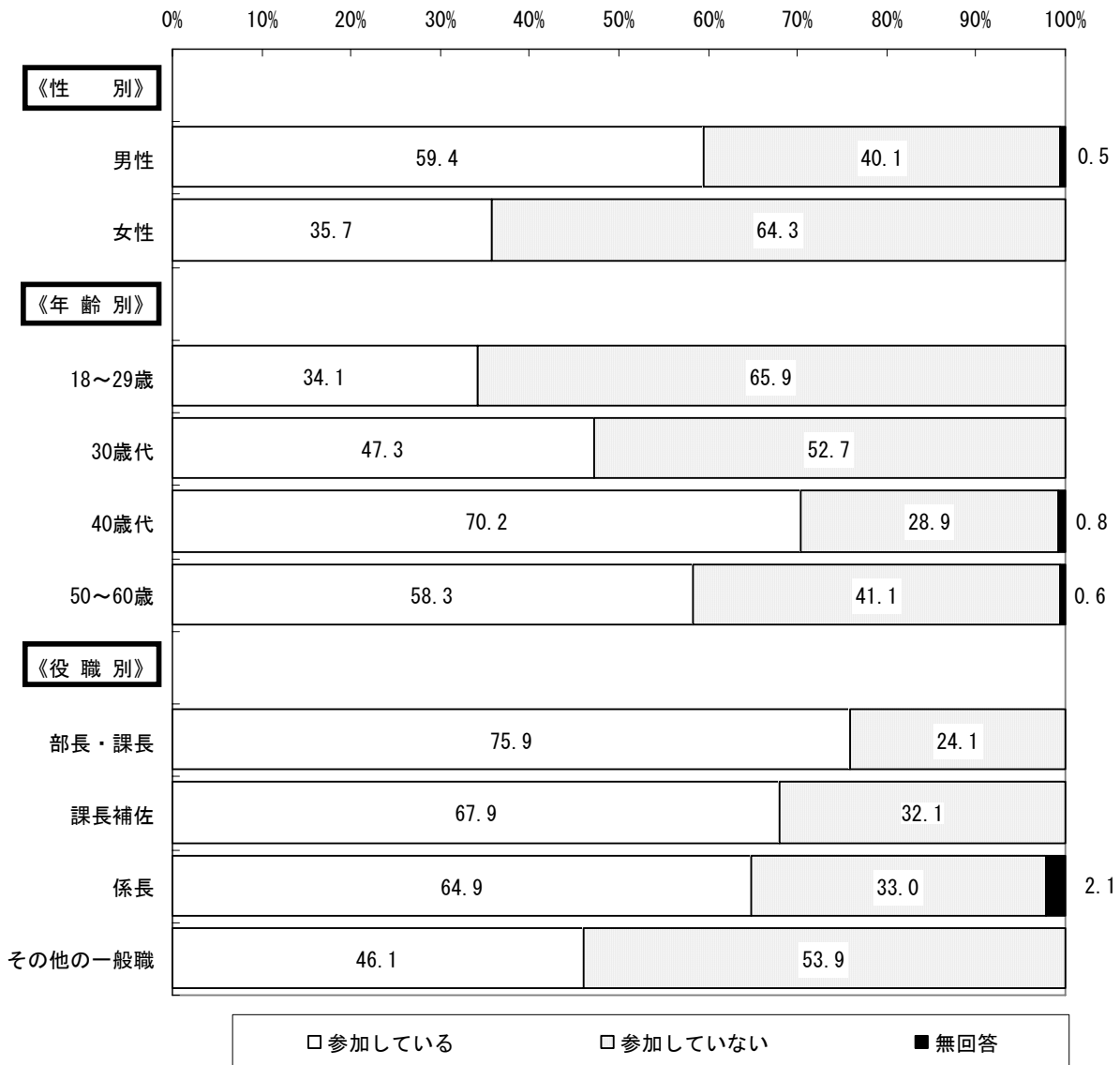
最もコミュニティ活動への参加率が高いのは40歳代(70.2%)で、他の年代の参加率を大きく上回っています。次に参加率が高いのは50～60歳(58.3%)で、30歳未満は34.1%と50～60歳の半分程度にとどまっています。

◆役職別

上級者ほどコミュニティ活動への参加率が高く、部長・課長クラスでは75.9%の職員が参加しています。



図表 14 地域社会活動への参加状況(階層別)



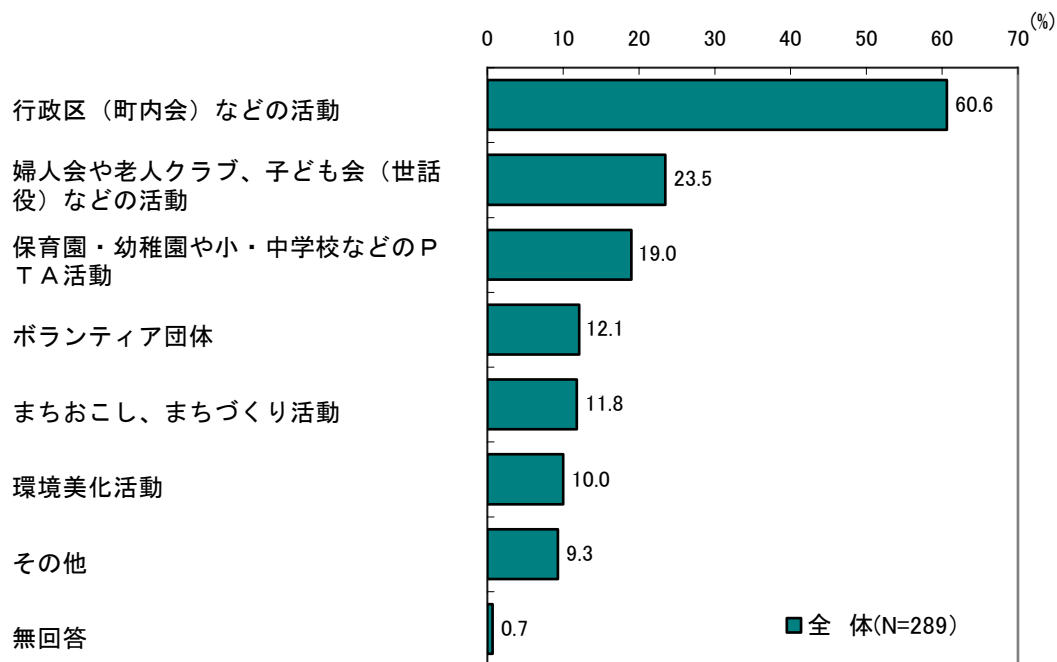
2. 参加している活動・団体

何らかの地域社会活動に参加している 289 人の職員のうち、6割が参加しているのは「行政区（町内会）などの活動」(60.6%)で、その他の活動を大きく引き離しています。

以下、「婦人会や老人クラブ、子ども会（世話役）などの活動」(23.5%)、「保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動」(19.0%)、「ボランティア団体」(12.1%)、「まちおこし、まちづくり活動」(11.8%)、「環境美化活動」(10.0%)と続いています。

図表 15 参加している活動・団体(全体)

問10-2. (参加している人に)あなたの参加している活動・団体は何ですか。
次の中からあてはまるものすべてを選んでください。



階層別特性

図表 16 参加している活動・団体(上位5位まで)(階層別)

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	行政区(町内会)などの活動 65.8	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 16.5	保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動 16.0	ボランティア団体 13.6	まちおこし、まちづくり活動 13.2
女性	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 60.9	保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動 34.8	行政区(町内会)などの活動 32.6	環境美化活動 6.5	まちおこし、まちづくり活動 4.3
18~29歳代	行政区(町内会)などの活動 65.5	ボランティア団体 20.7	まちおこし、まちづくり活動 17.2	保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動 13.8	環境美化活動 3.4
30歳代	行政区(町内会)などの活動 57.5	保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動 21.3	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 17.5	まちおこし、まちづくり活動 11.3	環境美化活動 10.0
40歳代	行政区(町内会)などの活動 52.9	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 38.8	保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動 34.1	ボランティア団体 11.8	まちおこし、まちづくり活動 8.2
50~60歳	行政区(町内会)などの活動 68.4	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 22.1	環境美化活動 14.7	ボランティア団体 14.7	まちおこし、まちづくり活動 13.7
部長・課長	行政区(町内会)などの活動 70.5	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 18.2	ボランティア団体 18.2	まちおこし、まちづくり活動 13.6	環境美化活動 11.4
課長補佐	行政区(町内会)などの活動 89.5	環境美化活動 21.1	保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動 15.8	まちおこし、まちづくり活動 15.8	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 10.5
係長	行政区(町内会)などの活動 60.7	保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動 31.1	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 26.2	ボランティア団体 13.1	まちおこし、まちづくり活動 8.2
その他の一般職	行政区(町内会)などの活動 54.3	婦人会や老人クラブ、子ども会(世話役)などの活動 25.6	保育園・幼稚園や小・中学校などのPTA活動 18.9	まちおこし、まちづくり活動 12.2	ボランティア団体 10.4

※複数回答

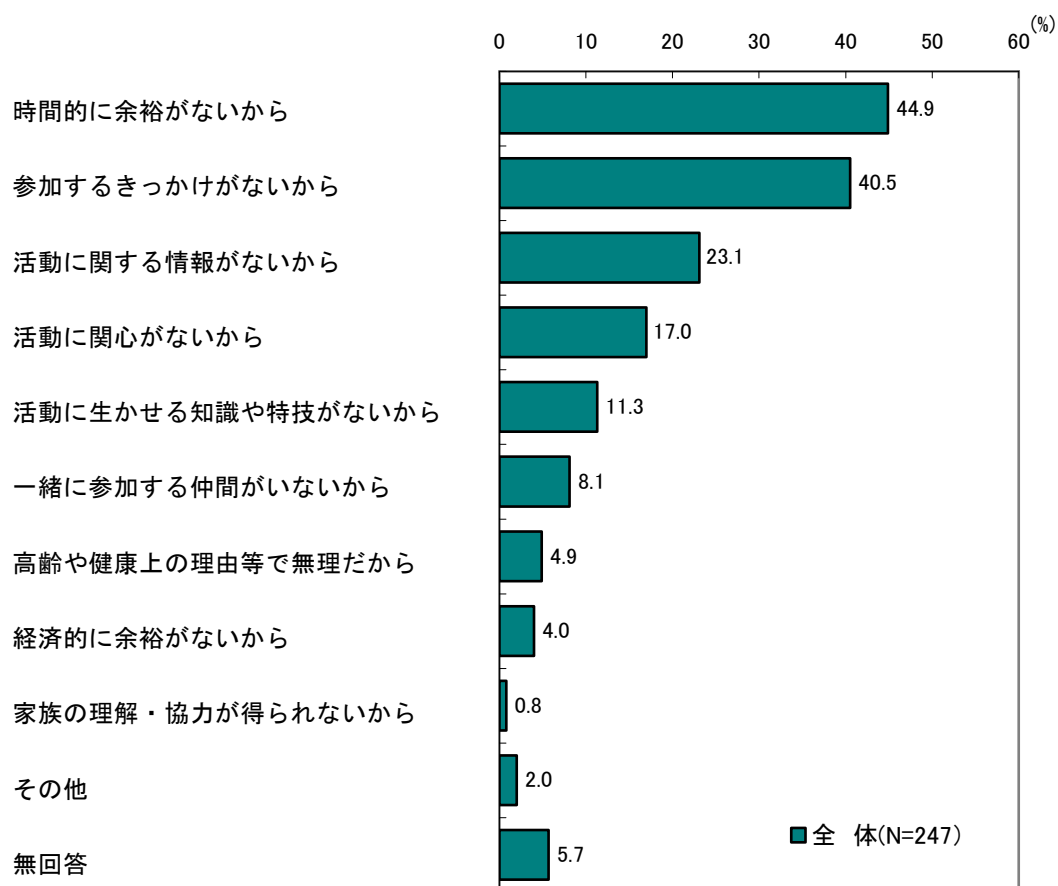
3. 地域社会活動に参加していない理由

地域社会活動には参加していない247人の参加していない理由では、「時間的に余裕がないから」(44.9%)が最も多くあげられていますが、僅差で「参加するきっかけがないから」(40.5%)をあげており、職員は地域社会とのかかわり方、きっかけづくりがうまくいっていないのうかがわれます。

以下、大きく比率を下げて「活動に関する情報がないから」(23.1%)、「活動に関心がないから」(17.0%)、「活動に生かせる知識や特技がないから」(11.3%)、「一緒に参加する仲間がないから」(8.1%)などが続いています。

図表 17 地域社会活動に参加していない理由(全体)

問10-3. (参加していない人に)地域社会活動に参加していないのはなぜですか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

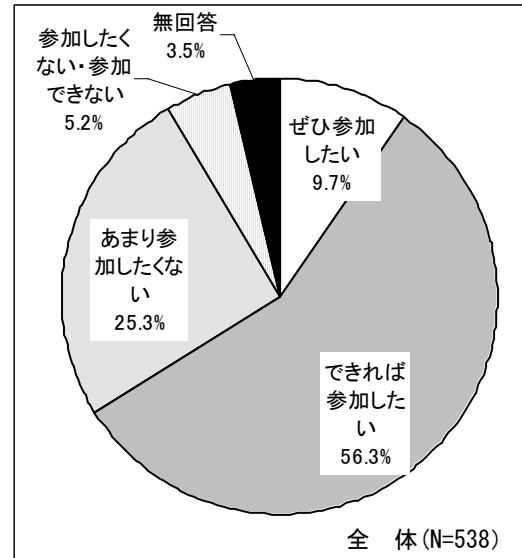


8. ボランティア活動やコミュニティ活動への参加意向

1. ボランティア活動やコミュニティ活動への参加意向

ボランティア活動や地域社会（コミュニティ）活動に、ぜひ参加してみたいと思う人は 9.7%、できれば参加したい人が 56.3%と、全体の 66.0%が地域での活動に前向きな姿勢を見せています。

図表 18 ボランティア活動やコミュニティ活動への参加意向



階層別特性

◆性別

地域社会活動への参加状況同様に、女性職員よりも男性職員の方がボランティア活動やコミュニティ活動への参加意欲が強いものの、参加意向率（ぜひ+できれば参加したい人の割合）は男女ともほぼ同じ程度となっています。

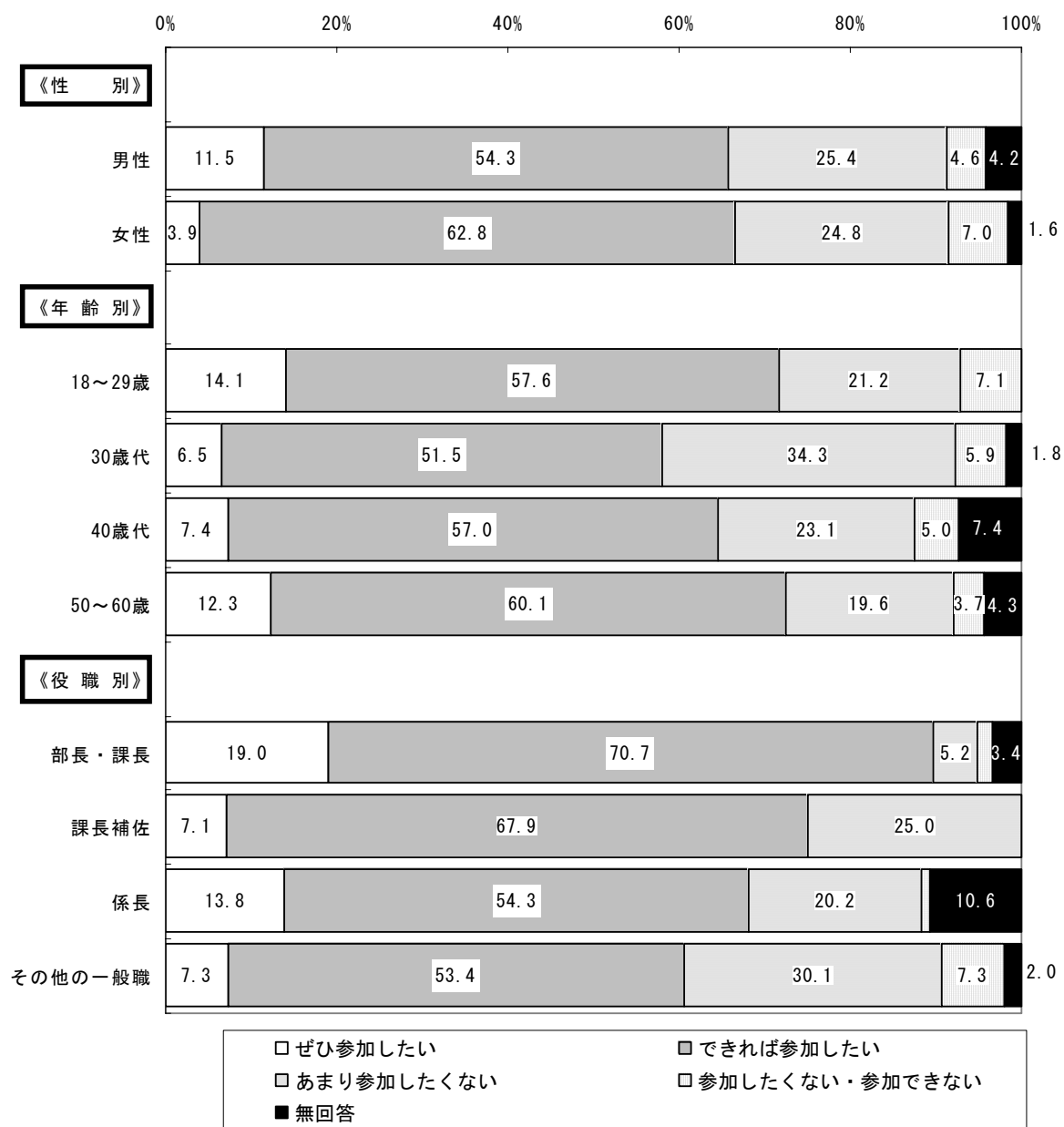
◆年齢別

最もボランティア活動やコミュニティ活動への参加意向率が高いのは 50～60 歳代（72.4%）です。次に参加率が高いのは 30 歳未満（71.7%）で、30 歳代（58.0%）はやや低めの参加意向率となっています。

◆役職別

コミュニティ活動への参加意向率は上級者ほど高く、部長・課長クラス（89.7%）のほぼ 9 割が今後の参加意向を持っています。

図表 19 ボランティア活動やコミュニティ活動への参加意向(階層別)



2. 参加してみたい活動内容

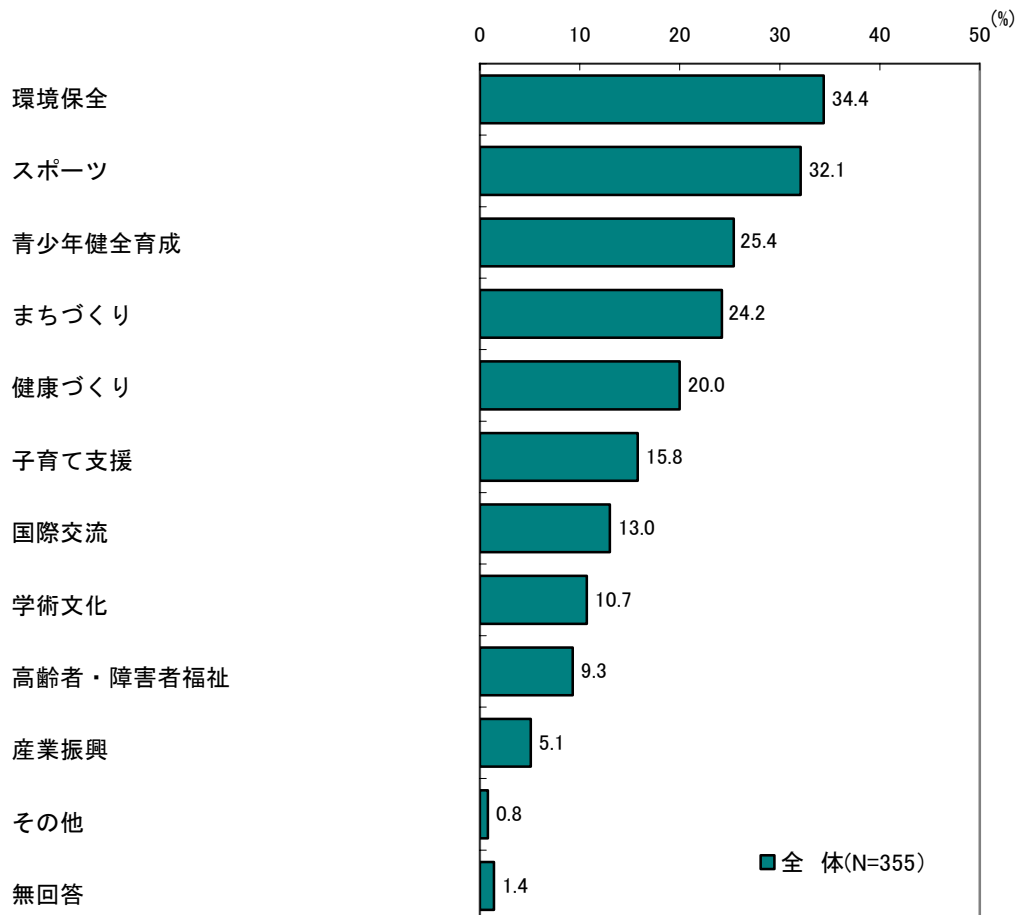
ボランティア活動や地域社会活動に参加してみたい職員が、関心を持っている活動分野では、「環境保全」(34.4%)が最も多く、僅差で「スポーツ」(32.1%)が続いています。

以下、「青少年健全育成」(25.4%)、「まちづくり」(24.2%)、「健康づくり」(20.0%)と続き、1割を超える回答があったのは「子育て支援」(15.8%)、「国際交流」(13.0%)、「学術文化」(10.7%)です。

市民に比べて、「健康づくり」(市民 36.4%)、「高齢者・障害者福祉」(市民 22.3%)への職員の関心はかなり低いものとなっています。

図表 20 参加してみたい活動内容(全体)

問11-2. (ぜひ、できれば参加したい人に)どのような分野の活動に参加したいと思いますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。



階層別特性

図表 21 参加してみたい活動内容(上位5位まで)(階層別)

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	スポーツ 37.5	環境保全 35.3	青少年健全育成 28.3	まちづくり 27.9	健康づくり 16.4
女性	子育て支援 37.2	環境保全 31.4	健康づくり 31.4	学術文化 22.1	青少年健全育成、国際交流 16.3
18～29歳代	スポーツ 49.2	環境保全 36.1	国際交流 24.6	子育て支援 23.0	まちづくり 23.0
30歳代	スポーツ 34.7	環境保全 31.6	子育て支援 23.5	まちづくり 19.4	青少年健全育成 16.3
40歳代	青少年健全育成 47.4	環境保全 33.3	スポーツ 32.1	まちづくり 26.9	健康づくり 19.2
50～60歳	環境保全 36.4	健康づくり 29.7	まちづくり 27.1	青少年健全育成 25.4	スポーツ 21.2
部長・課長	環境保全 44.2	青少年健全育成 36.5	まちづくり 36.5	健康づくり 25.0	スポーツ 23.1
課長補佐	スポーツ 42.9	環境保全 38.1	まちづくり 28.6	青少年健全育成 23.8	健康づくり 23.8
係長	環境保全 37.5	青少年健全育成 32.8	スポーツ 29.7	まちづくり 26.6	健康づくり 21.9
その他の一般職	スポーツ 33.8	環境保全 30.6	子育て支援 22.7	青少年健全育成 20.8	まちづくり 20.4

※複数回答

9. ボランティア活動や地域社会活動への行政の役割

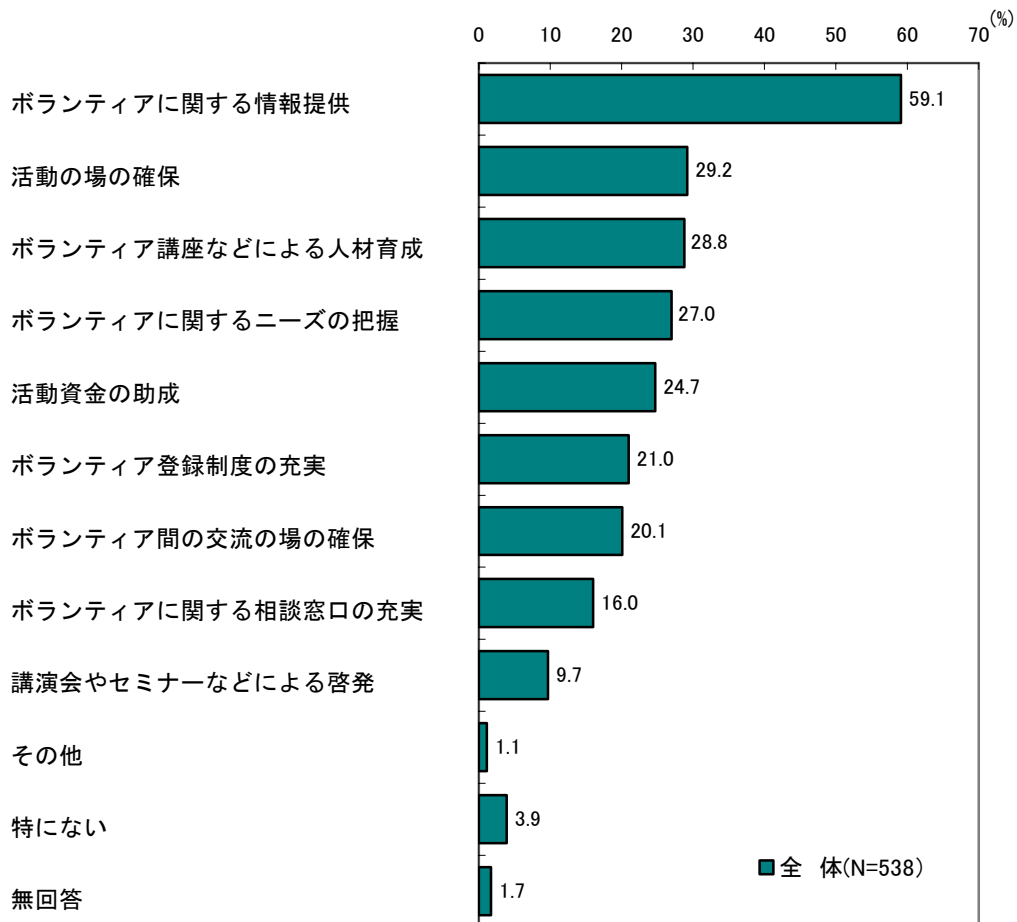
ボランティア活動や地域社会活動の活性化に向けて市が担うべき役割として、ほぼ6割の職員が「ボランティアに関する情報提供」(59.1%)をあげています。

以下大きく比率を下げて、「活動の場の確保」(29.2%)、「ボランティア講座などによる人材育成」(28.8%)、「ボランティアに関するニーズの把握」(27.0%)、「活動資金の助成」(24.7%)などが続いています。

市民アンケートでも、情報提供は最も重要な役割とされていましたが、市民に比べて職員では「活動の場の確保」(市民 19.2%)をより重視しているようです。

図表 22 ボランティア活動や地域社会活動の活性化に市がすべきこと(全体)

問12. 柳川市のボランティア活動や地域社会活動をより一層活性化するためには、市はどのようなことを行う必要があると思いますか。次の中からあてはまるものを3つ以内で選んでください。



階層別特性

図表 23 ボランティア活動や地域社会活動の活性化に市がすべきこと(上位5位まで)(階層別)

(%)

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	ボランティアに関する情報提供 58.4	活動の場の確保 30.6	ボランティア講座などによる人材育成 27.6	ボランティアに関するニーズの把握 26.9	活動資金の助成 26.4
女性	ボランティアに関する情報提供 61.2	ボランティア講座などによる人材育成 32.6	ボランティア登録制度の充実 29.5	ボランティアに関するニーズの把握 27.1	活動の場の確保 24.8
18～29歳代	ボランティアに関する情報提供 64.7	ボランティアに関するニーズの把握 35.3	ボランティア間の交流の場の確保 28.2	活動資金の助成 23.5	活動の場の確保 23.5
30歳代	ボランティアに関する情報提供 56.2	ボランティアに関するニーズの把握 33.7	活動の場の確保 26.6	ボランティア間の交流の場の確保 21.9	活動資金の助成 20.7
40歳代	ボランティアに関する情報提供 57.9	活動の場の確保 35.5	ボランティア講座などによる人材育成 30.6	ボランティア登録制度の充実 26.4	ボランティアに関するニーズの把握 24.0
50～60歳	ボランティアに関する情報提供 60.1	ボランティア講座などによる人材育成 42.3	活動資金の助成 30.7	活動の場の確保 30.1	ボランティアに関する相談窓口の充実 20.2
部長・課長	ボランティアに関する情報提供 62.1	活動資金の助成 41.4	ボランティア講座などによる人材育成 37.9	活動の場の確保 29.3	ボランティアに関する相談窓口の充実 22.4
課長補佐	ボランティアに関する情報提供 60.7	ボランティア講座などによる人材育成 46.4	活動の場の確保 46.4	ボランティア間の交流の場の確保 25.0	ボランティア登録制度の充実 17.9
係長	ボランティアに関する情報提供 62.8	ボランティア講座などによる人材育成 42.6	活動の場の確保 36.2	ボランティアに関するニーズの把握 24.5	活動資金の助成 21.3
その他の一般職	ボランティアに関する情報提供 57.6	ボランティアに関するニーズの把握 30.1	活動の場の確保 26.1	活動資金の助成 23.6	ボランティア講座などによる人材育成 22.5

※複数回答

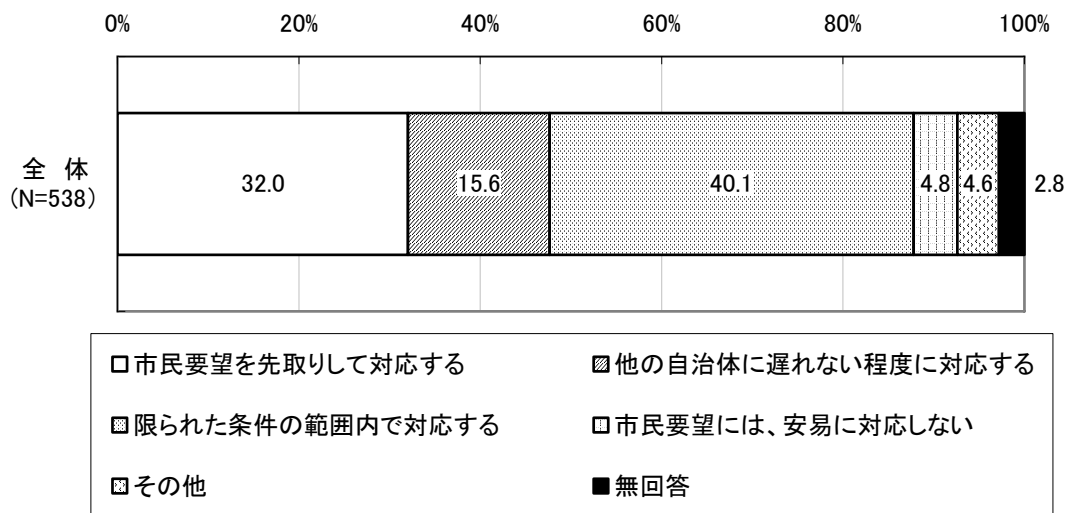
10. 行政サービス提供のあり方

職員として行政サービス提供に対してどのように考えるかについて尋ねたところ、最も多かったのは「限られた条件の範囲内で対応する」(40.1%)でした。

次が「市民要望を先取りして対応する」(32.0%)で、「他の自治体に遅れない程度に対応する」(15.6%)、「市民要望には、容易に対応しない」(4.8%)など、横並び的な考えや住民無視の考え方を持つ職員はかなり少ないものとなっています。

図表 24 行政サービス提供のあり方(全体)

問13. あなたは、行政サービスをどのように提供すべきとお考えですか。
次の中からあてはまるものに1つだけ選んでください。



階層別特性

◆性別

相対的にみて、男性職員では「限られた条件の範囲内で対応する」（男性：43.0%、女性 31.0%）という考えが強く、女性職員では「市民要望を先取りして対応する」（男性：30.3%、女性 37.2%）という考えが強くなっています。

◆年齢別

「市民要望を先取りして対応する」という考えは30歳未満（55.3%）の職員の中心的な考え方となっています。

「限られた条件の範囲内で対応する」という考え方は年齢とともに上昇しています。

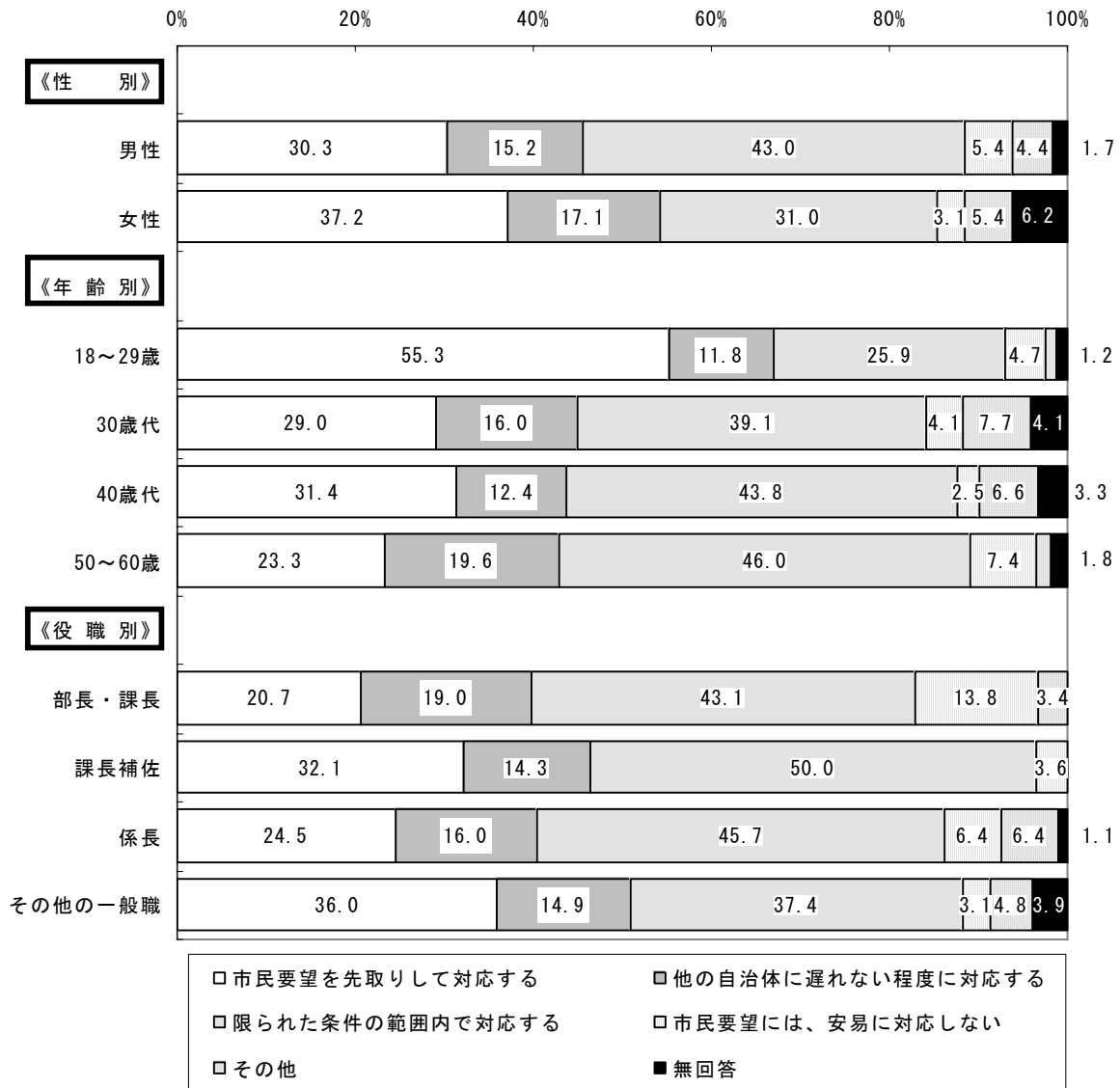
◆役職別

「市民要望を先取りして対応する」という考えはその他の一般職員（36.0%）に多く、部長・課長などの上級職では2割程度となっています。

「限られた条件の範囲内で対応する」という考え方は課長補佐クラス（50.0%）で半数を占めています。



図表 25 行政サービス提供のあり方(階層別)



11. 柳川市の大切にしたい、残したい、誇れるもの

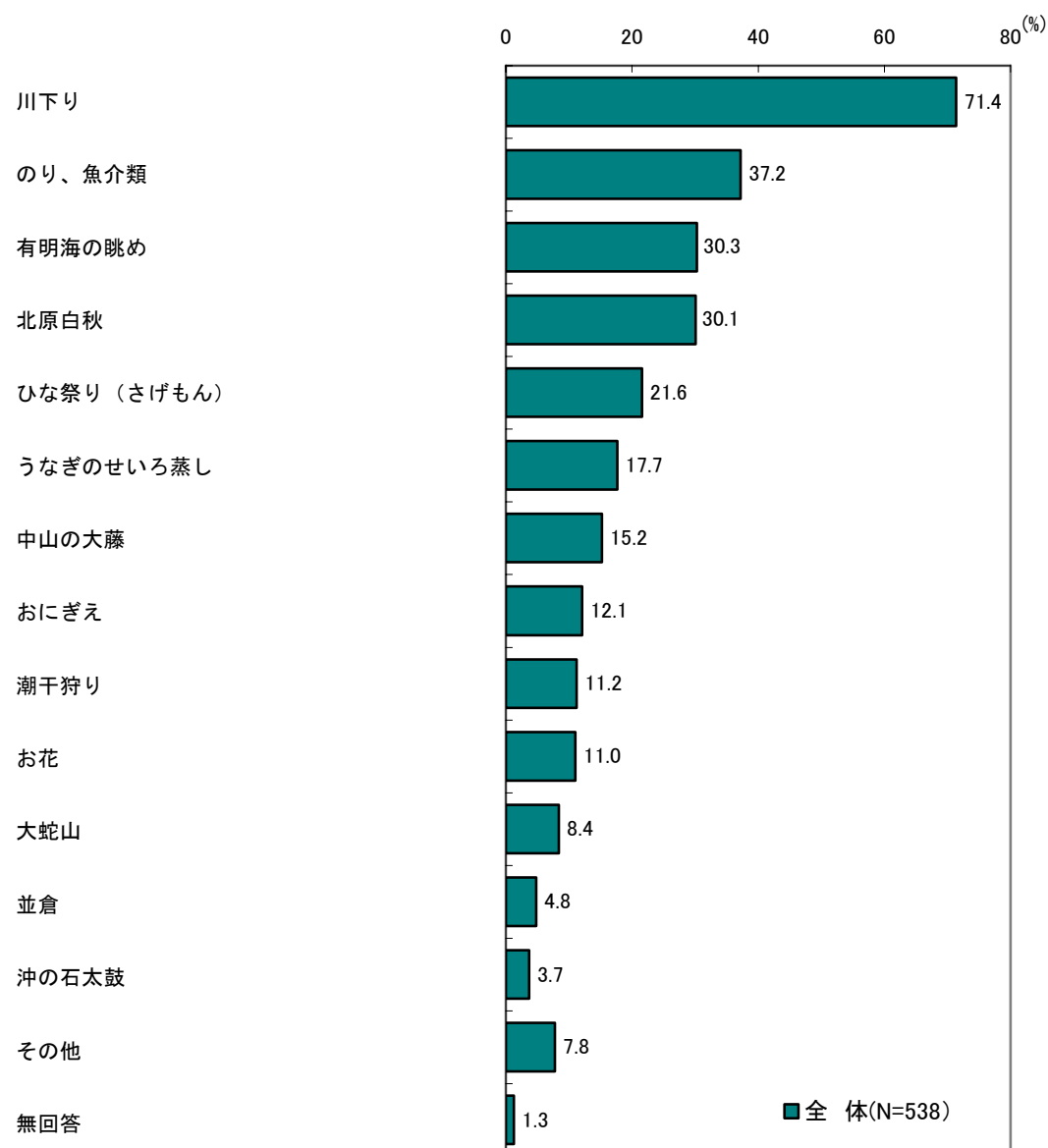
柳川市の大切にしたいもの、残しておきたいもの、誇りを感じるものでは、「川下り」(71.4%)が断トツの1位となっています。

以下、大きく比率を下げて「のり、魚介類」(37.2%)、「有明海の眺め」(30.3%)、「北原白秋」(30.1%)、「ひな祭り(さげもん)」(21.6%)、「うなぎのせいろ蒸し」(17.7%)などが続いています。

市民からも「川下り」は7割を超える支持があったものの、「北原白秋」(市民 49.6%)、「ひな祭り(さげもん)」(市民 29.0%)は、市民ほど高い支持を得ていないようです。

図表 26 大切にしたい、残したい、誇れるもの(全体)

問 14. 柳川市内であなたが大切にしたいもの、残しておきたいもの、誇れるものは何ですか。次の中からあてはまるものを3つ選んでください。



階層別特性

◆性別

男女間でやや回答内容がばらついていますが、女性の支持が高いのは「川下り」（男性：69.7%、女性 76.7%）、「北原白秋」（男性：26.7%、女性 41.1%）、「ひな祭り（さげもん）」（男性：17.4%、女性 34.9%）、「うなぎのせいろ蒸し」（男性：16.1%、女性 22.5%）で、男性の支持が高いのは「のり、魚介類」（男性 40.8%、女性 25.6%）、「おにぎえ」（男性 13.4%、女性 7.8%）、「潮干狩り」（男性 13.0%、女性 5.4%）の3項目です。

◆年齢別

年齢との関係がはっきりみられたのは「北原白秋」「ひな祭り（さげもん）」「うなぎのせいろ蒸し」、「おにぎえ」、「潮干狩り」で、「ひな祭り（さげもん）」「うなぎのせいろ蒸し」は若い年代ほど、「北原白秋」「おにぎえ」、「潮干狩り」は年配になるほど高い支持を受けています。

特定の年代に支持が高いのは、30歳未満の「川下り」（80.0%）、「ひな祭り（さげもん）」、30歳未満、30歳代の「のり、魚介類」です。

◆役職別

役職に関係なく「川下り」が最も多く支持されています。

その他の一般職では上級職に比べており、「ひな祭り（さげもん）」「うなぎのせいろ蒸し」への支持率が高くなっています。

図表 27 大切にしたい、残したい、誇れるもの(階層別)

		サンプル数	川下り	のり、魚介類	有明海の眺め	北原白秋	ひな祭り(さげもん)	うなぎのせいり蒸し	中山の大藤
全 体		538	71.4	37.2	30.3	30.1	21.6	17.7	15.2
性別	男性	409	69.7	40.8	31.5	26.7	17.4	16.1	14.2
	女性	129	76.7	25.6	26.4	41.1	34.9	22.5	18.6
年齢別	18～29歳	85	80.0	41.2	20.0	17.6	31.8	35.3	16.5
	30歳代	169	68.0	40.8	30.8	29.6	24.9	20.7	10.7
	40歳代	121	70.2	30.6	38.8	31.4	14.9	13.2	16.5
	50～60歳	163	71.2	36.2	28.8	36.2	17.8	8.6	18.4
役職別	部長・課長	58	70.7	41.4	32.8	36.2	17.2	10.3	13.8
	課長補佐	28	64.3	35.7	35.7	35.7	25.0	3.6	10.7
	係長	94	71.3	33.0	31.9	25.5	14.9	10.6	19.1
	その他の一般職	356	72.2	37.4	29.2	29.8	23.9	21.9	14.6

注) 全体の高い順に並べ替えている。

※複数回答

		おにぎえ	潮干狩り	お花	大蛇山	並倉	沖の石太鼓	その他	無回答
全 体		12.1	11.2	11.0	8.4	4.8	3.7	7.8	1.3
性別	男性	13.4	13.0	10.5	8.6	5.1	3.2	9.5	1.7
	女性	7.8	5.4	12.4	7.8	3.9	5.4	2.3	-
年齢別	18～29歳	4.7	5.9	5.9	17.6	5.9	3.5	3.5	-
	30歳代	8.3	8.9	11.2	7.7	2.4	3.0	8.9	1.2
	40歳代	12.4	9.9	10.7	5.8	5.0	5.0	10.7	2.5
	50～60歳	19.6	17.2	13.5	6.1	6.7	3.7	6.7	1.2
役職別	部長・課長	25.9	13.8	10.3	5.2	10.3	-	8.6	-
	課長補佐	21.4	28.6	3.6	3.6	7.1	7.1	3.6	3.6
	係長	18.1	20.2	10.6	6.4	3.2	3.2	13.8	1.1
	その他の一般職	7.6	7.0	11.8	9.6	4.2	4.2	6.5	1.4

注) 全体の高い順に並べ替えている。

※複数回答

